

北海道議会時報

昭和62年第2号

第 1 回 臨 時 会
第 2 回 定 例 会



北海道議会事務局

北海道議会時報第39巻第2号(昭和62年第1回臨時会第2回定例会)

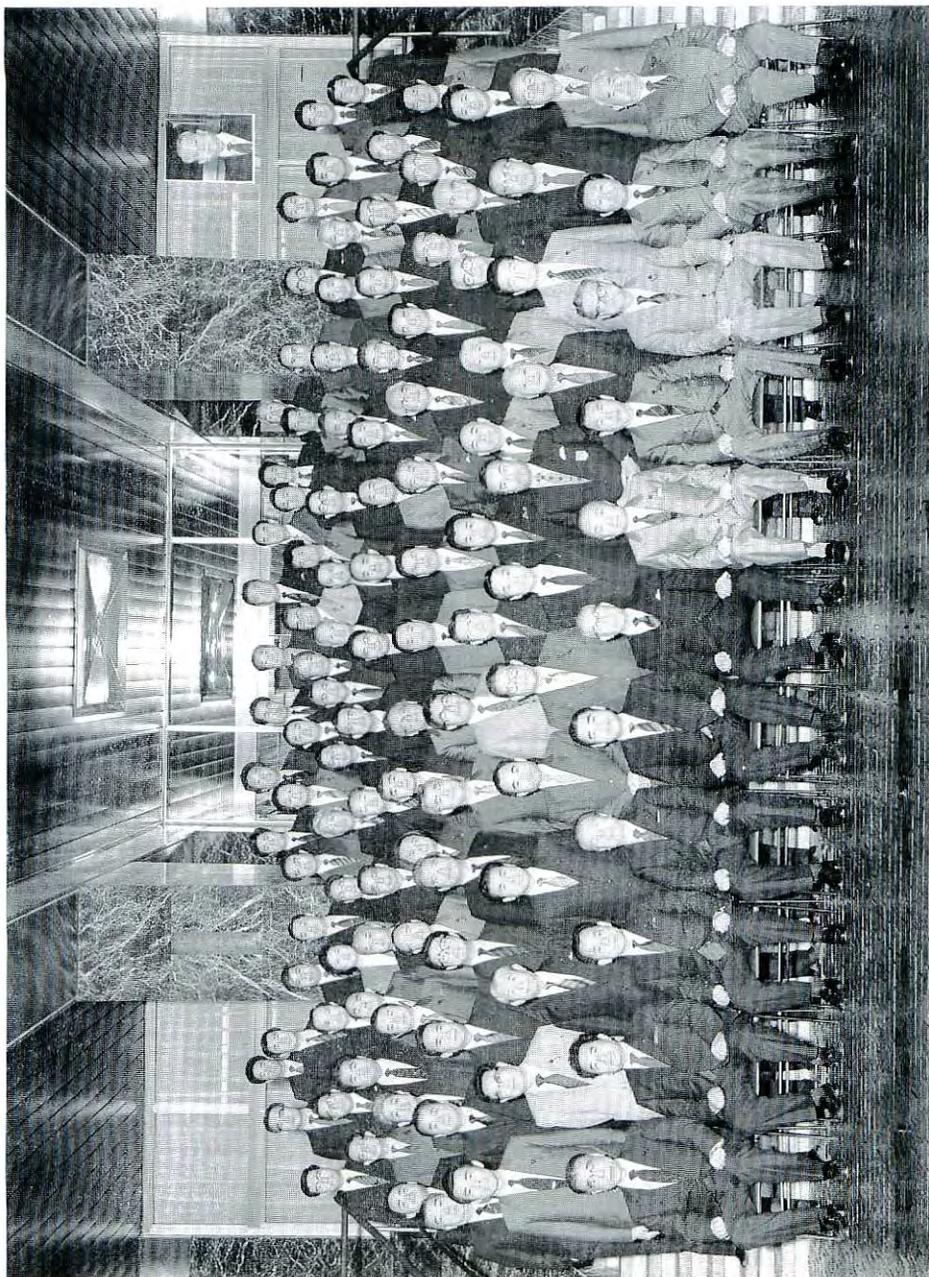
(表紙写真説明)

釧路湿原国立公園

「釧路湿原」は釧路川に沿って展開する一大低湿地で、本年7月31日に我が国28番目の国立公園に指定されたが、この国立公園は広大な自然景観を有し、ミズバショウ、クロユリなどの湿性植物やエゾイソツツジ、ガンコウランなど美しい花を咲かせる低木が群生しているほか優雅な舞いを見せるタンチョウが生息するなど、国際的にも高く評価されている。

写真は、「釧路湿原国立公園」の一部、コッタロ湿原である。

(道生活環境部自然保護課提供)



第23期北海道議會議員

(62. 5. 13 撮影)



議 長 藤 井 猛

就 任 の あ い さ つ

ただいまの選挙におきまして、皆様の御推挙により議長の重責を担うことになりました。まことに光栄に存じますとともに、その職責の重大さを痛感いたしております。

ここに謹んでお受けいたします。

今後、私は、道政上の諸問題に適切に対処いたしますとともに、議会の公正、円滑な運営に全力を挙げ、北海道議会が道民の期待と信頼にこたえるべく、最善の努力をしまいる決意でございます。

就任に際し、皆様の御支援と御協力を心からお願い申し上げる次第であります。

ごあいさついたします。

(5月14日の本会議において)



副議長 熊谷克治

就任のあいさつ

ただいまの選挙におきまして、皆様の御推挙により副議長の重責を担うことになり、まことに身の引き締まる思いでございます。

ここに謹んでお受けいたします。

今後は、議長とともに道政の進展と議会の公正、円滑な運営のために最善の努力を尽くす決意でございます。皆様の格別な御協力をお願い申し上げ、ごあいさつといたします。

(5月14日本会議において)



知 事 横 路 孝 弘

就 任 の あ い さ つ

昭和62年第1回道議会臨時会の開会に当たり、議員の皆さんに一言ごあいさつを申し上げます。

議員の皆さんには、道民の厚い信頼と期待を担われ、めでたく御当選の榮譽をかちとられましたことに心からお祝いを申し上げます。

私もまた、多くの皆さんの御支持をいただき、再び道政執行の重責を担うことになりました。私に課せられた使命と責任の重さに身の引き締まる思いをいたしております。

今、時代の大きな転換期の中にあつて、北海道の産業経済や道民生活を取り巻く環境は、まことに厳しいものがございます。私は、議員の皆さんとともに、北海道の現在と将来の発展のために今何が最も大切かをしっかりと考え、570万道民の生活の安定と北海道の発展のために全力を傾けてまいりたいと考えております。

また、私は、これまで同様、道民すべての皆さんの幅広い基盤の上に立って道政を進める道民党の立場を貫いてまいります。

このため、道議会各派の皆さん方にひとしく御協力をお願いするとともに、広く道民の皆さんの御意見を伺いながら、清新にして公正な道政の執行に努めてまいります。

道議会の皆さんの特段の御指導、御協力を心からお願いいたしまして、ごあいさつといたします。

(5月13日本会議において)

……第2号もくじ……

第1回臨時会

概 要	1
本 会 議	2
提 出 案 件	6
決 議 案	7

第2回定例会

概 要	9
本 会 議	10
提 出 案 件	22
意 見 案	25
請 願・陳 情	30

委員会の動き

各派世話人協議会	31
各会派代表者会議	31
議会運営委員会	34
常任委員会	39
特別委員会	52
総合開発調査特別委員会	
石炭対策特別委員会	
北方領土対策特別委員会	
エネルギー問題調査特別委員会	
国民体育大会推進特別委員会	
予算特別委員会	

会 合

全国都道府県議会議長会	66
都道府県議会議員共済会	67
10都道府県議会議長会	67
北海道・東北6県議会議長会	67

資 料

第1回臨時会及び第2回定例会に おいて議決を経た条例の公布調	69
北海道議会議席表	70
道知事・道議會議員選挙	71

4・5・6・7月のメモ

議 会 日 誌

- | | | | |
|---------|---|---------|---|
| ▶ 4 月 | | | |
| 21日 (火) | 各派幹部会議 | 30日 (火) | 委員会
(第2回定例会開会)
議会運営委員会
本会議 (会期決定<25日間>、道政執行方針並びに提案説明、教育行政執行方針、意見案1件可決) |
| ▶ 5 月 | | ▶ 7 月 | |
| 6日 (木) | 各派世話人協議会 | 7日 (火) | 議会運営委員会
本会議 (代表質問<1人>) |
| 12日 (火) | 各会派代表者会議 | 8日 (水) | 議会運営委員会
本会議 (代表質問<2人>) |
| 13日 (水) | (第1回臨時会開会)
各会派代表者会議
本会議 (議席の指定、会期の決定<7日間>) | 9日 (木) | 議会運営委員会
本会議 (代表質問<2人>) |
| 14日 (木) | 各会派代表者会議
本会議 (正副議長の選挙) | 10日 (金) | 議会運営委員会
本会議 (一般質問<2人>) |
| 15日 (金) | 各会派代表者会議
本会議 (議席の一部変更) | 13日 (月) | 議会運営、総務各委員会
本会議 (一般質問<3人>) |
| 18日 (月) | 各会派代表者会議
本会議 (決議案1件可決) | 14日 (火) | 議会運営、石炭対策特別各委員会
本会議 (一般質問<2人>、追加提案説明) |
| 19日 (火) | 各会派代表者会議
本会議 (各常任委員の選出、提案説明、副知事並びに出納長の選任同意、会期延長<1日間>)
各常任委員会 | 15日 (水) | 議会運営委員会
本会議 (一般質問<4人>) |
| 20日 (水) | 各会派代表者会議
本会議 (決議案5件可決、特別委員の選任、議会運営委員指名、提案説明、各委員長報告、苫小牧港管理組合議会議員・石狩東部広域水道企業団議会議員・石狩湾新港管理組合議会議員の各選挙、追加提案説明、議員選出監査委員の選任同意)
議会運営、各常任、各特別委員会
(第1回臨時会閉会) | 16日 (木) | 議会運営委員会
本会議 (日程延期) |
| 21日 (木) | 各常任、各特別委員会 | 17日 (金) | 議会運営委員会
本会議 (一般質問<6人>) |
| ▶ 6 月 | | 20日 (月) | 議会運営、総務各委員会
本会議 (一般質問<3人>) |
| 2日 (火) | 各常任、総合開発調査特別、石炭対策特別各委員会 | 21日 (火) | 議会運営委員会
本会議 (一般質問<2人>、追加提案説明、予算、企業会計決算各特別委員会設置) |
| 22日 (月) | 議会運営委員会 | 22日 (水) | } 予算第1・第2各分科会 (各部所管審査) |
| 29日 (月) | 議会運営、各常任、総合開発調査特別、石炭対策特別、北方領土対策特別、国民体育大会推進特別各 | 23日 (木) | |
| | | 24日 (金) | 議会運営委員会
予算第1・第2各分科会 (各部所 |

管審査)

本会議 (会期延長<1日間>)

予算特別委員会 (総括質疑)

25日 (土) 議会運営、各常任、総合開発調査特別、石炭対策特別、北方領土対策特別、予算特別 (意見調整)、企業会計決算特別各委員会

本会議 (各委員長報告、補正予算等可決、追加提案説明、公安委員会委員・監査委員・人事委員会委員選任同意、北海道総合開発計画に関する道意見案 (北海道新長期計画案) 調査の件付託、意見案4件可決、請願審査)

(第2回定例会閉会)

27日 (月) 各常任、総合開発調査特別、石炭対策特別、北方領土対策特別、国民体育大会推進特別各委員会

本誌においては、下記のとおり各派の名称を省略している。

自由民主党 = 自民

日本社会党・道民連合 = 社会

公明党 = 公明

民政クラブ = 民政

日本共産党 = 共産

第1回臨時会

議長に藤井猛議員(自民)、副議長に熊谷克治議員(社会)を選出

▶ 総合開発調査・石炭対策・北方領土対策・エネルギー問題調査及び国民体育大会推進各特別委員会設置 ◀

概 要

① 4月12日執行された知事、道議会議員選挙後初の第1回臨時会は、正副議長の選挙、常任委員の選任などを行うため、5月13日招集され、西尾六七臨時議長(自民)が開会を宣し、横路知事のあいさつの後、議席の指定、会議録署名議員の指定を行い、会期を5月19日までの7日間と決定の後、正副議長の選挙を行い、投票による選挙により第16代議長に藤井猛議員(自民)、第18代副議長に熊谷克治議員(社会)を選出した。

② 5月15日は、議席の一部変更を行い、5月16日は休会することを決定。18日は、北海道議会運営委員会規程の一部を改正する規程案の決議案を原案のとおり可決し、翌19日は、議長指名により各常任委員会の委員を選任した後、副知事及び出納長の選任同意案件について知事から説明の後、いずれも原案のとおり同意議決。

次に、会期を5月20日まで1日間延長することを決定した。

③ 会期最終日の5月20日は、総合開発調査、石炭対策、北方領土対策、エネルギー問題調査及び国民体育大会推進の5特別委員会の設置決議案を原案のとおり可決の後、議長指名により、各特別委員会の委員を選任した。

次いで、知事から提出案件について説明の後、直ちに所管の常任委員会に付託し、付託議案審査のため暫時休憩。

④ 本会議再開後、まず、各委員会付託案件について各委員長報告の後、討論、採決の結果、いずれも委員長報告のとおり承認議決又は原案可決。引き続き、苫小牧港管理組合議会議員、石狩東部広域水道企業団議会議員及び石狩湾新港管理組合議会議員の各選挙をいずれも指名推選の方法により選出。次に、北海道監査委員の選任同意案件が追加提案され、知事から説明の後、原案のとおり同意議決。次に、閉会中事務継続調査の件を決定して付議案件をすべて議了。藤井議長から閉会のあいさつがあって開会以来8日目の5月20日午後11時26分閉会した。

⑤ 提出案件の処理状況は、次のとおりである。

提出者	提出件数	処 理 の 状 況				合 計
		原案可決	承認議決	同意議決	報告のみ	
知 事	16	11	1	3	1	16
議 員	6	6	—	—	—	6
計	22	17	1	3	1	22

本 会 議

○5月13日(水) 午前10時39分開議、西尾六七臨時議長、昭和62年第1回臨時会の開会を宣し、横路知事のあいさつの後、

日程第1 議席の指定及び

日程第2 会議録署名議員の指定を行い、諸般の報告の後、

日程第3 会期決定の件を議題とし、今期臨時会の会期を5月13日から19日までの7日間と決定し、議事進行の都合により午前10時43分休憩、午後4時34分再開し、本日の会議は、残余の日程を延期し延会することに決定し、午後4時35分延会。

○5月14日(木) 午後2時23分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議長の選挙に入り、議場の出入口を閉鎖、立会人に今津寛議員(自民)、樫林巖議員(社会)、工藤啓二議員(公明)、小野秀夫議員(民政)及び大橋晃議員(共産)を指名。選挙の方法は単記無記名投票で行い、点呼に応じて、順次投票、開票の結果、投票総数107票、有効投票107票、藤井猛議員(自民)が107票で当選。議場の閉鎖を解き、議長から就任あいさつ、引き続き、

日程第2 副議長の選挙に入り、議長選挙と同様に取り進め、開票の結果、投票総数107票、有効投票107票、熊谷克治議員(社会)が107票で当選。議場の出入口の閉鎖を解き、副議長から就任のあいさつがあって午後3時17分散会。

○5月15日(金) 午前11時48分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議席の一部変更の件を議題とし、配付の議席表のとおり異議なく変更。議事の都合により16日は休会とすることを決定の後、午前11時49分散会。

○5月18日(月) 午後4時43分開議、議事進行

の都合により、あらかじめ会議時間を延長し、午後4時44分休憩、午後7時7分再開、諸般の報告の後、

日程第1 決議案第1号を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略のうえ、異議なく原案のとおり可決し、午後7時8分散会。

○5月19日(火) 午前11時46時分開議、諸般の報告の後、

日程第1 常任委員の選任を議題とし、議長指名(配付名簿のとおり)により、次の委員を選任の後、議事進行の都合により、午前11時47分休憩。

○総務委員(14人)

風早 俊男(民政)	菅原 功一(自民)
和田 敬友(自民)	佐々木隆博(社会)
鈴木 泰行(社会)	大島 一郎(社会)
国本 康夫(自民)	桜井 外治(自民)
佐々木行雄(自民)	輪島 幸雄(社会)
熊谷 克治(社会)	高橋 敏(公明)
高木 繁光(自民)	西尾 六七(自民)

○生活環境林務委員(13人)

奥野 文藏(自民)	山口 恵聖(社会)
大平 盛雄(社会)	勝木 省三(自民)
木本 由孝(自民)	中川 義雄(自民)
浅野 俊一(公明)	岡本栄太郎(社会)
本間喜代人(共産)	吉田 英治(社会)
湯本 芳志(社会)	古川 靖晃(自民)
三上 勇(自民)	

○厚生委員(14人)

三木 勝夫(自民)	佐藤 寛一(社会)
西本 美嗣(社会)	大橋 晃(共産)
柏倉 勝雄(社会)	相沢 武彦(公明)
村田 雄平(自民)	土屋 良三(自民)
樫林 巖(社会)	関根 建二(社会)
鈴木 誠二(社会)	宇川 源吉(自民)
川口 常人(自民)	藤井 猛(自民)

○商工労働委員(14人)

乙川 節郎(公明)	高橋 文明(自民)
深田 義勝(社会)	森 敏捷(社会)
菊地 芳郎(社会)	平田 市郎(民政)
酒井 芳秀(自民)	平井 進(自民)
水岡 薫(自民)	岩田 徳弥(自民)
一野坪 勉(社会)	渋谷 澄夫(社会)

舟山 広治 (社会) 宇野 眞平 (自民)

○農務農地開発委員 (14人)

五十嵐 勝 (社会) 永井 利幸 (自民)
大野 新生 (自民) 土田 弘 (社会)
湯佐 利夫 (自民) 青山 章 (自民)
松崎 義雄 (自民) 藤沢 一雄 (民政)
三沢 道男 (社会) 神本 三也 (社会)
吉野 之雄 (社会) 原 清重 (社会)
工藤 啓二 (公明) 中崎 昭一 (自民)

○建設委員 (14人)

井野 厚 (社会) 佐藤 時雄 (自民)
今津 寛 (自民) 小野寺 勇 (自民)
葛 健二 (民政) 長沢 徹 (社会)
中川 隆之 (自民) 橋 浪蔵 (自民)
伊藤 武一 (公明) 高橋 庸 (社会)
谷川 英雅 (社会) 長岡 寅雄 (社会)
青木 延男 (社会) 平野 明彦 (自民)

○水産委員 (13人)

鱈谷 忠 (社会) 小池 昌 (社会)
野呂 善市 (自民) 川崎 守 (共産)
遠藤 常二 (社会) 綿貫 健輔 (自民)
高橋 康之 (自民) 萩上 元春 (社会)
西村 慎一 (無所属) 岩崎 守男 (社会)
新沼 浩 (自民) 吉川 政一 (自民)
若狭 靖 (自民)

○文教委員 (14人)

山根 泰子 (共産) 桜田 正明 (自民)
吉田 恵悦 (公明) 小山 誠司 (社会)
大内 良一 (社会) 畠山 博 (自民)
岩本 允 (自民) 久田 恭弘 (自民)
小田原要四蔵 (社会) 保格 博夫 (社会)
笠島 保 (社会) 小野 秀夫 (民政)
佐々木利昭 (自民) 笹浪 幸男 (自民)

午後1時47分再開、諸般の報告の後、日程を追加し、議案第12号及び第13号を直ちに議題とすることを異議なく決定、

追加日程 議案第12号及び第13号を議題とし、知事から説明の後、委員会付託を省略のうえ、原案のとおり同意議決し、議事進行の都合により、午後1時50分休憩、午後4時45分再開し、議事進行の都合により、あらかじめ会議時間を延長し、午後4時46分休憩、午後10時33分再開、諸般の報告の後、会期延長の件を日程に追加することを異議なく決定し、

追加日程 会期延長の件を議題とし、議事の都合により、会期を5月20日まで1日間延長することを異議なく決定し、午後10時34分散会。

○5月20日(水) 午後4時48分開議、議事進行の都合により、あらかじめ会議時間を延長し、午後4時49分休憩、午後9時3分再開、諸般の報告の後、

日程第1 決議案第2号ないし第6号を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略のうえ、いずれも異議なく原案のとおり可決。次に、

日程第2 特別委員の選任を議題とし、議長指名(配付名簿のとおり)により、次の委員を選任。

○総合開発調査特別委員 (27人)

小野寺 勇 (自民) 吉田 恵悦 (公明)
佐藤 寛一 (社会) 上田 弘 (社会)
西本 美嗣 (社会) 山口 恵聖 (社会)
菊地 芳郎 (社会) 勝木 省三 (自民)
国本 康夫 (自民) 酒井 芳秀 (自民)
青山 章 (自民) 岩本 允 (自民)
高橋 康之 (自民) 中川 義雄 (自民)
久田 恭弘 (自民) 伊藤 武一 (公明)
高橋 庸 (社会) 岡本栄太郎 (社会)
小田原要四蔵 (社会) 神本 三也 (社会)
本間喜代人 (共産) 吉野 之雄 (社会)
輪島 幸雄 (社会) 小野 秀夫 (民政)
川口 常人 (自民) 中崎 昭一 (自民)
若狭 靖 (自民)

○石炭対策特別委員 (15人)

菅原 功一 (自民) 三木 勝夫 (自民)
葛 健二 (民政) 長沢 徹 (社会)
深田 義勝 (社会) 相沢 武彦 (公明)
平井 進 (自民) 綿貫 健輔 (自民)
土屋 良三 (自民) 松崎 義雄 (自民)
谷川 英雅 (社会) 一野坪 勉 (社会)
青木 延男 (社会) 鈴木 誠二 (社会)
宇川 源吉 (自民)

○北方領土対策特別委員 (13人)

小池 昌 (社会) 風早 俊男 (民政)
佐藤 時雄 (自民) 高橋 文明 (自民)
遠藤 常二 (社会) 村田 雄平 (自民)
湯佐 利夫 (自民) 佐々木行雄 (自民)
水岡 薫 (自民) 浅野 俊一 (公明)

三沢 道男（社会） 関根 建二（社会）
長岡 寅雄（社会）

○エネルギー問題調査特別委員（17人）

井野 厚（社会） 桜田 正明（自民）
和田 敬友（自民） 今津 寛（自民）
小山 誠司（社会） 大橋 晃（共産）
森 敏捷（社会） 大内 良一（社会）
柏倉 勝雄（社会） 畠山 博（自民）
佐々木行雄（自民） 中川 義雄（自民）
藤沢 一雄（民政） 渋谷 澄夫（社会）
保格 博夫（社会） 工藤 啓二（公明）
高木 繁光（自民）

○国民体育大会推進特別委員（17人）

山根 泰子（共産） 五十嵐 勝（社会）
鯉谷 忠（社会） 乙川 節郎（公明）
奥野 文藏（自民） 永井 利幸（自民）
野呂 善市（自民） 大野 新生（自民）
佐々木隆博（社会） 鈴木 泰行（社会）
大島 一郎（社会） 大平 盛雄（社会）
平田 市郎（民政） 木本 由孝（自民）
中川 隆之（自民） 岩田 徳弥（自民）
萩上 元春（社会）

次に、議会運営委員について、議長から配付の名簿のとおり指名した旨報告。

○議会運営委員（16人）

風早 俊男（民政） 奥野 文藏（自民）
三木 勝夫（自民） 大野 新生（自民）
長沢 徹（社会） 大橋 晃（共産）
大内 良一（社会） 大島 一郎（社会）
大平 盛雄（社会） 畠山 博（自民）
湯佐 利夫（自民） 綿貫 健輔（自民）
土屋 良三（自民） 谷川 英雅（社会）
萩上 元春（社会） 工藤 啓二（公明）

次に、

日程第3 議案第1号ないし第11号及び報告第1号を議題とし、知事から提案説明の後、直ちに所管の常任委員会にそれぞれ付託し、午後9時6分休憩、午後11時5分再開、諸般の報告の後、日程に追加し、議案第1号ないし第11号及び報告第1号を直ちに議題とすることを異議なく決定し、

追加日程 議案第1号ないし第11号及び報告第1号を議題とし、厚生、農務農地開発、文教各委員長からそれぞれ各委員会における付託案件の審査経過と結果について報告の後、討論に入り、山根泰子議員（共産）から、報告第1号に対する反対討論を行い、追加日程のうち、報告第1号を問題とし、起立採決の結果、起立多数（共産反対）をもって承認議決。次に、追加日程のうち、議案第1号ないし第11号を問題とし、異議なく委員長報告のとおり原案可決。次に、日程に追加し、苫小牧港管理組合議会議員の選挙を直ちに議題とすることを異議なく決定し、

追加日程 苫小牧港管理組合議会議員の選挙に入り、指名推選の方法をもって議長指名により、次の議員を当選人と決定。

大平 盛雄（社会） 酒井 芳秀（自民）
高橋 康之（自民） 橋 浪藏（自民）
原 清重（社会）

次に、日程に追加し、石狩東部広域水道企業団議会議員の選挙を直ちに議題とすることを異議なく決定し、

追加日程 石狩東部広域水道企業団議会議員の選挙に入り、指名推選の方法をもって議長指名により、次の議員を当選人と決定。

奥野 文藏（自民） 大内 良一（社会）
青山 章（自民）

次に、日程に追加し、石狩湾新港管理組合議会議員の選挙を直ちに議題とすることを異議なく決定し、

追加日程 石狩湾新港管理組合議会議員の選挙に入り、指名推選の方法をもって議長指名により、次の議員を当選人と決定。

永井 利幸（自民） 菊地 芳郎（社会）
相沢 武彦（公明） 勝木 省三（自民）
岩本 允（自民） 久田 恭弘（自民）
岩田 徳弥（自民） 高橋 庸（社会）
湯本 芳志（社会） 笠島 保（社会）

次に、日程を追加し、議案第14号（佐々木利昭議員（自民）及び吉田英治議員（社会）の監査委員選任同意案件）を直ちに議題とすることを異議なく決定し、

追加日程 議案第14号を議題とし、知事から提案説明の後、委員会付託を省略のうえ、異議

なく原案のとおり同意議決。次に、閉会中事務
継続調査の件を決定して、今期臨時会に付議さ
れた案件はすべて議了。藤井議長から閉会のあ
いさつがあって、午後11時26分閉会。

第1回臨時会において知事から提出のあった案件

議 案

提出月日	番号	件 名	付託委員会	議決月日	議事結果
5. 13	1	工事請負契約の締結（北海道日高支庁庁舎改築第2期工事）に関する件	総務	5. 20	原案可決
同	2	工事請負契約の締結（北海道宗谷合同庁舎改築第4期工事）に関する件	同	同	同
同	3	工事請負契約の締結（北海道北見保健所改築工事）に関する件	厚生	同	同
同	4	工事請負契約の締結（広域営農団地農道整備事業十勝中央地区橋梁架設工事（第2工区））に関する件	農務農園	同	同
同	5	工事請負契約の締結（北海道札幌平岡高等学校新築工事（第1工区））に関する件	文教	同	同
同	6	工事請負契約の締結（北海道芦別地区高等学校新築工事）に関する件	同	同	同
同	7	工事請負契約の締結（北海道虻田高等学校改築第2期工事）に関する件	同	同	同
同	8	工事請負契約の締結（北海道福島商業高等学校改築工事）に関する件	同	同	同
同	9	工事請負契約の締結（北海道札幌平岡高等学校新築工事（第2工区））に関する件	同	同	同
同	10	工事請負契約の締結（北海道紋別南高等学校改築第2期工事）に関する件	同	同	同
同	11	工事請負契約の締結（北海道池田高等学校改築第2期工事）に関する件	同	同	同
5. 19	12	北海道副知事の選任につき同意を求める件		5. 19	同意議決
同	13	北海道出納長の選任につき同意を求める件		同	同
5. 20	14	北海道監査委員の選任につき同意を求める件		5. 20	同

報 告

提出月日	番号	件 名	付託委員会	議決月日	議事結果
5. 13	1	専決処分報告につき承認を求める件（北海道税条例の一部を改正する条例、3月31日専決処分）	総務	5. 20	承認議決
同	2	専決処分報告の件（損害賠償の額の決定、3月27日専決処分）			報告のみ

第1回臨時会において議員から提出のあった案件

決 議 案

提出月日	番号	件 名	提出者	議決月日	議事結果	備 考
5. 18	1	北海道議会運営委員会規定の一部を改正する規程案	鈴木誠二議員ほか15人	5. 18	原案可決	各会派代表者
5. 20	2	総合開発調査特別委員会設置に関する決議	同	5. 20	同	同
同	3	石炭対策特別委員会設置に関する決議	同	同	同	同
同	4	北方領土対策特別委員会設置に関する決議	同	同	同	同
同	5	エネルギー問題調査特別委員会設置に関する決議	同	同	同	同
同	6	国民体育大会推進特別委員会設置に関する決議	同	同	同	同

決 議 案

決議案第1号

(昭和62年 1 臨
鈴木誠二議員ほか15人提出<各会派代表者>
62年5月18日 原案可決)

北海道議会運営委員会規程の一部を改正する規程案

北海道議会運営委員会規程の一部を改正する規程

北海道議会運営委員会規程（昭和38年5月17日議決）の一部を次のように改正する。

第4条第1項中「13人」を「16人」に改める。

附 則

この規程は、昭和62年5月18日から施行する。

決議案第2号

(昭和62年 1 臨
鈴木誠二議員ほか15人提出<各会派代表者>
62年5月20日 原案可決)

総合開発調査特別委員会設置に関する決議

1. 本議会に27人の委員をもって構成する総合開発調査特別委員会を設置する。
2. 本委員会は、
 - (1) 本道の総合開発計画の推進に関する事項について必要な調査を行う。
 - (2) 各常任委員会所管の総合開発事務について連絡調整を行う。
3. 本委員会は、閉会中も調査を行うことができることとし、議会において調査終了を議決するまで継続存置する。

決議案第3号

(昭和62年 1 臨
鈴木誠二議員ほか15人提出<各会派代表者>
62年5月20日 原案可決)

石炭対策特別委員会設置に関する決議

1. 本議会に15人の委員をもって構成する石炭対策特別委員会を設置する。
2. 本委員会は、本道における石炭産業の安定、炭鉱労働者の生活と雇用の安定及び産炭地域経済の確立を図るため、次の事項について調査し、その推進を図る。
 - (1) 総合エネルギー政策上における石炭産業の地位確保。
 - (2) 炭鉱労働者（離職者を含む）の生活と雇用の安定。
 - (3) 石炭需要の拡大と流通構造の近代化。
 - (4) 産炭地域の振興。
 - (5) その他石炭産業に関し必要と認める事項。
3. 本委員会は、閉会中も調査を行うことができることとし、議会において調査終了を議決するまで継続存置する。

決議案第4号

(昭和62年 1 臨
鈴木誠二議員ほか15人提出<各会派代表者>
62年5月20日 原案可決)

北方領土対策特別委員会設置に関する決議

1. 本議会に13人の委員をもって構成する北方領土対策特別委員会を設置する。
2. 本委員会は、次の事項について調査し、その推進を図る。
 - (1) 北方領土の復帰促進を図るため、これが啓発、世論の結集・高揚。
 - (2) 北方領土周辺における漁業の安全操業対策の推進。
 - (3) 北方領土元居住者に対する援護対策の推進、その他行財政制度の整備。
3. 本委員会は、前項の事務に関する関係常任委員会所管事務について連絡調整を行う。
4. 本委員会は、閉会中も調査を行うことができることとし、議会において調査終了を議決するまで継続存置する。

決議案第5号

(昭和62年 1 臨
鈴木誠二議員ほか15人提出<各会派代表者>
62年5月20日 原案可決)

エネルギー問題調査特別委員会設置に関する決議

1. 本議会に17人の委員をもって構成するエネルギー問題調査特別委員会を設置する。
2. 本委員会は、次の事項について必要な調査を行う。
 - (1) エネルギー問題（石炭を除く。）に関する事。
 - (2) 原子力発電に関する事。
 - (3) 核燃料サイクルに関する事。
 - (4) 高レベル放射性廃棄物に関する事。
 - (5) その他必要と認める事項。
3. 各委員会所管の前項関係事務について連絡調整を行う。
4. 本委員会は、閉会中も調査を行うことができることとし、議会において調査終了を議決するまで継続存置する。

決議案第6号

(昭和62年 1 臨
鈴木誠二議員ほか15人提出<各会派代表者>
62年5月20日 原案可決)

国民体育大会推進特別委員会設置に関する決議

1. 本議会に17人の委員をもって構成する国民体育大会推進特別委員会を設置する。
2. 本委員会は、昭和64年第44回国民体育大会の推進等について必要な調査を行う。
3. 各委員会所管にかかる前項関係事務について連絡調整を行う。
4. 本委員会は、閉会中も調査を行うことができることとし、議会において調査終了を議決するまで継続存置する。

第2回定例会

重要施策、緊急経済対策費等総額2,793億円余に及ぶ補正予算可決

▶北海道総合開発計画に関する道意見案（北海道新長期計画案）の調査を付託◀

概 要

- ① 改選後、最初の政策予算等を審議する第2回定例会は6月30日招集され、今期定例会の会期を7月24日まで25日間と決定の後、総額1,969億8,400万円余の補正予算等39件の議案が上程され、知事から道政執行方針及び提出議案に関する説明、教育長から教育行政執行方針に関する説明を行い、「北海道の稲作に関する要望意見案」を可決して、議案調査のため7月1日から6日まで休会した。
- ② 休会あけの7月7日から代表質問に入り、10日に代表質問を終結。同日、引き続き一般質問入り、11日は休会した。
- ③ 14日は、昭和61年度企業会計決算に関する件6件の追加提出案件が上程され、知事から提案説明の後、一般質問を継続、17日には、翌18日を休会することを決定し、21日に、一般質問を終結。次に、国の緊急経済対策に基づく公共事業等の追加措置に伴う823億5,000万円余の補正予算の追加提出案件が上程され、知事から提案説明の後、予算及び企業会計決算両特別委員会を設置の上、議案の各委員会付託を行い、各委員会付託議案審査のため7月22日から23日まで2日間休会した。
- ④ 予算特別委員会は、7月21日、正副委員長の互選を行い、2分科会を設置の上、22日から補正予算等に対する各部所管審査に入り、24日に質疑を終結。各分科委員長報告の後、知事に対する総括質疑を行い、翌25日、意見調整の結果、附帯意見を付しいずれも原案可決と決定した。
- ⑤ 本会議再開の24日は、会期を25日まで1日間延長することに決定。会期最終日の25日は、昭和62年度補正予算等に対する予算特別委員長報告及び各付託案件に対する各委員長報告の後、討論、採決の結果いずれも原案可決。次に、公安委員会委員の選任等の人事案件3件が追加提案され、知事から説明の後、いずれも同意議決。次に、議案第44号（国土利用北海道計画の変更に関する件）並びに北海道総合開発計画に関する道意見案（北海道新長期計画案）調査の件を上程し、知事から説明の後、いずれも総合開発調査特別委員会に付託し、議案第44号は、閉会中も継続審査に付すこと、また、北海道総合開発計画に関する道意見案（北海道新長期計画案）は、調査終了を議決するまで継続調査を行うことに決定。次に、「北方領土問題等の解決促進に関する要望意見案」など4意見案を原案可決の後、請願1件を委員会決定のとおり採択。次に、報告第27号ないし第32号（昭和61年度企業会計決算）の閉会中継続審査並びに閉会中請願・陳情継続審査及び事務継続調査の件を決定して、今期定例会に付議された案件は、議案第44号及び報告第27号ないし第32号を除きすべて議了。議長から閉会のあいさつがあって、開会以来26日目の7月25日午後3時2分閉会。
- ⑥ 提出案件の処理状況は、次のとおりである。

提出者	提出件数	処 理 の 状 況				合 計
		原案可決	同意議決	継続審査	報告のみ	
知 事	76	40	3	7	26	76
議 員	5	5	—	—	—	5
計	81	45	3	7	26	81

本 会 議

○6月30日(火) 午前10時4分開議、藤井猛議長、昭和62年第2回定例会の開会を宣し、引き続き、

日程第1 会議録署名議員の指定を行い、諸般の報告の後、

日程第2 会期決定の件を議題とし、今期定例会の会期を、本日から7月24日までの25日間と決定。次に、

日程第3 議案第1号ないし第39号を議題とし、知事から、道政執行方針及び提出議案に関し説明並びに教育長から、教育行政執行方針に関する説明の後、

日程第4 意見案第1号を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略することを異議なく決定の後、討論に入り、大橋見議員(共産)から反対討論があって討論終結。次いで、採決に入り、起立採決の結果、起立多数(共産反対)をもって原案のとおり可決。次いで、議案調査のため、7月1日から7月6日まで休会することに決定して、午前11時14分散会。

○7月7日(火) 午前11時26分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第39号を議題とし、代表質問に入り、



古川 靖見議員(自民)から、① 知事の政治姿勢に関し、道政執行方針の三つの挑戦などについての過去4年間の成果

と今後4年間の具体的な取り組み、地方復権と地域の自立、訪米と三井砂川の閉山問題など当面する課題への対応、道財政の現状認識と今後の財政運営、財政調整基金などの取り崩し、マイナスシリーディング設定の基本的な考え方とその運用の実態等、国の緊急経済対策の受けとめと道負担分の財源対策、新計画の人口想定、地域定住を促進するための手だ

て、四全総との整合、経済成長率4パーセントの設定理由とその実現見込み

② 景気対策と特定地域振興対策に関し、景気対策の取り組み、道内経済と産炭地域など特定地域の現状把握、景気対策関連予算の執行方針、特定地域振興計画の今後の作成スケジュール、特定地域中小企業対策特別資金需要に対する今後の対処、道単独分の資金の取り扱い状況、産業構造転換円滑化臨時措置法に基づく制度の活用についての取り組みと今後の対処方針

③ 雇用緊急対策の推進に関し、特別な事情による離職者の雇用対策とその成果、今後の取り組み、再就職希望者の就職見通し

④ 農業問題に関し、農業政策の保護削減や農産物の市場開放要求に対する見解、国際競争力のある具体的な農業施策、畑作振興の具体策

⑤ 教育問題に関し、教育行政執行の基本姿勢、学校運営研修会における北教組の行動、座り込みに参加した者に対する庁舎管理者の所見、服務上の扱い、本年度の学校運営研修会の実施時期、方法、初任者研修の試行実施、主任制度にかかる教育委員会見解に対する認識

⑥ 公安問題に関し、スピード違反に対する取り締まり、雑踏警備に対する所見、違法駐車を取り締まり、覚せい剤事犯の取り締まり、乱用防止のための啓発等について

質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁の後、議事進行の都合により午後1時7分休憩、午後4時48分再開し、本日の会議は、議事の都合により、この程度にとどめ延会することに決定し、午後4時49分延会。

○7月8日(水) 午前11時20分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第39号を議題とし、代表質問を継続、古川靖見議員(自民)から再質問があり、知事及び教育長から答弁、同議員から、知事の三つの挑戦などについて指摘があって、議事進行の都合により午後零時21分休憩、午後2時5分再開し、日程第1の議事を継続、



鈴木 誠二議員(社会)

から、① 知事の政治姿勢に関し、道政推進の基本理念、道政運営の改革についての考え方、幌

延問題についての基本的な考え方

- ② 産業経済問題に関し、国の景気補正予算の内容と景気対策に臨む基本姿勢、財源措置とその確保の見通し、本道経済の活性化についての基本的な考えと取り組み方策、特定地域の振興対策、計画素案策定の基本的認識と見直しの内容、国の計画策定の日程、新計画素案に関する今後のスケジュール、地域プロジェクトの推進、支庁体制の確立、本庁の組織機構の確立、本道農業の将来展望と取り組み、地域振興と農業の役割、稲作の展望と取り組み
- ③ 雇用問題に関し、雇用対策や雇用創出の施策についての基本的姿勢、炭鉱離職者の就職促進緊急対策、地域雇用開発計画の推進、札幌市など指定外地域の地域雇用開発計画の取り扱い、当面の職業能力開発体制、情報処理関係職業訓練校の設置
- ④ 保健医療と福祉行政に関し、保健医療と福祉行政推進の基本的姿勢、総合的な施策の展開
- ⑤ 自然環境の保全と開発に関し、自然環境の保全と開発についての基本的考え方、道道十幌然別湖線の自然環境調査報告書の取りまとめ状況と今後の対応、千歳川放水路建設計画の国に対する申し入れ、関係市町村・団体などとの協議状況、63年度着工に対する道の考え方
- ⑥ 教育問題に関し、教育行政執行に当たっての基本理念、学校運営研修会に対する認識、職員団体との基本姿勢、新教育長期計画策定における国際化に対応した教育、ボランティア活動などの社会教育と学校教育との関連、特殊教育の取り組み状況、生涯教育の推進、地域文化の振興
- ⑦ 公安問題に関し、今後の交通事故防止対策、交通安全施設の整備、交通信号機の高度化、行動右翼の実態、行動右翼の取り締まりの現状と今後の基本的姿勢等について

質問があり、知事、教育長及び道警本部長から答弁の後、議事進行の都合により午後3時30分休憩、午後3時45分再開。次いで、



浅野 俊一議員(公明)

から、① 知事の政治姿勢に関し、道民党としての道政の課題への取り組み姿勢、核兵器廃絶平

和北海道宣言、主任制問題に対する取り組み、予算編成の基本的な考え方、今後の行政需要への対応、事務事業のスクラップ・アンド・ビルドに係る予算上の反映、予算編成システムの確立、中長期の財政見通し、道財政の健全化方策、行政改革の推進とその体制、千歳川放水路計画の推進についての所見、自然環境影響の調査、国の地元住民への対応

- ② 雇用対策に関し、地域雇用開発計画の具体的な取り組み、道央地域の雇用開発計画、情報処理訓練校の空知地域への誘致、大規模雇用開発研修センターとの関連
- ③ 水産問題に関し、日本海地域における漁業振興対策、国営栽培漁業センターの誘致、マリノーション構想の具体的な取り組み
- ④ 国際エアカーゴ基地構想に関し、航空貨物便の新千歳空港乗入れに係る米国のエメリィ社との覚書交換に至る経過と内容、地元住民への対応、防衛庁の航空管制との関連
- ⑤ 「世界・食の祭典」に関し、イベントの内容、道の取り組み、道と財団法人との関係、経済効果、本道経済全体への活性化と自立への運動
- ⑥ 国際交流に関し、国際交流活動の充実に向けた支援方策、北方圏交流についての認識と今後の位置づけ、国際交流の推進体制、海外技術交流の推進、発展途上国からの技術研修員等の受け入れ体制、国際研修センターの誘致
- ⑦ 教育問題に関し、本道の特性を踏まえた教育行政の基本的考え方、高齢化社会における教育面への対処、高校の職業教育に福祉科を設置するなどの福祉教育の充実、情報化社会に対応する教育の推進、パソコン等の他の学科への整備拡大、メディア設備の導入、学校図書館の機能充実、情報処理教育センターの拡充強化、システムエンジニアの確保等につ

いて

質問があり、知事から答弁の後、あらかじめ会議時間を延長し、教育長から答弁、同議員から再質問、知事から答弁があって、午後5時25分延会。

○7月9日(木) 午前10時22分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし議案第39号を議題とし、代表質問を継続、



小野 秀夫議員(民政)

から、① 第2期横路道政の課題に関し、民と官との協力による地域経済発展の条件づくり、地域の自助努力の条件づくり、道みずからの自助努力の条件づくり

- ② 景気・雇用対策に関し、この問題に取り組む知事の決意、本道の実態認識と今後の見通し、国への要請施策、産業構造の転換に伴う労働行政の体制、不況業種における雇用調整の現状、不況地域における個別対策、室蘭地域及び産炭地域の振興、補正予算への反映と当該地域からの要望に対する今後の支援
- ③ 新計画に関し、人口と就業者数の想定、経済成長率の想定、資金計画、国際エアカーゴ基地構想の推進、リニアモーターカーの実用実験線の誘致、建設の推進、航空宇宙産業基地計画と道民総ぐるみの推進体制
- ④ 行政改革と財政の健全化に関し、行政改革の取り組み、義務的経費の削減、基金の取り崩し、基金の積み戻しなど財政運営のあり方、来年度の予算編成に当たっての対処、今後における道債の運用、健全財政の維持と現状認識等
- ⑤ 教育問題に関し、心の触れ合いを大切にする学校教育のあり方、国際化、情報化に対応するための教職員の確保養成、学校運営研修会の円滑な開催など主任制度にかかわる懸案解決の取り組み、四週五体制の導入など教職員の勤務条件の改善、生涯教育の推進等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事から答弁、同議員から財政問題について要旨発言の後、議事進行の都合により午後零時2分休

息、午後1時28分再開し、日程第1の議事を継続、



本間 喜代人議員(共産)から、① 知事の政治姿勢に関し、国旗日の丸の掲揚、本道石炭産業の今日の崩壊をもたら

した基本的要因、苫東工業基地及び石狩湾新港の開発政策、小樽港と石狩湾新港との一体管理、酪農など離農者の多い本道農業、米の輸入、生産者米価の引き下げ、政治の転換についての見解、新型間接税反対とマル優制度存続の申し入れ、道民税利子割の道予算減額補正、知事など特別職の退職手当支給率、自衛隊の演習事故による住民被害の実態、自衛隊への抗議、演習中止の申し入れ、非核北海道宣言の考え

- ② 北海道経済と産業・雇用問題に関し、産業構造調整政策に対する知事の立場、開発政策の根本的な転換、三井砂川鉱閉山計画の撤回申し入れ、同鉱の閉山計画と今後の対応、北電への道内炭使用要請、農業の構造政策の見直し、農業生産資材価格の引き下げ、制度資金の償還猶予、国に対する抜本的負債対策実現の働きかけ、国鉄の分割・民営化に伴う新会社の職員採用の実態調査結果と事実認識、JR北海道の清算事業団職員の優先採用の申し入れ、道職員への採用
- ③ 開発と自然保護問題に関し、千歳川放水路計画についての開発局の地元団体等への対応、東ルート選定に係る道のかかわり、開発局に申し入れた事項に対する措置状況、開発局への撤回申し入れ、知床国有林の伐採
- ④ 道民の暮らしと福祉問題に関し、国保保険証未交付の実態、多数の未交付に係る知事の見解、市町村に対する指導、国保財政健全化対策費補助金の配分基準、補助金の増額、公営住宅の建設戸数の減少、公営住宅の建設管理
- ⑤ 教育問題に関し、教務主任研修にかかわる道教委の方針に対する知事の所見、教務主任研修開催に当たっての参加義務づけに対する教育長の見解等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事及び教育長から答弁。同議員から再々質

問、知事及び教育長から答弁。会議規則第57条ただし書きの規定による発言許可の後、同議員から発言があって、知事から答弁の後、午後3時31分休憩、午後4時17分再開し、直ちに延会。

○7月10日（金） 午前10時22分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第39号を議題とし、一般質問に入り、

桜田 正明議員（自民）から、

- ① 農業問題に関し、7月2日の降ひょうによる農作物の被害内容、技術指導を含めた今後の対策、62年度転作作物の作付け見通し、転作が道東畑作専業地域に与える影響と指導及び対策、野菜・花卉の将来見通し、米の需給見通しと稲作指導、転作面積の傾斜配分における考え、地方競馬と中央競馬の競合及び他種公営競技との競合問題についての今後の対処
- ② 財政問題に関し、被牽引車に係る道税条例及び施行規則に関する取扱い改正時の検討、道税条例の改正による対応、自動車税改正に伴う税務行政執行に対する受けとめ等について

質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。同議員から再々質問があり、知事から答弁の後、湯佐利夫議員（自民）から議事進行発言があり、午前11時25分休憩、午後4時10分再開し、知事から補足答弁。会議規則第57条ただし書きの規定による発言許可の後、同議員から発言。次に、

佐々木 隆博議員（社会）から、

- ① 農業問題に関し、農産物の市場開放問題についての今後の対応、検討チーム強化による対外的諸課題への対処、農業のガイドホストの指標策定に当たっての基本的考え、農業基盤整備資金の償還条件を緩和することへの見解、農用地開発公団事業に係る農家の償還金の負担軽減対策、優良品種開発についての今後の取り組み、消費者ニーズに応じた情報の収集と施策
- ② 地域活性化対策に関し、一村一品運動の現状認識と今後の取り組み
- ③ 道路の災害防止対策に関し、今回の大雪山国立公園層雲峡の崩落事故に対する見解、道

道の通行規制区間の状況と対策等について質問があり、知事から答弁。次いで、議案調査のため、7月11日は休会とすることに決定して、午後4時47分延会。

○7月13日（月） 午後1時29分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第39号を議題とし、一般質問を継続、

菅原 功一議員（自民）から、

- 福祉対策と難病対策に関し、北海道地方社会福祉審議会の提言内容の背景、提言を踏まえての取り組み、62年度の在宅福祉に係る市町村への助成、理学療法士・作業療法士などの養成への取り組み、グループ・フォスターホーム制度の対象児童数、本道でのグループ・フォスターホームの形態、制度化の計画、本道の難病に対する基本的対策、特定疾患の動向と患者に対する道の対応、後縦靭帯骨化症患者の公費負担除外反対への対処、後縦靭帯骨病の診断基準の相違の是正方法、パーキンソン病の診断上の問題、今後の特定疾患の医療費の取り扱い等について

質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。同議員から再々質問、知事から答弁。次に、

小山 誠司議員（社会）から、

- ① 中小企業対策に関し、下請中小企業の経営安定に対する取り組み、中小企業の体質強化への取り組み、道内企業の本州マーケット確保拡大に対する支援、取り組み方針
- ② 教育問題に関し、高等教育機関の拡充整備についての基本姿勢、教育研究用設備に対する助成要望への対処、教員の研修に対する基本的見解、主任制度問題の抜本的解決への見解、髯学校における三歳児未満の教育相談、訓練などの効果的方策、子供たちへの具体的指導、養護学校高等部校に多くの不合格者が生じていることへの見解、不合格となった生徒の進路先、高等部校の拡充に対する見解、今後の見直し等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。午後2時47分休憩、午後4時14分再開。次に、

野呂 善市議員（自民）から、

- ① 農地開発行政に関し、道営土地改良事業の新規地区の採択に対する基本的な考え方、新規地区と継続地区の事業費要求の方針、工事返上など地区除外申請が出された場合の対処方法、国営や団体営土地改良事業との調整方法、事業計画の変更により地区除外を承認した農地の事後措置、農林水産関係補正予算案における農業基盤整備事業の内容、事業受け入れのための取り組み
- ② 水産行政に関し、本道水産業の現状認識と予算計上の際の観点、沿岸漁業振興に対する認識と施策、沖合漁業の経営改善などに対する認識と施策、北海道水産業振興審議会の答申に対する受けとめと今後の対処、沖合底びき網漁業と沿岸漁業との調整問題に対する認識と取り組み、漁業協同組合の経営状況に係る調査の結果、制度改善に係る国への要請状況と今後の取り組み、水産加工業の振興に対する現状認識と今後の振興対策、韓国漁船問題に対する見解と国への働きかけ、自治体としての立場からの外交、韓国漁船の200海里法適用に対する見通しと対処、西日本漁業者への働きかけなどの取り組み等について

質問があり、知事から答弁。あらかじめ会議時間を延長の上、同議員から再質問、知事から答弁。同議員から再々質問、知事から答弁。会議規則第57条ただし書の規定による発言許可の後、同議員から発言。午後5時13分延会。

○7月14日（火） 午前10時34分開議、諸般の報告の後、

日程第1 報告第27号ないし第32号を議題とし、知事から提案説明の後、

日程第1にあわせ

日程第2 議案第1号ないし第39号及び報告第27号ないし第32号を一括議題とし、一般質問を継続、

鯉谷 忠議員（社会）から、

- ① 医療行政に関し、地域保健医療対策協議会に対する支援、地域センター病院における医師研修などソフト面での事業推進の必要性、精神病院のデータ機能の整備など精神障害

者の社会復帰に対する所見

- ② 地域開発問題に関し、緑のマスタープラン策定作業の進捗状況、想定される広域公園の数、新たな道立公園整備に当たっての基準、各地域の取り組みについての受けとめ
- ③ 雇用対策に関し、本道における季節労働者の現況、季節労働者に対する知事の認識、季節労働者の雇用安定対策に関する大綱の基本的方向と取り組み状況、雇用情報などのネットワーク整備の内容と実施スケジュール及び事業効果、失業者吸収率制度の雇用面での役割と実績、運用状況、道発注の公共事業における失業者吸収制度の遵守に対する見解等について

質問があり、知事から答弁。次に、

永井 利幸議員（自民）から、

- ① 商工業の振興に関し、生協の出店に対する所見、生協の員外利用の規制に対する見解、生協の新聞などでの広告・宣伝に対する見解、取り扱い品目の限定措置、大規模小売店舗法の適用に係る国への働きかけ、中小小売業者育成の立場からの税制上の優遇措置や生協法の規制の強化に対する所見、厚生省の通達を踏まえた今後の指導
- ② 財政問題に関し、世界・食の祭典に係る寄附の窓口が道になっている理由、寄附金の種類、寄附の理由、同祭典が開催不能となった場合の寄附金の扱い
- ③ 市制施行に伴う問題に関し、将来市となる可能性のある町村等について

質問があり、知事から答弁。同議員から再質問の後、知事の答弁準備のため、午前11時37分休憩、午後3時21分再開。議事の都合により、直ちに延会。

○7月15日（水） 午後1時5分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第39号及び報告第27号ないし第32号を議題とし、一般質問を継続、知事から昨日の永井利幸議員（自民）の再質問に対する答弁。同議員から発言。次に、

小池 昌議員（社会）から、

- ① 水産問題に関し、漁業基本対策への取り

組み、北洋漁業関連特別対策への取り組み、海域総合開発事業の今後の推進方法とその見通し、国の根室海域の沿岸漁業などの調査事業の内容、調査に基づく対策の構想具現化への取り組み、指定地域の水産加工業の振興強化への取り組み

- ② 国際化問題に関し、北海道の国際化に向けた今後の取り組み、地域における国際交流の強化、根室地域が果たす位置づけと役割
- ③ 北洋漁業にかかわる雇用対策に関し、北洋漁業の離職漁船乗組員の発生状況と再就職の状況、再雇用が難しい要因、これまでの雇用対策と今後の対応、漁協や水産加工業などにおける雇用対策、離職漁船員に対する職業訓練の取り組み等について

質問があり、知事から答弁。次に、

吉田 恵悦議員（公明）から、

- ① 青函博に関し、基本計画の進捗状況、青森県との連携、周辺町村が計画しているイベント等との連携、推進体制への取り組み
- ② 北のサミットの開催に関し、青函トンネル開通を契機とした北海道と東北地域のサミット開催への所見
- ③ ユニバーシアード冬季大会に関し、1991年ユニバーシアード冬季大会の札幌開催内定に対する所見、開催に向けての支援方策、ユニバーシアード冬季大会と道内の各種フェスティバルとの連動による地域活性化の方策、本道のよさを理解してもらうための取り組みの必要性
- ④ 教育問題に関し、本道における私学の現状認識、私学の育成方策と今後の取り組み、私学の担当課に教育相談員を配置することへの所見、生徒指導に係る問題や課題についての認識、本道の登校拒否の実態認識とその対策、いじめ相談電話の相談件数の推移と相談内容の傾向、夜間の電話相談窓口設置に対する見解等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。午後2時39分休憩、午後3時8分再開。次に、

風早 俊男議員（民政）から、

- ① 新計画に関し、新計画の策定に際しての札幌市との連携や協議、今後の計画推進に当た

っての姿勢、道央圏や札幌市を中心とした道央複合都市圏の人口想定、過疎過密問題についての基本的な対処策、過密からみた札幌市の現状認識、道央圏域の高速道路の複線化や札幌市を中心とする縦貫高速道路新設への見解

- ② 福祉、医療問題に関し、高齢化社会に対応する基本的な考え方、社会福祉施設の防火対策の調査結果、調査を踏まえた今後の防火対策、1人当たりの老人医療費が高い現状に対する認識と適正化の方法、本道の医師の充足状況への認識、道内にある医科大学の入学定員の確保、老人保健施設創設後の機能活用への見通し

- ③ 教育問題に関し、高等教育機関の誘致に係る科目と誘致箇所及びその見通し、教職員の交通用具使用者に係る手当の改善に対する見解、高校の学級定員増の臨時応急措置の期限、今後の高校新設の進め方等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事及び教育長から答弁。次に、

三木 勝夫議員（自民）から、

- 労働行政に関し、情報処理関連技術者の需要見込、関係技術者の養成についての対処、専門学校都市別定員充足状況、今後の専門学校設置の見通し、情報処理訓練校誘致の経緯、私立専修学校各種学校連合会との調整状況、室蘭市を設置予定地とした理由、近隣の地方自治体との事前協議の状況と今後の調整、室蘭地域活性化対策協議会との協議、近隣の既設2校への対応状況、近隣の専門学校からの誘致反対要請への対処状況と今後の対応、室蘭市へ誘致したことへの見解等について

質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。同議員から発言があって、午後4時33分延会。

- 7月16日（木） 午後4時49分開議、諸般の報告の後、本日の会議は、議事の都合により、日程を延期し、延会することに決定して、午後4時50分延会。

- 7月17日（金） 午前11時12分開議、諸般の報

告の後、

日程第1 議案第1号ないし第39号及び報告第27号ないし第32号を議題とし、一般質問を継続、

菊地 芳郎議員（社会）から、

- ① 観光対策に関し、観光客の誘致対策に係るキャンペーン事業などの今後の展開、東南アジアなどに対する冬季観光対策の現状と今後の対策、航空運賃の格差是正に対する取り組み状況と今後の対処、国際観光振興の面から千歳空港をコモンレート適用とすることへの見解、広域的観光開発のための協議会の組織や機能、道内各地の現状や各界の意見を反映させた観光開発の推進、総合保養地域整備法制定に伴う大規模リゾート開発への取り組み方針と支援の方策
- ② 教育問題に関し、本道高等学校における59年度の退学状況と退学の理由、高校生活への適応指導の状況、中学校における進路指導の状況、中途退学を減らすための今後の取り組み、学校管理下における体育・スポーツ活動中の災害事故の現状、実態を踏まえた事故防止対策、スポーツ少年団等学校外活動の現状、スポーツ少年団指導員の資質向上への対処策等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。次に、

奥野 文蔵議員（自民）から、

- 道政上の諸問題に関し、エアカーゴ基地構想推進に当たっての関係機関や地元との合意に対する基本的認識、千歳市のプランとの整合性など構想推進のあり方に対する見解、24時間運用について地元住民と話し合いをしていない理由、関係住民の範囲、今後の地元住民とのコンセンサスの方法、施設建設等に係る外国企業参入への対応に対する所見等について

質問があり、知事から答弁。同議員から発言。午後6時7分休憩、午後1時34分再開。次に、

高橋 庸議員（社会）から、

- ① 農産加工問題に関し、漬物用野菜を野菜振興と漬物産業振興として位置づける考え、漬物用野菜の品質管理改善や貯蔵方法についての取り組み、漬物企業の実態への認識、消費者ニーズに合った漬物製造への指導・援助、

技術向上のための積極的な指導援助、食品加工研究所における漬物の研究に対する見解

- ② 国有林野事業の経営改善問題に関し、林政審議会答申による事業の改訂計画等厳しい現状に対する認識と対処策
- ③ 災害救助に際しての医師との協定に関し、医療救護活動の費用負担の方法などに対する医師会の協定提携の要望への対応等について

質問があり、知事から答弁。次に、

国本 康夫議員（自民）から、

- ① 土木行政に関し、まちづくり特別対策事業の重要性についての認識と取り組み、予算が減額された理由、発注事務の軽減措置への対応状況と市町村への指導、土木設計積算の電算化を実施していない理由、今後の対処方針、本道の高速道路の供用や道路整備のおくれに対する受けとめ、今後の整備促進に対する取り組み、インターチェンジ周辺の開発に対する取り組み状況、今後の対処方針、高規格幹線道路の路線が要望どおり認められなかった事情承知の有無、今後の取り組みの考え
- ② 住宅都市行政に関し、住宅建設促進に対する見解、道の住宅建設施策が建設促進に与える効果、「国際居住年」に向けての事業への取り組み、居住水準の向上や住環境整備推進の目標と施策、潤いのある都市空間の創造など実現のための目標等推進への取り組み、都市環境管理基準との整合性、住宅性能保証制度に係る普及機構への援助取りやめと制度普及の成果、快適な生活を営むための暖房のあり方と今後の取り組み、熱供給事業の経営状況の実態と指導状況、北広島団地・花畔団地の熱供給事業の経営状態悪化の実態と要因、公営住宅の管理公社設置の方針決定が遅れている理由、設置時期など今後の取り組み、国が市街地再開開発緊急促進事業を制定したことへの受けとめと対処等について

質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁の後、同議員から発言があって、次に、

村田 雄平議員（自民）から、

- 農業問題に関し、農村の高齢化に対する政策と具体的施策への取り組み、農家の再建緊急対策の末端金利に対する見解、牛乳・乳製

品の需給が好転した理由、消費拡大運動への今後の取り組み、牛乳の計画生産見直しへの見解、チーズの原料乳取引価格が決定していない状況とその理由、日豪・日米交渉に係る牛肉輸入問題への取り組み、肉用牛生産近代化計画修正に対する見解、肉用牛の複合経営推進の際の配慮と具体的施策等について

質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。午後3時27分休憩、午後4時4分再開。次に、

勝木 省三議員（自民）から、

- 高等学校定時制・通信制教育の改善充実に関し、本道における定時制・通信制教育の現状、入学動機や年齢など生徒の多様化への対処方、本道の定時制・通信制教育の今後の推進方法等について

質問があり、教育長から答弁。同議員から再質問、教育長から答弁の後、議案調査のため、7月18日は休会することに決定して、午後4時24分延会

○7月20日（月） 午後1時33分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第39号及び報告第27号ないし第32号を議題とし、一般質問を継続、

酒井 芳秀議員（自民）から、

- ① 新計画に関し、スタート年次を1年遅らせたことへの見解、新計画の策定に向けての取り組みの経過と今後の進め方、総合開発委員会からの答申に付記された意見等の概要とそれに対する所見と取り扱いの姿勢、道議会に対する知事の姿勢、議会意思の尊重についての見解、自由貿易地域構想に対する今後の取り組み
- ② 林政行政に関し、林産物の需給の長期見直し・見直しへの所見、造林事業の現状認識と今後の取り組み、林道整備の目標値や達成率が低い原因と今後の対策、道単の林道事業を前年度より減額させた理由、大規模林道整備の実行が遅れている現状への認識、今後の促進への取り組み、平取・えりも線の林道整備の促進に対する所見と取り組みの決意、置戸・阿寒線の見直し、補助や融資制度、税制の改善などの問題に対する認識、これまでの国

への働きかけ、今後の取り組みへの決意、木材産業体質強化緊急対策事業計画の進捗状況、計画達成時の木材産業の経営と振興の見通し及び林業への効果、木材の需要拡大策、緑のふるさと整備事業等に対する市町村の要望への対処、道民の森整備との関連、林業試験場の機器などの整備に対する本年度の対処、林業試験場の整備計画等について

質問があり、知事から答弁。同議員から、再質問、知事から答弁。同議員から発言の後、次に、

平井 進議員（自民）から、

- ① 教育問題に関し、教科書以外の教材を使用した授業が行われている事実の有無、教科書及び補助教材の意義と学校への指導、副読本の取り扱いについての指導状況、主任制問題に対する所見、主任制度の正常な運営に対するこれまでの努力と結果への認識
- ② 防災問題に関し、火山噴火の防災対策、火山噴火時の避難対策
- ③ 農業問題に関し、米の品種開発への取り組みと米の貯蔵保管への見解、異性化糖のてん菜生産に与える影響、てん菜の安定生産への対策等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事及び教育長から答弁。午後3時1分休憩、午後3時49分再開。次に、

久田 恭弘議員（自民）から、

- ① 知事の政治姿勢に関し、行財政改革の推進と道民ニーズへの対応に対する所信、国際化のための政策方向、道内に居住する外国人との交流や地域への受け入れ態勢の展開方策、市町村などの行う国際交流活動に対する支援、高齢化社会への政策選択の基本的な考え方、寝たきり老人の状況、年寄が安心して暮らせる新しい社会システムの概要、個性あるまちづくり推進に当たっての基本的認識と推進方策、行財政改革に関連して民間委託に対する見解
- ② 企業誘致に関し、現在の経済情勢と企業誘致に対する見解、これまでの情報収集の状況と対処方針及びその評価、道外企業の経営者などからの意見の受けとめ、企業立地促進条例の適用状況に対する受けとめ、企業立地の下支えになる産業の集積についての取り組み

状況、すぐれた技術者や研究者集積のためのこれまでの方策、企業受け入れのための高速交通体系の整備など諸問題解決への取り組み状況、公共関連施設などの整備に対する取り組み状況、道単事業の6市町を企業立地促進条例の対象地域とするよう検討することへの見解、観光産業を条例の対象とすることの要望に対する対処

- ③ 地場工業の振興に関し、地場工業等振興条例の助成制度の普及啓発への取り組み状況と今後の対処方針、北海道中小企業振興基金協会の体制整備に対する処置、グッドデザイン商品選定制度についての認識とこれまでの取り組み、道産品のGマーク商品が少ない現状、北海道ニューフロンティア・ビジネスセンター設置の必要性に対する見解、センター開設に係る報道記事
- ④ 国鉄未利用地に関し、国鉄分割・民営化に伴う庁内体制の整備と取り組みの状況、自治体の土地確保に関連した国や国鉄清算事業団などへの対処状況、自治体等の用地利用の計画把握の必要性
- ⑤ 港湾問題に関し、石狩湾新港花畔埠頭供用開始に向けての諸要件の整備状況、エアカーゴ基地と関連した本道港湾の家畜検疫体制への対処、石狩湾新港と小樽港の一体管理提起の真意、一体管理をした場合のメリット、札幌市が港湾管理者となれる法的根拠、新計画における港湾の位置づけと取扱貨物量の分析方法
- ⑥ 国営栽培漁業センターに関し、誘致8場所選定に当たっての地元関係者の意向を踏えた慎重な検討の必要性
- ⑦ 新計画のフレームに関し、昨年1年間の全道の減少人口、経済企画庁の人口推計と道の人口想定に対する見解、経済企画庁の経済成長率の推計への受けとめ、経済企画庁の産業分類を参考にする考案等について

質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。同議員から再々質問、知事から答弁。会議規則第57条ただし書きの規定による発言許可の後、同議員から発言。午後5時25分延会。

○7月21日（火） 午前10時26分開議、諸般の報

告の後、

日程第1 議案第1号ないし第39号及び報告第27号ないし第32号を議題とし、一般質問を継続、

山根 泰子議員（共産）から、

- ① 婦人問題に関し、北海道婦人行動計画への取り組みと成果及び今後の推進方針、女性の就労・賃金問題への認識と失業・低賃金への対処策、婦人が働くための保育所等の施設整備問題への認識、今後の学童保育への対処、学校教育における男女平等への取り組みと今後の対処方針、男女の役割分担の見直し等意識啓発への取り組み、審議会などの委員への女性登用に対する今後の方針、1人の女性が多くの委員を兼任することへの見解、今後の婦人の人材確保への取り組み、女性職員に対する不平等な扱いの改善や女性の幹部登用に対する方策
 - ② 靈感商法に関し、靈感商法に関連した指導の実施状況
 - ③ 季節労働者の対策に関し、季節労働者の雇用に係る具体的構想、季節労働者福祉資金制度の融資条件緩和に対する見解
 - ④ 車粉じん対策に関し、スパイクタイヤ規制の時期と方法、そのための対策と機構、スタッドレスタイヤ普及への対処方、公用車のスタッドレスタイヤ装着率が低い理由と今後の対処、スタッドレスタイヤの性能に対する評価、スパイク規制に対する見解、宮城県の規制条例の内容に対する見解、規制の区域を限定することの可能性
 - ⑤ 交差点での交通事故に関し、札幌市の交差点事故の半数以上が信号機なしの交差点で発生していることへの認識と対処
 - ⑥ 教育問題に関し、文化施設整備の必要性、高校新設など生徒急増対策に係る公約と高校新設への見解、私学の父母負担軽減の公約と私学助成額据置き処置への見解、父母負担軽減の具体的構想、高校の老朽非木造校舍改築促進・設計校決定への見解、道立高校のプールの設置に対する見解、高校総体会場のテーマボードの設置期間と競技終了時の処置、これらに対する認識と対処等について
- 質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁。

同議員から再質問、知事、教育長及び警察本部長から答弁。同議員から再々質問、知事から答弁。次に、

西村 慎一議員（無所属）から、

① 知事の基本政策に関し、潤いのある生活文化の具体的政策、知事の取り組み姿勢に対する見解、国の政策を誘導した施策と高齢化対策での例、高齢化社会に対するビジョン、韓国漁船問題に対する現状認識と今後の取り組み、日本海における資源増大への取り組み、動物検疫施設の誘致など乳牛輸出のための具体策への見解

② 新長期計画に関し、想定人口と地域間均衡に対する見解、計画による過密過疎等地域の均衡改善への見直し、支庁機構の見直しと地域圏域の発展に対する見解、後志地域への飛行場建設の考え

③ 日本海の貧栄養化対策に関し、対策促進の取り組みへの見解等について

質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。次に、日程第1の議事を中止し、議案第40号を追加し議題とすることを決定の後、

追加日程 議案第40号を議題とし、知事から提案説明。

日程第1にあわせ

追加日程 議案第40号を一括議題とし、議事を続継、質疑並びに質問を終結。

工藤啓二議員（公明）から、予算及び企業会計決算に関する案件について、本議会に31人の委員をもって構成する予算特別委員会及び19人の委員をもって構成する企業会計決算特別委員会を設置し、関係案件を両委員会にそれぞれ付託の上、審査されたい旨の動議を提出、賛成があって動議成立、これを請って異議なく決定。動議に係わる案件を両特別委員会に付託の上、次の委員を議長指名により選任。

残余の案件については、議案付託一覧表のとおり、それぞれ所管の常任委員会に付託した。

各委員会付託議案審査のため、7月22日から7月23日まで休会することに決定して、午後零時37分散会。

○予算特別委員（31人）

井野 厚（社会） 乙川 節郎（公明）
桜田 正明（自民） 永井 利幸（自民）

野呂 善市（自民） 三木 勝夫（自民）
葛 健二（民政） 佐藤 寛一（社会）
上田 弘（社会） 大橋 晃（共産）
深田 義勝（社会） 森 敏捷（社会）
山口 恵聖（社会） 遠藤 常二（社会）
大内 良一（社会） 大島 一郎（社会）
相沢 武彦（公明） 勝木 省三（自民）
国本 康夫（自民） 酒井 芳秀（自民）
畠山 博（自民） 村田 雄平（自民）
木本 由孝（自民） 橋 浪蔵（自民）
久田 恭弘（自民） 藤沢 一雄（民政）
一野坪 勉（社会） 長岡 寅雄（社会）
渋谷 澄夫（社会） 平野 明彦（自民）
若狭 靖（自民）

○企業会計決算特別委員（19人）

山根 泰子（共産） 五十嵐 勝（社会）
鯉谷 忠（社会） 永井 利幸（自民）
和田 敬友（自民） 大野 新生（自民）
佐々木隆博（社会） 長沢 徹（社会）
遠藤 常二（社会） 大内 良一（社会）
平田 市郎（民政） 平井 進（自民）
木本 由孝（自民） 松崎 義雄（自民）
谷川 英雅（社会） 関根 建二（社会）
工藤 啓二（公明） 宇川 源吉（自民）
宇野 眞平（自民）

○7月24日（金） 午後4時48分開議、諸般の報告の後、

日程第1 会期延長の件を議題とし、議事の都合により、会期を7月25日まで1日間延長することをはかり、異議なく決定。午後4時49分散会。

○7月25日（土） 午後2時15分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第40号を議題とし、

予算特別、厚生、農務農地開発、文教、総務、商工労働、建設各委員長から、それぞれ各委員会における付託案件の審査の経過と結果について報告の後、討論に入り、川崎守議員（共産）から、議案第1号、第12号、第15号、第23号、第24号、第28号、第31号、第32号及び第34

号に対する反対討論があつて、討論終結。

次いで、採決に入り、日程第1のうち、議案第1号、第12号、第15号、第23号、第24号、第28号、第31号、第32号及び第34号を問題とし、起立採決の結果、起立多数（共産反対）をもって、いずれも委員長報告のとおり原案可決。

次に、日程第1のうち、議案第2号ないし第11号、第13号、第14号、第16号ないし第22号、第25号ないし第27号、第29号、第30号、第33号及び第35号ないし第40号を問題とし、異議なく、いずれも委員長報告のとおり原案可決。

日程第2 議案第41号ないし第43号を議題とし、知事から提案説明。委員会付託を省略の上、日程第2のうち、議案第41号を問題とし、起立採決の結果、起立多数（共産反対）をもって、原案のとおり同意議決。次に日程第2のうち、議案第42号及び第43号を問題とし、異議なく原案のとおり同意議決。

日程第3 議案第44号（国土利用北海道計画の変更に関する件）並びに

日程第4 北海道総合開発計画に関する道意見案（北海道新長期計画案）調査の件を一括議題とし、知事から提案説明と発言の後、

日程第3の議案第44号は総合開発調査特別委員会に付託し、閉会中継続審査に付することに異議なく決定。次に、

日程第4の北海道総合開発計画に関する道意見案調査の件は、総合開発調査特別委員会に付託し、議会において調査終了を議決するまで継続調査を行うことに決定。

日程第5 意見案第2号ないし第5号を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略の上、異議なく原案可決。

日程第6 請願審査の件を議題とし、委員長報告を省略の上、異議なく委員長報告のとおり採択と決定。

次に、企業会計決算特別委員長から、報告第27号ないし第32号について、申し出のとおり閉会中の継続審査に付することに決定。

次に、閉会中請願・陳情継続審査及び事務継続調査の件について、閉会中の継続審査または調査に付することに決定し、今期定例会に付議された案件は、議案第44号及び報告第27号ないし第32号を除き、すべて議了。藤井議長から閉

会に当たつてのあいさつがあつて、午後3時2分閉会。

予算特別委員長報告

私は、予算特別委員会に付託されました議案審査の経過と結果について御報告申し上げます。

御承知のとおり、本委員会は、7月21日に設置され、昭和62年度各会計補正予算7件及びこれに関連する議案12件が付託されたのでありますが、委員会といたしましては、同日、直ちに正・副委員長の互選を行いますとともに、審査の方法等について協議の結果、各部所管に対する審査については、分科会方式によりこれを行うこととし、直ちに2分科会を設置し、それぞれの案件を付託し追加の補正予算案については、本委員会において一括質疑を行うこととした次第であります。

各分科会におきましては、同日、正・副委員長の互選を行った結果、第一分科会は、委員長に遠藤常二君、副委員長に酒井芳秀君、第二分科会は委員長に村田雄平君、副委員長に大島一郎君を選任するとともに、審査の方法等について協議を行い、7月22日から各部所管の審査に入り、7月24日、各分科会の質疑を終了し、引き続き、本委員会において追加の補正予算案の質疑を行い、次いで、各分科委員長より分科会における審査経過の報告書が提出された次第であります。

御承知のとおり、今回付託されました案件は、道政執行方針で示されました諸施策に伴う経費及び当面措置を要する経費のほか、国の緊急経済対策に基づく公共事業等の追加措置に伴う経費について所要の措置を講じようとするものであり、その総額2,793億3,400万円余に及ぶ予算並びにこれに関連する議案でありまして、これらの案件を中心に、道政各般にわたり熱心な質疑が交わされた次第であります。

なお、各分科会における質疑の概要につきましては、別紙お手元に配付の報告書により御承知願いたいと存じます。

本委員会におきましては、引き続き、各分科会において質疑保留となった事項につきまして総括質疑を行い、昨日、付託案件に対する一切の質疑を終結した次第であります。その総括質疑の主なものを申し上げますと、

1. 地方交通線について。
1. 民生部長通達の撤回について。
1. 原子力発電と石炭火発に関する知事公約について。

などでありまして、本日、各会派代表者間におきまして、各案件について意見の調整を図りました結果、議案第1号、第23号、第24号、第28号、第31号及び第32号につきましては意見の一致を見るに至らず、採決の結果、賛成者多数をもって原案可決、その他の案件、すなわち、議案第2号ないし第6号、第22号、第25号ないし第27号、第29号、第30号、第33号及び第40号は、全会一致、原案可決と決定した次第であります。

なお、審査の経緯にかんがみ、次の意見、すなわち、

1. 道財政は、最近急激に硬直化が進み、財政の対応力を損なうことも懸念される。

道は一層行財政の簡素合理化に努め、経費節減を徹底するとともに、財源確保に最善を尽くし、財政の健全化を図るべきである。

2. 今日の本道経済の動向にかんがみ、景気対策関係予算の執行に当たっては、その予算の性格から地元中小企業に十分配慮しつつ、早期発注、予算の完全消化に努めるべきであるとの附帯意見を付されたいとの動議が提出され、採決の結果、賛成者多数をもってこれを決定した次第であります。

以上、本委員会に付託されました議案の審査経過と結果を申し上げたのでありますが、委員各位におかれましては、終始、御熱心に審議を尽くされ、その御労苦に対し衷心より敬意を表する次第であります。

以上をもって、私の報告を終わります。

第2回定例会において知事から提出のあった案件

議 案

提出月日	番号	件 名	付託 委員会	議決月日	議事結果
6. 30	1	昭和62年度北海道一般会計補正予算（第1号）	予算特別	7. 25	原案可決
同	2	昭和62年度北海道農業改良資金貸付事業特別会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	3	昭和62年度北海道林業改善資金貸付事業特別会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	4	昭和62年度北海道沿岸漁業改善資金貸付事業特別会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	5	昭和62年度北海道中小企業近代化資金貸付事業特別会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	6	昭和62年度北海道病院事業会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	7	北海道立心身障害者総合相談所条例案	厚生	同	同
同	8	北海道家畜商講習手数料条例案	農務農開	同	同
同	9	北海道立特殊教育センター条例案	文教	同	同
同	10	北海道市町村振興基金条例の一部を改正する条例案	総務	同	同
同	11	北海道職員等の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例案	同	同	同
同	12	北海道知事等の退職手当に関する条例案	同	同	同
同	13	北海道議会議員その他非常勤職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	14	北海道恩給条例等の一部を改正する条例案	同	同	同
同	15	北海道税条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	16	北海道企業立地促進条例の一部を改正する条例案	商工労働	同	同
同	17	北海道道路占用料徴収条例の一部を改正する条例案	建設	同	同
同	18	国営土地改良事業負担金等徴収条例の一部を改正する条例案	農務農開	同	同
同	19	北海道公立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例案	文教	同	同
同	20	北海道警察組織条例の一部を改正する条例案	総務	同	同
同	21	警察官の職務に協力援助した者の災害給付に関する条例案	同	同	同
同	22	財団法人北方圏交流基金に対する出資の件	予算特別	同	同
同	23	財団法人食の祭典委員会（仮称）に対する出資の件	同	同	同
同	24	財団法人ツール・ド・北海道協会に対する出資の件	同	同	同
同	25	財団法人北海道生活文化振興基金に対する出資の件	同	同	同
同	26	財団法人北海道精神保健推進協会（仮称）に対する出資の件	同	同	同
同	27	財団法人北海道健康づくり財団に対する出資の件	同	同	同
同	28	財団法人テクノポリス函館技術振興協会に対する出資の件	同	同	同
同	29	北海道農業信用基金協会に対する出資の件	同	同	同
同	30	社団法人北海道てん菜協会に対する出資の件	同	同	同

提出月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
6. 30	31	株式会社北海道グリーンバイオ研究所に対する出資の件	予算特別	7. 25	原案可決
同	32	財団法人建設業情報管理センターに対する出資の件	同	同	同
同	33	日本下水道事業団に対する出資の件	同	同	同
同	34	空港整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	建設	同	同
同	35	損害賠償請求事件における和解の件	文教	同	同
同	36	北海道道の路線の認定に関する件	建設	同	同
同	37	工事請負契約の締結（十勝川流域下水道浄化センター第2沈砂池・水処理施設工事）に関する件	同	同	同
同	38	工事請負契約の締結（広域営農団地農道整備事業十勝中央地区橋梁製作工事（第4工区））に関する件	農務農開	同	同
同	39	財産の取得（道立野幌総合運動公園事業用地）に関する件	建設	同	同
7. 20	40	昭和62年度北海道一般会計補正予算（第2号）	予算特別	同	同
7. 25	41	北海道公安委員会委員及び方面公安委員会委員の選任につき同意を求める件		同	同意議決
同	42	北海道監査委員の選任につき同意を求める件		同	同
同	43	北海道人事委員会委員の選任につき同意を求める件		同	同
同	44	国土利用北海道計画の変更に関する件	総合開発調査特別	同	継続審査

報 告

提出月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
6. 30	1	昭和61年度北海道緑越明許費繰越計算書報告の件			報告のみ
同	2	北海道住宅供給公社の経営状況に関する件			同
同	3	北海道土地開発公社の経営状況に関する件			同
同	4	財団法人北海道農業開発公社の経営状況に関する件			同
同	5	社団法人北海道私立専修学校各種学校基金協会の経営状況に関する件			同
同	6	社団法人北海道中小企業振興基金協会の経営状況に関する件			同
同	7	財団法人北海道体育文化協会の経営状況に関する件			同
同	8	財団法人北海道公害防止基金協会の経営状況に関する件			同
同	9	財団法人北海道水産加工振興基金協会の経営状況に関する件			同
同	10	社団法人北海道産炭地域振興基金協会の経営状況に関する件			同
同	11	財団法人北海道私立高等学校奨学会の経営状況に関する件			同
同	12	財団法人北海道教育施設整備公社の経営状況に関する件			同
同	13	社団法人北海道軽種馬振興公社の経営状況に関する件			同
同	14	財団法人北海道ボランティア振興協会の経営状況に関する件			同
同	15	財団法人北方圏交流基金の経営状況に関する件			同
同	16	財団法人北海道中小企業振興公社の経営状況に関する件			同

提出月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
6. 30	17	財団法人北海道埋蔵文化財センターの経営状況に関する件			報告のみ
同	18	財団法人北海道勤労者福祉協会の経営状況に関する件			同
同	19	財団法人北海道開拓の村の経営状況に関する件			同
同	20	北炭真谷地炭鉱株式会社の経営状況に関する件			同
同	21	北炭幌内炭鉱株式会社の経営状況に関する件			同
同	22	財団法人北海道高齢者問題研究協会の経営状況に関する件			同
同	23	財団法人北海道森林整備公社の経営状況に関する件			同
同	24	財団法人北海道生活文化振興基金の経営状況に関する件			同
同	25	専決処分報告の件（工事請負契約の変更に係るもの）			同
同	26	専決処分報告の件（損害賠償の額の決定 6月17日2件専決処分）			同
7. 14	27	昭和61年度北海道病院事業会計決算に関する件	企業会計 決算特別	7. 25	継続審査
同	28	昭和61年度北海道有林野事業会計決算に関する件	同	同	同
同	29	昭和61年度北海道北広島団地開発事業会計決算に関する件	同	同	同
同	30	昭和61年度北海道電気事業会計決算に関する件	同	同	同
同	31	昭和61年度北海道工業水道事業会計決算に関する件	同	同	同
同	32	昭和61年度北海道工業用地開発事業会計決算に関する件	同	同	同

第2回定例会において議員から提出のあった案件

意見案

提出月日	番号	件名	提出者	議決月日	議事結果	備考
6. 30	1	北海道の稲作に関する要望意見書	青山 章議員ほか13人	6. 30	原案可決	農務農開
7. 25	2	北方領土問題等の解決促進に関する要望意見書	佐々木行雄議員ほか12人	7. 25	同	北方領土 対策特別
同	3	石炭鉱業の安定及び産炭地域の振興に関する要望意見書	松崎義雄議員ほか14人	同	同	石炭対策 特別
同	4	上砂川町振興対策に関する要望意見書	同	同	同	同
同	5	夕張市、芦別市、赤平市振興対策に関する要望意見書	同	同	同	同

意見案

意見案第1号

(昭和62年2定
青山章議員ほか13人提出〈農務農開〉
昭和62年6月30日 原案可決)

北海道の稲作に関する要望意見書

本道農業の基幹部門である稲作は、大幅な転作など厳しい事態に耐えつつ、安くておいしい米づくりに懸命の努力を傾けているところである。

我が国の農業を取りまく内外の諸情勢が一段と厳しさを増す中で、生産性の高い水田農業の確立が強く求められており、規模が大きく専門的農家を主体とする北海道稲作の果たすべき役割はますます重要になるものと考えらる。

国においては、このような北海道稲作の重要性等に充分配慮され、その安定的な発展を図る観点から、左記事項を実現するよう強く要望する。

記

1. 農産物の市場開放問題について
米の市場開放や、雑豆、でん粉、牛肉、乳製品等の輸入自由化は、北海道農業に重大な影響を及ぼすことになるので、現行輸入規制措置を堅持すること。
2. 食糧管理制度の根幹堅持について
主食である米を国内自給によって国民に安定的に供給するため、食糧管理制度の根幹を堅持すること。
3. 稲作主産地としての位置づけの確保について
規模の大きい専門的な農家を主体とする本道を、稲作の主産地として位置づけること。
4. 62年産米の政府買入価格について
水田農業の確立が期されるよう適切な米価を設定すること。
5. 経営の体質強化対策の拡充強化について
生産性の高い水田農業を確立するため、経営の体質強化対策を拡充強化すること。
 - (1) 米の試験研究の拡充強化
 - (2) 農地の流動化促進施策の充実
 - (3) 農地等取得資金、自作農維持（経営再建整備）資金の融資枠の確保と貸付限度額の引き上げ
 - (4) 大規模乾燥調製施設やばら流通施設整備の促進
 - (5) 農業機械、肥料など農業生産資材価格の低減
6. 農業基盤整備事業の負担軽減について
農業基盤整備事業に係る既往借入金や負担金の条件緩和措置を講ずること。
7. 特別自主流通米の拡大方策について
特別自主流通米の積極的な拡大が図られるよう、その円滑な流通に配慮すること。
右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 藤井 猛

内閣総理大臣、農林水産大臣 各通

意見案第2号

(昭和62年2定
佐々木行雄議員ほか12人提出〈北方領土〉
昭和62年7月25日 原案可決)

北方領土問題等の解決促進に関する要望意見書

わが国固有の領土である歯舞、色丹及び国後、択捉等の北方領土は、戦後四十年余を経た今日、なおその返還が実現していない。

さらに近年、北方領土において、ソ連の軍備増強が続けられていることは、日ソ両国の平和友好関係の促進のために誠に遺憾なことである。

北方領土の早期返還の実現は、道民はもとより国民の総意であり、長年の悲願である。

よって政府は、次の事項につき適切な措置を講ずるよう強く要望する。

記

1. 国民世論の統一と高揚を図るため、全国的な啓発運動を推進すること。
1. 「北方領土問題等の解決の促進のための特別措置に関する法律」に基づく北方領土隣接地域振興等基金の早期造成及び振興対策事業の充実強化を図ること。
1. 北方地域旧漁業権者等及び北方領土元居住者等に対する救済援護措置を早急に講ずること。
1. 北方地域墓参箇所拡大を図ること。
1. 北方領土におけるソ連の軍事的措置を撤回するようソ連政府に要求すること。
1. 北方領土の早期返還を実現して平和条約を締結し、日ソ両国間の真に安定的な平和友好を確立すること。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 藤井 猛

内閣総理大臣、外務大臣、総務庁長官 各通

意見案第3号

(昭和62年2定
松崎義雄議員ほか14人提出〈石炭対策〉
昭和62年7月25日 原案可決)

石炭鉱業の安定及び産炭地域の振興に関する要望意見書

北海道の石炭鉱業は、国内炭の縮小を基本とした第八次石炭政策の下で、三井砂川炭鉱の閉山をはじめ、三菱南大夕張炭鉱、三井芦別炭鉱、住友赤平炭鉱において大規模な縮小合理化が相次ぐなど、まことに厳しい現状にある。

一方、石炭鉱業に大きく依存してきた産炭地域では、炭鉱の閉山、縮小合理化に伴う社会・経済への影響は計り知れないものがあり、地域の振興を図ることが緊急の課題となっている。

したがって、国におかれては、これら石炭鉱業及び産炭地域をめぐる諸情勢を踏まえ、昭和63年度予算編成に当たり、次の事項について特段の措置が講ぜられるよう強く要望する。

記

1. 石炭鉱業安定対策
石炭鉱業の安定を図り、現存炭鉱を可能な限り存続させるため、次の措置を講ぜられたい。

- (1) 「石炭並びに石油及び石油代替エネルギー対策特別会計」の石炭関係財源の確保と、石炭鉱業安定対策への重点配分を図ること。
 - (2) 石炭鉱業合理化実施計画を定めるに当たり、国内炭優先使用の原則に立って、需要の確保を図ること。
 - (3) 石炭鉱業安定補給交付金及び鉱山保安確保事業費補助金など、各種助成制度の充実強化を図ること。
 - (4) 鉱山保安センターの充実及び教育内容の強化を図ること。
2. 産炭地域振興対策
- 産炭地域の振興を図るため、次の措置を講ぜられたい。
- (1) 産炭地域振興臨時交付金の拡充や地方交付税による特別の配慮など、地方公共団体への財政援助の強化を図ること。
 - (2) 産炭地域市町村が計画しているプロジェクトの実現を図るため、財政援助や関連基盤の整備などの支援を行うこと。
 - (3) 地域振興整備公団による工業団地の造成、融資条件の緩和など、その機能の拡充強化を図ること。
3. 雇用対策
- 産炭地域の雇用対策を促進するため、次の措置を講ぜられたい。
- (1) 産炭地域の職業能力開発体制の拡充を図るため、空知産炭地域に情報処理関連技能者等養成施設を設置すること。
 - (2) 炭鉱離職者等の再就職先における住宅の確保を図ること。
- 右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 藤井 猛

内閣総理大臣、大蔵大臣、通商産業大臣、
労働大臣、自治大臣、北海道開発庁長官} 各通

意見案第4号

(昭和62年2定
松崎義雄議員ほか14人提出<石炭対策>
昭和62年7月25日 原案可決)

上砂川町振興対策に関する要望意見書

第八次石炭政策のもとで、北海道の主要炭鉱は極めて厳しい状況におかれており、特に三井砂川炭鉱については、去る7月14日をもって閉山したところである。

上砂川町は、炭鉱に対する依存度が極めて高く、閉山によって多数の離職者が発生したほか、関連下請企業、商工業者も深刻な打撃をうけるなど、地域の社会・経済は、まさに崩壊の危機に直面している。

したがって、国におかれては、上砂川町の社会・経済の安定を図るため、次の事項について特段の措置を講ぜられるよう強く要望する。

記

1. 離職者対策

- (1) 炭鉱及び関連下請企業離職者の円滑な再就職を促進するため、石炭企業、親会社及び関連グループ企業に対し、雇用確保について、強く指導するとともに、国においても、適切な措置を講ずること。

(2) 炭鉱離職者等の再就職を促進するため、職業能力開発体制の拡充を図るとともに、再就職先における住宅の確保を図ること。

2. 下請、商工業者対策

下請及び商工業者の経営安定などを図るため、産炭地域振興臨時交付金に基づく融資制度の貸付条件の緩和などを図るとともに、政府系中小企業金融機関の産炭地向け融資条件の緩和、既往貸付金の償還猶予措置等を講ずること。

3. 民生・教育対策

(1) 水道、病院、公衆浴場など、民生施設の石炭企業からの移管に伴う財政負担に対し、特別の財源措置を講ずること。

(2) 独居老人、寝たきり老人等の高齢者対策として、老人保健施設の設置について配慮すること。

(3) 炭鉱離職者等の子弟の就学確保のため日本育英会奨学生の採用条件の緩和と採用枠の拡大について配慮すること。

(4) 高校生の他府県への転校が円滑に行われるよう適切な措置を講ずること。

4. 地域振興対策

(1) 地域の活性化を図るため、計画している各種プロジェクトに対する財政援助について特別の配慮をすること。

(2) 地域振興整備公団による工業団地の造成、融資条件の緩和など、その機能の拡充強化を図ること。

(3) 雇用機会の拡大と地域の振興を図るため、公共事業の優先配分を図ること。

5. 地方財政対策

閉山に伴う税収の大幅な減少や、閉山対策のための財政需要の増大に対処するため、地方交付税による財源措置を講ずるとともに起債枠の確保などの措置を講ずること。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 藤井 猛

内閣総理大臣、大蔵大臣、文部大臣、厚生大臣
通商産業大臣、労働大臣、自治大臣、北海道開発庁長官 } 各通

意見案第5号

(昭和62年2定
松崎義雄議員ほか14人提出<石炭対策>
昭和62年7月25日 原案可決)

夕張市、芦別市、赤平市振興対策に関する要望意見書

第八次石炭政策の実施に伴い、北海道の石炭鉱業は、三菱南大夕張炭鉱、三井芦別炭鉱、住友赤平炭鉱において大規模な縮小合理化が相次いでおり、まことに厳しい現状にある。

このため、石炭鉱業に対する依存度の高い夕張市、芦別市、赤平市においては、多くの離職者が発生したほか、関連下請企業や商工業者はもとより、地域の社会・経済全体が極めて大きな影響を受けている。

したがって、国におかれては、石炭鉱業を可能な限り存続しつつ、これら地域の振興を図るため、次の事項について特段の措置を講ぜられるよう強く要望する。

記

1. 石炭鉱業安定対策

(1) 石炭鉱業合理化実施計画を定めるに当たり、国内炭優先使用の原則に立って、需要の

確保を図ること。

(2) 新共同石炭(株)による貯炭の買上げに当たり、実情に即した数量の確保を図ること。

(3) 石炭鉱業安定補給交付金及び鉱山保安確保補助金など、各種助成制度の充実を図ること。

2. 離職者対策

(1) 炭鉱及び関連下請企業離職者の円滑な再就職を促進するため、石炭企業、親会社及び関連グループ企業に対し、雇用確保について、強く指導するとともに、国においても、適切な措置を講ずること。

(2) 炭鉱離職者等の再就職を促進するため、職業能力開発体制の拡充を図るとともに、再就職先における住宅の確保を図ること。

3. 下請、商工業者対策

下請及び商工業者の経営安定などを図るため、産炭地域振興臨時交付金に基づく融資制度及び政府系中小企業金融機関の産炭地向け融資制度の適用を図るとともに、既往貸付金の償還猶予措置を講ずること。

4. 民生・教育対策

(1) 水道、病院、公衆浴場など、民生施設の石炭企業からの移管に伴う財政負担に対し、特別の財源措置を講ずること。

(2) 炭鉱離職者等の子弟の就学確保のため、日本育英会奨学生の採用条件の緩和と採用枠の拡大について配慮すること。

(3) 高校生の他府県への転校が円滑に行われるよう適切な措置を講ずること。

5. 地域振興対策

(1) 地域の活性化を図るため、計画している各種プロジェクトに対する財政援助について特別の配慮をすること。

(2) 地域振興整備公団による工業団地の造成、融資条件の緩和など、その機能の拡充強化を図ること。

(3) 雇用機会の拡大と地域の振興を図るため、公共事業の優先配分を図ること。

6. 地方財政対策

炭鉱の縮小合理化に伴う税収の大幅な減少や、特別な財政需要の増大に対処するため、地方交付税による財源措置を講ずるとともに、起債枠の確保などの措置を講ずること。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 藤井 猛

内閣総理大臣、大蔵大臣、文部大臣、厚生大臣
通商産業大臣、労働大臣、自治大臣、北海道開発庁長官 } 各通

請 願 ・ 陳 情

① 第2回定例会において各常任・特別委員会に付託されたもの。

請 願

文書表 番 号	件 名	請 願 者	付 託 委員会	審査の 結 果
1	国民の主食・米の輸入反対、食糧制度の改善・充実、安全な国民食料の確保、主要農畜産物の価格保障、日本農業の自主的発展を求める件	食糧と農業を守る北海道農業団体関係労働組合共同行動実行委員会 実行委員長 齊藤 清道	農務農開	継続審査
2	銭函地区の道立普通科高校新設に関する件	「銭函地区に公立普通科高校をつくる会」 代表 福尾 節子	文 教	同
3	北海道農業振興対策に関する件	中富良野町稲作農業を守る会 事務局長 林 幹人 他7人	農務農開	同
4	46人すしづめ学級・マンモス高校の強制に反対し、公立高校の新增設、40人以下学級の実現など教育条件整備、小学区制の回復と都市部における総合選抜制の実現、私学への大幅な公費助成を求める件	北海道高等学校教職員組合 中央執行委員長 齊藤敏夫	文 教	同
5	HIV感染症（後天性免疫不全症候群いわゆるエイズ）対策に関する件	北海道ヘモフィリア（血友病）友の会 会長 伊藤節子 外1人	厚 生	採 択

陳 情

文書表 番 号	件 名	陳 情 者	付 託 委員会	審査の 結 果
1	アイヌ民族に関する法律制定に関する件	社団法人 北海道ウタリ協会 理事長 野村義一	厚 生	継続審査
2	公立高校の新設と総合選抜制度の早期実施並びに私立高校生への公費補助を求める件	苫小牧公立高校新設をすすめる会 平井 湊	文 教	同
3	八軒西地区に文化・福祉・学童保育施設の充実を求める件	八軒西共同学童保育所父母会 伊藤 和男	厚 生	同

委員会の動き

各会派世話人協議会

○5月6日（水） 午後1時48分、議会運営委員会室において開議、午後2時46分閉会

座長 西尾 六七（自民）

- ① 年長議員の西尾六七議員（自民）を慣例により座長とすることに決定。
- ② 事務局長から、本日現在の各派の結成状況（自由民主党49人、日本社会党・道民連合44人、公明党7人、民政クラブ4人、新政クラブ1人、無所属1人）について報告。
- ③ 小野秀夫議員（民政）から、新政クラブの葛議員が民政クラブに入会するべく協議中である旨を発言。
- ④ 第1回臨時会の招集期日を5月13日とすることを了承。なお、告示案件に「議長及び副議長選挙の件」を加えるよう依頼することを決定。
- ⑤ 総務部長から、第1回臨時会提出予定案件について説明。
- ⑥ 第1回臨時会の告示案件及び追加提出予定案件について説明。
- ⑦ 議員選出の監査委員並びに苫小牧港管理組合、石狩東部広域水道企業団及び石狩湾新港管理組合の各議会議員の選出方法等については、各会派代表者会議において協議することを了承。
- ⑧ 議席の割当てについて、事務局長から、配付の案について説明の後、事務局案のとおり決定。個人別議席については、各会派代表者会議において決定することを了承。
- ⑨ 議員控室の割当てについて、事務局長から事務局案等について説明の後、各議員の協議の結果、各派代表者会議において決定することを了承。
- ⑩ 臨時会会期中における議員控室の使用について説明の後、了承。

- ⑪ 議会運営委員会が設置されるまで議会運営機関として、配付の設置要綱に基づき、各会派代表者会議を設置することに決定。構成は、自民7人、社会6人、公明1人、民政1人及び共産1人、計16人とすることを了承。
- ⑫ 各会派代表者会議を臨時会招集予定日前日の5月12日に開催することを決定。
- ⑬ 各会派代表者の名簿について、協議会終了後出来るだけ早く提出されたい旨発言の後、了承。
- ⑭ 宇野眞平議員（自民）から、代表者会議の座長について最大会派の年長議員とするよう要綱を改正されたい旨の意見があり、協議の結果、設置要綱決定後でもあり、将来検討することとし、座長は先程決定のとおり年長議員とすることを決定。
- ⑮ 事務局長から、各派別の議員出退表示について説明。
- ⑯ 記念写真の撮影について、5月13日の臨時会招集日、本会議終了後実施すること及び災害地等視察用の被服の採寸を臨時会中に実施することを了承。

各会派代表者会議

○5月12日（火） 午後1時55分、議会運営委員会室において開議、午後2時12分散会

座長 鈴木 誠二（社会）

開議に先立ち、事務局長から、5月6日開催の各派世話人協議会において決定された各会派代表者会議設置要綱に基づき、各会派から配付のとおり代表者名簿の提出があった旨を報告。

- ① 座長の選出について、要綱に基づき年長議員である鈴木誠二議員（社会）を座長とすることに決定。
- ② 会派解散届及び会派異動届の提出について、5月8日付けをもって新政クラブ、葛健二議員から会派解散届の提出があり、また、同日付けをもって民政クラブ議員会代表者から同議員が入会し、所属議員数が5人となった旨会派異動届の提出があったことを報告。この異動により、各派の所属議員数は、自

民党49人、社会・道民連合44人、公明党7人、民政クラブ5人、共産党4人、無所属1人となったことを報告。

- ③ 諸派のオブザーバー出席については、無所属の西村議員から代表者会議には欠席する旨の申し出があったことを報告。
- ④ 代表者会議の理事会について、座長のほか、自民2人、社会2人、公明1人、民政1人、共産1人とすること、理事には、高橋康之議員（自民）、今津寛議員（自民）、樫林巖（社会）、関根建二議員（社会）、工藤啓二議員（公明）、小野秀夫議員（民政）、大橋晃議員（共産）を座長から指名。臨時議長には必要により理事会に出席願うことを了承。
- ⑤ 議席について、議員の所属会派異動に伴い、議席の各派別割当を配付資料のとおり変更すること及び個人別議席を配付資料のとおり決定することとし、明日の本会議において議席の指定を行うことを了承。
- ⑥ 議員控室について、各派の代表者で協議の結果、配付資料のとおり決定されたことを報告の後、了承。
- ⑦ 総務部長から、第1回臨時会提出予定案件について説明。
- ⑧ 事務局長から、第1回臨時会の予定議事について説明の後、正副議長の選挙及び議会運営委員会、常任委員会、特別委員会の各構成並びに各種法令委員等の選任については、理事会において協議することを決定。
- ⑨ 知事提出議案の取り扱いについて、従来の例により、明日、知事から送付後、配付することとし、本会議における提案説明は議会構成案件終了後とすることを決定。
- ⑩ 会期について、5月13日から19日までの7日間とすることに決定。
- ⑪ 事務局長から、招集日当日の本会議の議事運営について説明の後、明日の代表者会議で決定することを了承。
- ⑫ 記念写真の撮影について、明日本会議終了後実施することを了承。

○5月13日（水） 午前10時6分、議会運営委員会室において開議、午後4時

23分散会

座長 鈴木 誠二（社会）

- ① 正副議長の選挙について、取り進め方を理事会において協議中である旨報告。
- ② 本日の本会議は、日程第3の会期決定の件まで行い、一旦休憩することを決定。
- ③ 総務部長から、本日の本会議について知事があいさつを行いたい旨発言があり、了承。
- ④ 座長から、三沢道男議員（社会）から足の負傷のため議場において松葉づえを使用したい旨申し出があり許可することを報告の後、了承。
- ⑤ 記念写真の撮影について、日程の都合上、本日の本会議が休憩に入り次第直ちに行うことを発言の後、了承。
- ⑥ 本日の本会議の議事順序について、局長説明のとおり取り進めることに決定。午前10時8分休憩、午後4時22分再開。
- ⑦ 正副議長の選挙について、引き続き理事会で協議中であり、本日の本会議は日程を延期し延会することを決定。

○5月14日（木） 午後1時45分、議会運営委員会室において開議、午後1時52分散会

座長 鈴木 誠二（社会）

- ① 正副議長の選挙について、理事会において議長は自民から、副議長は社会から選出する旨各会派において了承されている旨報告の後、高橋康之議員（自民）から、自民として藤井猛議員を議長候補に決定した旨、関根建二議員（社会）から、社会として熊谷克治議員を副議長候補に決定した旨それぞれ発言。
- ② 正副議長の選挙について、本日行うことを決定。選挙の方法は投票により行うこととし、単記無記名とすること、氏名の記載に当たっては正確に記入すること、立会人は各会派から1名、計5名を選出することとし、座長から指名することに決定。立会人には理事の中から今津寛議員（自民）、樫林巖議員（社会）、工藤啓二議員（公明）、小野秀夫議員（民政）、大橋晃議員（共産）を指名。白票については、従来のとおり投票総数に算入するが、有効投票には算入しない旨を決定。

- ③ 本日の本会議の議事順序について、局長説明のとおり取り進めることに決定。
- ④ 明日も本会議を開会することとし、5月16日(土)は休会、18日(月)は午後1時開会とすることを決定。

○5月15日(金) 午前10時50分、議会運営委員会室において開議、午前10時51分散会
座長 鈴木 誠二(社会)

- ① 議長の選出に伴う議席の一部変更について、配付の議席表のとおり変更することを決定。
- ② 座長から、各委員会の構成等について理事会で協議中である旨を報告。
- ③ 本日の本会議は議席の一部変更の件を議決し、明16日の休会を決定した後、散会することを決定。

○5月18日(月) 午後6時45分、議会運営委員会室において開議、午後6時48分散会
座長 鈴木 誠二(社会)

- ① 代表者の変更について、5月18日付けをもって自民党議員会長から、佐々木利昭議員、新沼浩議員、高橋康之議員、橋浪藏議員の名を古川靖晃議員、木本由孝議員、土屋良三議員、岩本允議員に、また、社会・道民連合から、岩崎守男議員、吉田英治議員、榎林巖議員、高橋庸議員の名を青木延男議員、小田原要四蔵議員、萩上元春議員、大平盛雄議員にそれぞれ変更したい旨の申し出があったことを報告の後、了承。この変更に伴い自民の理事は木本由孝議員、土屋良三議員に、社会の理事は萩上元春議員にそれぞれ変更指名することを了承。
- ② 常任委員会の委員及び正副委員長の各派配分について、理事会決定の配付資料のとおりとすることを決定。
- ③ 議会運営委員会について、理事会決定のとおり(1)議運規程の構成数13人を16人に改正すること(2)規程の改正方法は配付の決議案により行うこととし、発議者は各会派代表者16人とすること及び本日の本会議において議決す

ること(3)委員会16人の割当ては、自民7人、社会6人、公明、民政及び共産は各1人とすること(4)正副委員長の配分は従来例により委員長は自民、副委員長は社会とすること、について決定。

- ④ 特別委員会の設置等について、理事会で協議中である旨を発言の後、了承。
- ⑤ 本日の本会議について、議会運営委員会規程を改正する決議案を議決し、散会することを決定。

○5月19日(火) 午前11時11分、議会運営委員会室において開議、午後10時22分散会
座長 鈴木 誠二(社会)

- ① 各常任委員について、配付名簿のとおり本日の本会議で指名選任することを決定。
- ② 本日の本会議について、常任委員の選任を行った後、一旦休憩し、各常任委員会において正副委員長の互選を行うことを決定。
- ③ 特別委員会の設置等について、引継ぎ理事会において協議中であることを報告。午前11時12分休憩、午後1時14分再開。
- ④ 総務部長から追加提出案件について説明。
- ⑤ 追加提出案件については、本日の再開後の本会議において追加日程として議決する扱いとすることを決定。午後1時15分休憩、午後10時10分再開。
- ⑥ 座長から、各会派会長会議において会期を1日間延長することで意見が一致し、代表者会議において協議願いたい旨議長から話しがあったことを報告。協議の結果、会期を5月20日まで1日間延長することに決定。
- ⑦ 本会議について、準備出来次第再開し、5月20日まで1日間の会期延長を追加日程として議決し、散会することを決定。
- ⑧ 現在休憩中の各常任委員会について、本会議終了後、直ちに委員会を再開する旨を発言。

○5月20日(水) 午後8時47分、議会運営委員会室において開議、午後8時51分閉会
座長 鈴木 誠二(社会)

- ① 特別委員会の設置等について、座長から各派会長会議について次のとおり了承された旨議長から話しがあったことを報告。(1)特別委員会の設置について、改選前と同様の特別委員会を設置する(2)正副委員長の配分について、今回は従来の例により、委員長は自民、副委員長は社会に配分する。後期における配分の変更については、比例配分の方法など、今臨時会の各会派の意見を尊重し、然るべき機関において検討の上、結論を得ることとする。

理事会において、次のとおり決定した旨報告の後、了承。(1)改選前と同様の5特別委員会を設置する(2)設置の方法は、配付決議案により行うこととし、発議は代表者16人とする(3)各特別委員会の各派別委員の割当は配付割当表のとおりとする(4)正副委員長の配分について、委員長は自民、副委員長は社会とする(5)自民党提出の新たな特別委員会設置についての意見については、今後、議会運営委員会で検討願うよう申し送ること。

- ② 特別委員の選任について、各会派から提出のあった配付名簿のとおり、本会議において指名選任することを了承。
- ③ 議会運営委員の選任について、各会派から提出あった配付名簿のとおり、議長が指名することを了承。
- ④ 知事提出議案の取扱いについて、本日の本会議において知事の提案説明を行うこととし、説明後直ちに各関係委員会に付託することに決定。
- ⑤ 総務部長から、山中副知事が企業誘致に関する会議に出席のため、本日の本会議を欠席したい旨発言の後、了承。
- ⑥ 本日の本会議の議事順序について、局長説明のとおり取り進めることに決定。

議会運営委員会

○5月20日(水) 午後10時41分、議会運営委員会室において開議、午後10時51分散会

委員長 土屋 良三(自民)

正副委員長の互選

- ① 大野新生臨時委員長(自民)から、委員長互選の方法については、大平盛雄委員(社会)の動議により指名推選の方法をもって、土屋良三委員(自民)を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法については、湯佐利夫委員(自民)の動議により指名推選の方法をもって、萩上元春委員(社会)を副委員長に選出。
- ③ 本委員会の運営については、自民及び社会各2人、公明、民政及び共産各1人、計7人の理事を選び、その協議により運営することを決定。理事には、湯佐利夫委員(自民)、綿貫健輔委員(自民)、大平盛雄委員(社会)、谷川英雅委員(社会)、工藤啓二委員(公明)、風早俊男委員(民政)及び大橋晃委員(共産)をそれぞれ選出。
- ④ 各会派代表者会議からの申し送り事項について、今臨時会において設置された各会派代表者会議において、新たな特別委員会設置についての意見があり、これを検討するよう今期の議運に申し送りされたことを報告。本件の取扱いについては、改めて理事会で協議することに決定。
- ⑤ 委員長から、各委員会付託議案の審議状況について、すべて議了した旨報告。
- ⑥ 法令に基づく各種議員の選挙について、本日の会長会議において協議決定された旨報告。苫小牧港管理組合議会議員5人、石狩東部広域水道企業団議会議員3人及び石狩湾新港管理組合議会議員10人の選挙については、本日の本会議で行うこと、選挙の方法は指名推選により議長から指名することを決定。各会派の配分は、各会派会長会議において決定され、各会派会長から配付名簿のとおり推せんあったことを報告。

- ⑦ 総務部長から、追加提出議案について説明の後、追加提出議案については、本日の本会議において議決する扱いとすることに決定。
- ⑧ 本日の本会議の議事は、局長説明のとおりとすることに決定。

○6月22日(月) 午後2時14分、議会運営委員会室において開議、午後2時22分散会
委員長 土屋 良三(自民)

- ① 議席についてはかり、異議なく現在着席のとおりとすることに決定。
- ② 今期における議会運営について、理事会において前期における議会運営に関する決定事項について、配付資料の検討結果のとおり一部改正、確認、決定を行い、その他の事項については、今期においてもこれを踏襲することに決定された旨を報告の後、理事会決定のとおり取り進めることをはかり、異議なく決定。
- ③ 大橋晃議員(共産)から、請願・陳情の取扱いについて、22期における採択、審議未了の状況、道民の批判、会期中または閉会中の審議など今後の審議の方策の検討の必要性などについて発言。委員長から、本件を今後の検討課題とする旨を発言の後、了承。
- ④ 第2回定例会の招集期日を6月30日とすることを了承。会期は25日間とすることに決定。
- ⑤ 総務部長から、第2回定例会提出予定案件について説明。
- ⑥ 第2回定例会の日程について、次のとおり取り進めることに決定。

▽ 第2回定例会日程

6月30日	本会議(道政執行方針及び提案説明、教育行政執行方針)
7月1日	
～7月6日	休会
7月7日・8日	本会議(代表質問)
9日・10日	本会議(一般質問)
11日・12日	休会
13日・14日	本会議(一般質問)
15日	本会議(一般質問、予算、

企業会計決算特別委員会設置)

16日～23日 休会

24日 本会議

- ⑦ 代表質問について、順位は自民、社会、公明、民政、共産とし、各会派の発言時間の使用状況について説明。今回新たに会派結成した民政クラブと共産党についての今定例会以降の発言時間を決定。通告は、7月4日正午までとすることに決定。
- ⑧ 一般質問について、順位は従前のとおり取り進めることとし、10番目については、自民と民政の両会派間で調整し、後日報告することを了承。次に、発言時間について申し合せのとおり取進めることを決定。通告は、7月7日正午までとすることを決定。

○6月29日(月) 午後1時19分、議会運営委員会室において開議、午後1時26分散会

委員長 土屋 良三(自民)

- ① 総務部長から、第2回定例会提出予定案件について説明。
- ② 予算及び企業会計決算特別委員会について、(1)委員会構成及び正副委員長の配分については、配付資料のとおりとすること(2)委員名簿は、7月13日正午まで提出すること(3)委員会設置動議の提出は、公明が行うことを了承。
- ③ 農務農地開発委員会において、北海道の稲作問題に関し、要望意見書の発議が予定されており、提出された場合、明日の本会議において議決する扱いとすることを決定。
- ④ 議案調査のため、7月1日から6日まで休会し、7日再開することを決定。
- ⑤ 6月30日の議事順序について、明日の委員会で協議することを決定。
- ⑥ HBCから、明日の本会議における知事の執行方針演説の録画撮影及び録音のため、演壇上にマイクを設置したい旨申し出があり、議長が許可することとした旨を発言の後、了承。

○6月30日(火) 午前9時37分、議会運営委員

会室において開議、午前9時
40分散会

委員長 土屋 良三（自民）

- ① 農務農地開発委員会から、意見案第1号の提出があり、本日の本会議で議決する扱いとすることを了承。
- ② 本日の本会議の議事順序について、事務局長説明のとおり取り進めることに決定。

○7月7日（火） 午前10時2分、議会運営委員会
会室において開議、午後4時
45分散会

委員長 土屋 良三（自民）

- ① 代表質問の通告（5人）について報告。
- ② 代表質問について、本日2人、明日3人行うことを決定。
- ③ 本日の本会議の議事順序について、局長説明のとおり取り進めることに決定。午前10時3分休憩、午後4時44分再開。
- ④ 本日の本会議の進め方について、古川靖晃議員（自民）の代表質問継続中であるが、議事の都合によりこの程度にとどめ延会することを決定。

○7月8日（水） 午前10時、議会運営委員会
会室において開議、午前10時4分
散会

委員長 土屋 良三（自民）

- ① 本日の本会議について、代表質問5人（うち1人継続）となるが、本日何人行うかは進行状況により協議することを了承。
- ② 一般質問の通告（24人）について報告。
- ③ 一般質問について、順位は6月22日の委員会決定のとおり従来の例により取進めることとし、10番目は民政となったことを了承。各派内における順位等に変更がないことを確認。個人別順序について、議事課長説明のとおりとすることに決定。進め方については、改めて協議することを了承。
- ④ 本日の本会議の議事順序について、事務局長説明のとおり取り進めることに決定。

○7月9日（木） 午前9時41分、議会運営委員
会室において開議、午後4時

2分散会

委員長 土屋 良三（自民）

- ① 一般質問の通告内容等の変更について了承。
- ② 一般質問の進め方について、本日、代表質問終了後、2人、10日6人、11日（土）は休会することとし、13日4人、14日6人、15日6人の予定で取り進めることを決定。
- ③ 本日の本会議について、代表質問2人を行い、引続き一般質問に入り2人行うことを了承。
- ④ 本日の本会議の議事順序について、事務局長説明のとおり取り進めるを了承。午前9時44分休憩、午後4時1分再開。
- ⑤ 本日の本会議の進め方について、本日はこの程度にとどめ延会することを決定。

○7月10日（金） 午前9時41分、議会運営委員
会室において開議、午後4時
6分散会

委員長 土屋 良三（自民）

- ① 一般質問の通告内容等の変更について了承。
- ② 本日の本会議について、一般質問8人となるが本日何人行うかは進行状況により協議することを了承。
- ③ 議案調査のため、7月11日は休会とし、7月13日再開することとし、7月13日の本会議は午後1時開会することを決定。
- ④ 総務部長から、山中副知事が通商産業省主催の「産炭地域振興関係各省庁等連絡会」に出席し、関係省庁に要請活動を行うため、13日の本会議を欠席したい旨発言の後、了承。
- ⑤ 本日の本会議の議事順序について、事務局長説明のとおり取り進めることに決定。午前9時46分休憩、午後4時5分再開。
- ⑥ 休憩前の本会議における湯佐利夫議員（自民）の議事進行発言に関し、総務部長から補足答弁の準備が出来た旨発言の後、本日の本会議は桜田正明議員（自民）の再々質問に対する知事の補足答弁から入ることに決定。
- ⑦ 本日の本会議の進め方について、一般質問2人（うち1人継続）を行い、延会することを決定。

○7月13日（月） 午後零時47分、議会運営委員会室において開議、午後零時49分散会

委員長 土屋 良三（自民）

- ① 総務部長から、7月14日の追加提出予定案件について説明の後、了承。
- ② 一般質問の通告内容等の変更について了承。
- ③ 本日の本会議について、一般質問4人行うことを決定。
- ④ 本日の本会議の議事順序について、事務局長説明のとおり取り進めることに決定。

○7月14日（火） 午前9時45分、議会運営委員会室において開議、午後3時5分散会

委員長 土屋 良三（自民）

- ① 総務部長から、追加提出案件について説明の後、本日の本会議の冒頭に知事の提案説明を行うことを決定。
- ② 一般質問の通告内容等の変更について了承。
- ③ 一般質問について、本日6人行うことを了承。
- ④ 本日の本会議の議事順序について、事務局長説明のとおり取り進めることに決定。
- ⑤ 風早俊男委員（民政）から、本会議の開会時間等について順守すよう発言の後、意見交換があり、委員長から本件について、各党派、理事者が協力して取り進める旨を発言。午前9時50分休憩、午後3時4分再開。
- ⑥ 総務部長から、永井利率議員（自民）の再質問に対する答弁準備になお時間を要する旨を発言の後、石炭対策特別委員会の開会も予定されており、本日の本会議はこの程度にとどめ、延会することを決定。

○7月15日（水） 午前9時49分、議会運営委員会室において開議、午前9時51分散会

委員長 土屋 良三（自民）

- ① 総務部長から、永井利率議員（自民）の再質問に対する答弁準備に若干時間を要する旨発言の後、本日の本会議は答弁準備が出来次

第永井議員の再質問に対する知事の答弁から入ることを決定。

- ② 一般質問の通告内容等の変更について了承。
- ③ 一般質問の今後の進め方について、一般質問は日程上本日までとなっているが、7月17日まで行うこととし、15日6人（うち1人継続）、16日6人、17日6人の予定で取り進めることを決定。
- ④ 本日の本会議について、一般質問6人（うち1人継続）行うことを決定。
- ⑤ 本日の本会議の議事順序について、事務局長説明のとおり取り進めることに決定。

○7月16日（木） 午後4時40分、議会運営委員会室において開議、午後4時43分散会

委員長 土屋 良三（自民）

- 委員長から、本日の新聞報道に関し、理事会を開催し、問題の解決を図ったが、なお時間を要する旨を報告の後、本日の本会議は日程を延期し、延会することを請った。

大橋晃委員（共産）から、延会は止むを得ない旨、早い段階で議運を開き問題点を明らかにすべき等の意見があり、委員長から、今後従来どおり午前9時30分の本委員会開会に各党派努力願いたい旨を発言。本日の本会議は、日程を延期し延会することを決定。

○7月17日（金） 午前9時40分、議会運営委員会室において開議、午前9時52分散会

委員長 土屋 良三（自民）

- ① 昨日の問題に関し、大平盛雄議員（社会）から、議事の進行に迷惑をかけたが、話し合いが終了し、審議促進に鋭意努力することで意見の一致を見た旨を発言の後、了承。
- ② 委員長から、小池昌議員（社会）から7月15日の本会議における発言を訂正したい旨申し出があり、本日の本会議において議長から報告の上、会議録を訂正する旨を発言の後、了承。
- ③ 一般質問の今後の進め方等について、一般質問を7月20日まで行うこととし、本日7

人、18日（土）は議案調査のため休会すること、20日（月）の本会議は午後1時開会とし、6人行う予定で取進めることを決定。

- ④ 本日の本会議について、一般質問7人行うことを了承。
- ⑤ 総務部長から、7月20日の追加提出予定案件について説明の後、了承。
- ⑥ 本日の本会議の議事順序について、事務局長説明のとおり取り進めることに決定。

○7月20日（月） 午後零時50分、議会運営委員会室において開議、午後3時43分散会

委員長 土屋 良三（自民）

- ① 総務部長から、追加提出案件について説明の後、本日の本会議に提出すること、知事の提案説明を行う時期については改めて協議することを了承。
- ② 一般質問の通告内容等の変更について了承。
- ③ 一般質問について、本日5人行うことを了承。
- ④ 予算及び企業会計決算特別委員会の設置等については、一般質問の進行状況により本日、改めて協議することを了承。
- ⑤ 本日の本会議の議事順序について、事務局長説明のとおり取り進めることに決定。午後零時54分休憩、午後3時40分再開。
- ⑥ 一般質問の進め方について、一般質問の日程は本日までとなっているが、明日も本会議を開会し一般質問を行うこととし、本日1人、明日2人行うことを決定。
- ⑦ 追加提出案件に関する知事の提案説明を行う時期及び予算特別委員会の設置等については明日協議することを了承。
- ⑧ 大橋晃議員（共産）から、平井進議員（自民）の一般質問の発言に関し、発言内容を議事録に照らし合わせて確認するよう措置要求があり、速記録を精査することを了承。

○7月21日（火） 午前9時48分、議会運営委員会室において開議、午前9時54分散会

委員長 土屋 良三（自民）

- ① 委員長から、平井進議員（自民）から7月20日の本会議における発言を訂正したい旨申し出があり、本日の本会議において議長から報告の上、会議録を訂正する旨を発言の後、了承。
- ② 追加提出案件の提案説明について、一般質問終了後、一旦議事を中止し、行うことを決定。
- ③ 一般質問の通告内容等の変更について確認。
- ④ 本日の一般質問について、2人行うことを了承。
- ⑤ 予算及び企業会計決算両特別委員会について、予算特別委員会の各会派別分科委員数については、各会派間の調整の結果、配付資料のとおり決定した旨報告。両特別委員会の選任について、各会派から提出された名簿のとおり選任することを了承。設置動議は、工藤啓二議員（公明）が提出することを了承。
- ⑥ 議案の各委員会付託について、事務局長説明のとおりとすることに決定。
- ⑦ 各委員会付託議案審査のため、7月22日から23日まで休会し、7月24日再開することを決定。
- ⑧ 総務部長から、我孫子副知事が国土庁と協議を要するため、7月21日の本会議を欠席した旨発言の後、了承。
- ⑨ 本日の本会議の議事順序について、事務局長説明のとおり取り進めることに決定。

○7月24日（金） 午後零時58分、議会運営委員会室において開議、午後4時35分散会

委員長 土屋 良三（自民）

- ① 予算特別委員長から予算特別委員会の審議状況について、分科会の審査を終了した旨、今後は本委員会において、追加補正予算案について審議を行う旨及び総括質疑に保留された事項について報告。午後1時休憩、午後4時34分再開。
- ② 委員長から、各委員会付託議案の審議状況について報告。
- ③ 会期を7月25日まで1日間延長することを決定。

- ④ 本日の本会議について、7月25日まで会期延長を議決した後、散会することを決定。

○7月25日（土） 午後1時31分、議会運営委員会室において開議、午後1時39分散会

委員長 土屋 良三（自民）

- ① 委員長から、各委員会付託議案の審議をすべて議了した旨報告。
- ② 委員長から、企業会計決算特別委員会において審査中の報告第27号ないし第32号は、本日の委員会において継続審査とすることに決定した旨報告。
- ③ 総務部長から、追加提出案件について説明の後、議案第41号ないし第43号は、本日の本会議において議決する扱いとすること、議案第44号（国土利用北海道計画の変更に関する件）は総合開発調査特別委員会に付託し閉会中継続審査とすることを決定。
- ④ 我孫子副知事から、「北海道総合開発計画に関する道意見案」について説明の後、本日の本会議において知事の説明の後、「北海道総合開発計画に関する道意見案（北海道新長期計画案）調査の件」として総合開発調査特別委員会に付託し、調査終了を議決するまで継続調査を行うことを決定。
- ⑤ 意見案第2号ないし第3号の提出があった旨報告の後、いずれも本日の本会議において議決する扱いとすることを了承。
- ⑥ 各関係委員長から審査結果報告のあった請願について、本日の本会議において議決する扱いとすることを了承。
- ⑦ 本日の本会議の議事順序について、事務局長説明のとおり取り進めることに決定。

常任委員会

総務委員会

○5月19日（火） 午後零時1分、第5委員会室において開議、午後10時37分散会

委員長 桜井 外治（自民）

正副委員長の互選

- ① 西尾六七臨時委員長（自民）から、委員長互選の方法については、輪島幸雄委員（社会）の動議により指名推選の方法をもって桜井外治委員（自民）を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法については、国本康夫委員（自民）の動議により大島一郎委員（社会）を副委員長に選出。
- ③ 本委員会の今後の運営等について協議のため、午後零時5分休憩、午後零時6分再開。本委員会の運営については、自民、社会、公明及び民政各1名、計4名の理事を選び、その協議によることをはかり、異議なく決定。理事には、国本康夫委員（自民）、輪島幸雄委員（社会）、高橋欽委員（公明）、風早俊男委員（民政）をそれぞれ選出。
- ④ 議事進行の都合により、午後零時8分休憩、午後10時36分再開後散会。

○5月20日（水） 午後10時17分、第5委員会室において開議、午後10時25分散会

委員長 桜井 外治（自民）

付託案件の審査

- ① 議案第1号及び議案第2号（いずれも工事請負契約の締結に関する件）を一括議題とし、総務部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ② 報告第1号（専決処分報告につき承認を求める件）を議題とし、総務部長から説明の後、異議なく原案のとおり承認議決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一 般 議 事

- ① 議席についてはかり、異議なく現在着席のとおりとすることに決定。
- ② 委員長から、所管事務調査について地方行財政対策に関する件、過疎地域振興対策に関する件、道行政の総合調整に関する件及び公安行政に関する件とし、議長の承認を求めることをはかり、異議なく決定。
- ③ 所管事務の調査について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○5月21日（木） 午前10時26分、第5委員会室において開議、午前10時47分散会
委員長 桜井 外治（自民）

一 般 議 事

- 総務部長、開発総整部次長、出納局長、監査委員事務局長、人事委員会事務局長、選挙管理委員会事務局長及び警察本部総務部長から、所管事務の概要についてそれぞれ説明。

○6月2日（火） 午後1時28分、第5委員会室箱において開議、午後1時31分散会
委員長 桜井 外治（自民）

一 般 議 事

- 委員長から、道内調査の実施については、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。

○6月29日（月） 午前10時27分、第5委員会室において開議、午前10時54分散会
委員長 桜井 外治（自民）

一 般 議 事

- ① 委員長から、附属機関等への委員の選出については、北海道納税推進運動本部に、大島一郎副委員長（社会）、国本康夫委員（自民）、輪島幸雄委員（社会）、高橋鉦委員（公明）及び風早俊男委員（民政）をそれぞれ選出することに異議なく決定。
- ② 総務部長、開発調整部長及び警察本部総務部長から、第2回定例会提出予定案件につい

てそれぞれ説明。

- ③ 総務部長から、外務公務員に関し報告。

○7月13日（月） 午後5時17分、第5委員会室において開議、午後5時20分散会
委員長 桜井 外治（自民）

一 般 議 事

- 総務部長から、第2回定例会追加提出予定案件について説明。

○7月20日（月） 午後零時33分、第5委員会室において開議、午後零時39分散会
委員長 桜井 外治（自民）

一 般 議 事

- 総務部長から、第2回定例会追加提出予定案件について説明。

○7月25日（土） 午前11時43分、第5委員会室において開議、午前11時52分散会
委員長 桜井 外治（自民）

付託案件の審査

- ① 議案第10号（北海道市町村振興基金条例の一部を改正する条例案）、議案第11号（北海道職員等の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例案）、議案第12号（北海道知事等の退職手当に関する条例案）、議案第13号（北海道議会議員その他非常勤職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例案）、議案第14号（北海道恩給条例等の一部を改正する条例案）及び議案第15号（北海道税条例の一部を改正する条例案）を一括議題とし、総務部長から説明の後、異議なくいずれも原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第20号（北海道警察組織条例の一部を改正する条例案）及び議案第21号（警察官の職務に協力援助した者の災害給付に関する条例案）を一括議題とし、警察本部警務部長から説明の後、異議なくいずれも原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一 般 議 事

- ① 総務部長から、第2回定例会追加提出予定案件について説明。
- ② 委員長から、所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○7月27日(月) 午前11時8分、第5委員会室
において開議、午前11時20分
散会
委員長 桜井 外治(自民)

一 般 議 事

- 総務部長、開発調整部長及び警察本部総務部長から、昭和63年度北海道開発関係予算の要望事項についてそれぞれ説明。

生活環境林務委員会

○5月19日(火) 午後零時2分、第3委員会室
において開議、午後10時40分
散会
委員長 浅野 俊一(公明)

正副委員長の互選

- ① 本間喜代人臨時委員長(共産)から、委員長互選の方法についてははかり、奥野文蔵委員(自民)の動議により指名推選の方法をもって浅野俊一委員(公明)を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法についてははかり、大平盛雄委員(社会)の動議により指名推選の方法をもって勝木省三委員(自民)を副委員長に選出。
- ③ 本委員会の今後の運営等について協議のため午後零時7分休憩、午後零時8分再開。本委員会の運営については、自民、社会及び共産各1名、計3名の理事を選び、その協議により行うことをはかり、異議なく決定。理事には、奥野文蔵委員(自民)、大平盛雄委員(社会)及び本間喜代人委員(共産)をそれぞれ選出。
- ④ 議事進行のため午後零時10分休憩、午後10時39分再開後散会。

○5月20日(水) 午後10時18分、第3委員会室

において開議、午後10時21分
散会
委員長 浅野 俊一(公明)

一 般 議 事

- ① 議席についてははかり、異議なく現在着席のとおりとすることに決定。
- ② 委員長から、所管事務調査について道民生活安定向上に関する件、環境保全に関する件及び森林機能の維持拡大並びに林産業の振興に関する件とし、議長承認を求めるとははかり、異議なく決定。
- ③ 所管事務調査について閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○5月21日(木) 午前10時15分、第3委員会室
において開議、午前10時30分
散会
委員長 浅野 俊一(公明)

一 般 議 事

- 生活環境部長及び林務部長から、所管事務の概要について説明。

○6月2日(火) 午後1時28分、第3委員会室
において開議、午後2時57分
散会
委員長 浅野 俊一(公明)

一 般 議 事

- ① 生活環境部長から、釧路湿原の国立公園化に関し報告の後、本間喜代人委員(共産)から、
 - (1) 湿原に係る道の素案及び環境庁の小委員会の内容の議会への提出の有無、伐採問題等現況保存のための道の対応策、対策の有効性、道の関係部との連携の必要性
 - (2) 知床国立公園内の国有林択伐問題に関し、阿寒国立公園管理事務所長からの意見照会に対する道の回答の現地等の意見に照らしての考え及び現状、回答に対する慎重性、回答に対する再検討の考え、今後の道の対応方法、前回の回答と今後の対応の関連
 - (3) 北海道女性の自立プランに関し、北海道婦人行動計画との関係、自立プランの素案と答申の関係、北海道女性会議と素案の関

係、女性の環境変化の受けとめ方、基本的な性格で女性の生涯を区分した考え方、無認可保育所等具体的問題の計画の中での扱い方の考え、プランの今後の進め方についての考え、プランを横断的に推進するための機関を設置する意志の有無、青少年婦人総合対策本部の開催回数等について質疑、意見及び要望があり、生活環境部長から答弁。

○6月29日(月) 午前10時14分、第3委員会室において開議、午前10時34分散会
委員長 浅野 俊一(公明)

一般議事

- ① 委員長から、附属機関等の委員の推せんについては、北海道公害対策審議会委員に勝木省三委員(自民)、湯本芳志委員(社会)、北海道自然環境保全審議会委員に奥野文藏委員(自民)、岡本栄太郎委員(社会)、北海道青少年問題協議会委員に木本山孝委員(自民)、山口恵聖委員(社会)、北海道暴力追放運動推進協議会委員に浅野俊一委員長を、それぞれ選出することに異議なく決定。
- ② 生活環境部長、はまなす国体局長及び林務部長から、第2回定例会提出予定案件についてそれぞれ説明。

○7月25日(土) 午前11時46分、第3委員会室において開議、午前11時57分散会
委員長 浅野 俊一(公明)

一般議事

- ① 生活環境部長から、昭和61年度北海道民生活安定条例施行状況の概要及び昭和62年公害の状況等に関する年次報告の概要について報告。
- ② 委員長から、所管事務の調査について、閉会中継続調査の申し出をすることは、異議なく決定。

○7月27日(月) 午前11時5分、第3委員会室において開議、午前11時50分散会

委員長 浅野 俊一(公明)

一般議事

- ① 生活環境部長及び林務部長から、昭和63年度北海道開発関係予算の重点要望事項と予算要望額について、それぞれ説明。
- ② 委員長から、中央折衝の実施については、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。
- ③ 生活環境部長から、釧路湿原国立公園の指定について説明。
- ④ 本間喜代人委員(共産)から、
 - (1) 能取湖における国定公園内の市有地の売買に関し、売買にあたって道の事実の承知の有無、砂開発事業協同組合長の氏名、売買契約に基づいて支払った時期、協同組合の事業計画での砂の採取計画、市から支庁への事前協議の有無、支庁での把握の程度、砂採取の届があった場合の対応の見解、支庁における事前察知の有無、農大誘致運動との関連についての把握状況等について質疑及び意見があり、生活環境部長から答弁。
 - (2) サロマ湖の保安林に関連して、支庁自身の手続ミスについて4年間手続しなかった原因について質疑及び意見があり、林務部長から答弁。

厚生委員会

○5月19日(火) 午前11時55分、第9委員会室において開議、午後10時38分散会
委員長 榎林 巖(社会)

正副委員長の互選

- ① 鈴木誠二臨時委員長(社会)から、委員長互選の方法については、三木勝夫委員(自民)の動議により指名推選の方法をもって榎林巖委員(社会)を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法については、柏倉勝雄委員(社会)の動議により指名推選の方法をもって、村田雄平委員(自民)を副委員長に選出。

③ 本委員会の今後の運営等について協議のため午後零時2分休憩、午後零時4分再開。本委員会の運営については、自民、社会、公明及び共産各1名、計4名の理事を選び、その協議により行うことをはかり、異議なく決定。理事には、三木勝夫委員（自民）、柏倉勝雄（社会）、相沢武彦（公明）、大橋 晃（共産）をそれぞれ選出。議事進行の都合により、午後10時37分休憩、午後10時38分再開、散会。

○5月20日（水） 午前10時20分、第9委員会室において開議、午前10時25分散会
委員長 樫林 巖（社会）

付託案件の審査

○ 議案第3号（工事請負契約の締結に関する件）を議題とし、衛生部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。

一般議事

- ① 議席についてははかり、異議なく現在着席のとおりとすることに決定。
- ② 所管事務調査事項の議長の承認を求めることについてははかり、異議なく決定。
- ③ 所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○5月21日（木） 午前10時27分、第9委員会室において開議、午前10時50分散会
委員長 樫林 巖（社会）

一般議事

○ 民生部長及び衛生部長から、所管事務の概要について説明。

○6月2日（火） 午後1時15分、第9委員会室において開議、午後2時18分散会
委員長 樫林 巖（社会）

一般議事

○ 衛生部長から、北海道救急医療情報システム運用状況に関し説明の後、大橋晃委員（共産）から、本道におけるエイズ（後天性免疫症候）の啓発や教育体制、

相談体制、相談件数及びその推移、検査件数及びその推移、感染者の数、血友病患者数の中の抗体陽性者数、欧米と日本のエイズ問題における根本的な相違、エイズ予防法案、法案とプライバシーの保障、エイズ予防の医師と患者の信頼関係、血友病患者の差別、予防と治療の質の向上、人権の保護について質疑及び要望があり、衛生部長から答弁。

○6月29日（月） 午前11時9分、第9委員会室において開議、午前11時58分散会
委員長 樫林 巖（社会）

一般議事

- ① 民生部長及び衛生部長から、第2回定例会提出予定案件について説明。
- ② 大橋晃委員（共産）から、社会福祉法人豊寿会の認可申請に対する審査の仕方、同法人存在の疑問、無償贈与される予定の土地が低当物件となっていること、その経緯と無償贈与する予定の弟の職業、寄附の履行、入所希望者とその保護者に対する説明会の実施、入所希望者に対する道の対応、道の責任、知事の認可事務となったことにおける民生部長の決意等について質疑及び要望があり、民生部長から答弁。

○7月25日（土） 午前11時55分、第9委員会室において開議、午後零時散会
委員長 樫林 巖（社会）

付託案件の審査

○ 議案第7号（北海道立心身障害者総合相談所条例案）を議題とし、民生部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。

請願・陳情の審査

請 願

第5号 HIV感染症（後天性免疫不全症候群—いわゆるエイズ）対策に関する件 （採択）

残余の陳情については、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

一般議事

- 委員長から、所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○7月27日(月) 午前11時8分、第9委員会室において開議、午前11時21分散会
委員長 樫林 巖(社会)

一般議事

- ① 委員長から、各種審議会等委員の推せんについてばかり、次のとおりとすることを異議なく決定。

各種審議会等委員

北海道地方社会福祉審議会

三木 勝夫(自民) 相沢 武彦(公明)

北海道児童福祉審議会

土屋 良三(自民) 柏倉 勝雄(社会)

北海道国民健康保険審査会

西本 美嗣(社会)

北海道医療審議会

村田 雄平(自民)

北海道献血推進協議会

川口 常人(自民) 大橋 晃(共産)

北海道赤十字血液センター運営委員

樫林 巖(社会) 佐藤 寛一(社会)

- ② 民生部長及び衛生部長から、昭和63年度北海道開発関係予算重点要望事項について説明。

商工労働委員会

○5月19日(火) 午後零時5分、第8委員会室において開議、午後10時40分散会
委員長 舟山 広治(社会)

正副委員長の互選

- ① 平井進臨時委員長(自民)から、委員長互選の方法についてはかり、酒井芳秀委員(自民)の動議により指名推選の方法をもって舟山広治委員(社会)を委員長に選出。
- ② 委員長から副委員長互選の方法についてはかり、菊地芳郎委員(社会)の動議により指名推選の方法をもって平井進委員(自民)を

副委員長に選出。

- ③ 本委員会の今後の運営について協議のため、午後零時10分休憩、午後零時12分再開。本委員会の運営については、自民、社会、公明及び民政各1名、計4名の理事を選び、その協議により行うことをはかり、異議なく決定。理事には、酒井芳秀委員(自民)、菊地芳郎委員(社会)、乙川節郎委員(公明)及び平田市郎委員(民政)をそれぞれ選出。

議事進行の都合により午後零時13分休憩、午後10時39分再開し、直ちに散会。

○5月20日(水) 午後10時28分、第8委員会室において開議、午後10時31分散会
委員長 舟山 広治(社会)

一般議事

- ① 議席についてはかり、異議なく現在着席のとおりとすることに決定。
- ② 委員長から、所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○5月21日(木) 午前10時32分、第8委員会室において開議、午前10時50分散会
委員長 舟山 広治(社会)

一般議事

- ① 商工観光部長、労働部長、企業局長及び地方労働委員会事務局長から、所管事務の概要について説明。
- ② 労働部長から、地域雇用開発等促進法の概要について説明。

○6月2日(火) 午後1時39分、第8委員会室において開議、午後1時44分散会
委員長 舟山 広治(社会)

一般議事

- 労働部長から、雇用開発促進地域における地域雇用開発の促進に関する計画の概要について説明。

○6月29日(月) 午前10時37分、第8委員会室において開議、午前11時散会

委員長 舟山 広治（社会）

一 般 議 事

- ① 商工観光部長及び労働部長から、第2回定例会提出予定案件について説明。
- ② 委員長から、知事より依頼のあった「先端技術産業等の立地に関する専門委員会」の特別委員に正副委員長を推せんすることをはかり、異議なく決定。

○7月25日（土） 午前11時58分、第8委員会室において開議、午後零時2分散会
委員長 舟山 広治（社会）

付託議案の審査

- 議案第16号（北海道企業立地促進条例の一部を改正する条例案）を議題とし、商工観光部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については委員長に一任することとした。

一 般 議 事

- 委員長から、所管事務について、閉会中継続調査することをはかり、異議なく決定。

○7月27日（月） 午前11時14分、第8委員会室において開議、午前11時34分散会
委員長 舟山 広治（社会）

一 般 議 事

- ① 商工観光部長、労働部長及び企業局長から、昭和63年度北海道開発関係予算要望の概要について説明。
- ② 商工観光部長から、昭和61年度本道観光客入込み調査の概要について報告の後、宇野眞平委員（自民）から、観光客入込み調査の算定基準などについて
酒井芳秀委員（自民）から、来道観光客数と観光箇所数との関連及び調査方法などについて
質疑があり、商工観光部長から答弁。
- ③ 商工観光部長から、北海道地場工業等振興条例施行規則の一部改正について報告。

農務農地開発委員会

○5月19日（火） 午前11時54分、第7委員会室において開議、午後10時36分散会
委員長 青山 章（自民）

正副委員長の互選

- ① 青山章臨時委員長（自民）から、委員長互選の方法についてははかり、吉野之雄委員（社会）の動議により指名推選の方法をもって青山章委員（自民）を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法についてははかり、湯佐利夫委員（自民）の動議により指名推選の方法をもって藤沢一雄委員（民政）を副委員長に選出。
- ③ 本委員会の今後の運営等について協議のため、午後零時5分休憩、午後零時6分再開。本委員会の運営に当たっては、自民、社会及び公明各1名、計3名の理事を選び、その協議によることをはかり、異議なく決定。理事には、大野新生委員（自民）、吉野之雄委員（社会）、工藤啓二委員（公明）をそれぞれ選出。

議事進行の都合により午後零時7分休憩。
午後10時38分再開しただちに散会。

○5月20日（水） 午後10時22分、第7委員会室において開議、午後10時27分散会
委員長 青山 章（自民）

付託案件の審査

- 議案第4号（工事請負契約の締結に関する件）を議題とし、農地開発部長から説明の後異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一 般 議 事

- ① 議席についてははかり、異議なく現在着席のとおりとすることに決定。
- ② 委員長から、所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○5月21日(木) 午前10時23分、第7委員会室
において開議、午前10時32分
散会
委員長 青山 章(自民)

一般議事

- 農務部長及び農地開発部長から、所管事務の概要について説明。

○6月2日(火) 午後1時24分、第7委員会室
において開議、午後1時34分
散会
委員長 青山 章(自民)

一般議事

- ① 農務部長から、農作物の生育状況について報告。
- ② 農地開発部長から、融雪災害等による農地・農業用施設の被害状況について報告。

○6月29日(月) 午前11時27分、第7委員会室
において開議、午後零時15分
散会
委員長 青山 章(自民)

一般議事

- ① 農務部長及び農地開発部長から、第2回定例会提出予定案件についてそれぞれ説明。
- ② 委員長から、さきに実施した北海道の稲作に関する中央折衝の概要について口頭により報告、異議なく了承。
- ③ 委員長から、北海道の稲作に関する要望意見案の発議についてはかり、異議なく決定。案文については、委員長に一任することとした。
- ④ 委員長から、中央折衝の実施についてはかり、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。
- ⑤ 土田弘委員(社会)から、農畜産物価格の値下げに対する検討状況とコスト引き下げに対する道の考え方について
大野新生委員(自民)から、民間貿易の検査に関し、日本から中国に輸出した乳牛33頭が殺処分となった経緯と検査に対する具体的な方針及び試験液の違い等について
質疑、意見及び要望があり、農務部長及び家畜衛生監から答弁。

○7月25日(土) 午前11時45分、第7委員会室
において開議、午前11時54分
散会
委員長 青山 章(自民)

付託案件の審査

- ① 議案第8号(北海道家畜商講習手数料条例案)を議題とし、農務部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第18号(国営土地改良事業負担金等徴収条例の一部を改正する条例案)を議題とし、農地開発部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ③ 議案第38号(工事請負契約の締結に関する件)を議題とし、農地開発部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一般議事

- 委員長から、付託の請願・陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすること、及び所管事務について閉会中継続調査の申し出をすることををはかり、異議なく決定。

○7月27日(月) 午前11時13分、第7委員会室
において開議、午後零時46分
散会
委員長 青山 章(自民)

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した北海道稲作に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 農務部長から、昭和62年産米の政府買入価格に関し報告の後、土田弘委員(社会)から、稲作コスト引き下げ対策に当たって農業基盤整備の負担低減の実現について
大野新生委員(自民)から、稲作コスト引き下げ対策に当たって農業機械施設の共同化を推進するための予算拡充について
それぞれ要望があった。
- ③ 農務部長及び農地開発部長から、昭和63年度北海道開発予算要望事項の概要について説明。
- ④ 委員長から、中央折衝の実施についてはか

り、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。

⑤ 農務部長から、アワヨトウの発生状況と対策について報告の後、

大野新生委員（自民）から、病害虫の発生に対する予知と道の連絡体制、アワヨトウの防除農薬確保に対する道の指導方法と今後の予知対策について

五十嵐勝委員（社会）から、農地以外のアワヨトウ防除の対応について

吉野之雄委員（社会）から、アワヨトウの発生対策に関する道の対応と発生情報の伝達日数について

質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。

⑥ 農地開発部長から、農業基盤整備事業に係る新聞報道について報告の後、

工藤啓二委員（公明）から、大野、共和及び当麻各町の水田改良事業の返上原因等、中幌ダムの水漏れの原因とたん水試験の調査費の金額及び当初計画より延長した原因、既に完成しているダムで中幌ダムと同様の施行方法を行っている箇所等

大野新生委員（自民）から、事業の採択基準の緩和と償還条件の緩和の必要性、

五十嵐勝委員（社会）から、問題の地区に対する指導の徹底、藤沢一雄委員（民政）から、中幌ダムの水漏れの原因は施工上と考えるが道の見解等について

質疑、意見及び要望があり、農地開発部長から答弁。

⑦ 委員長から、道内の農業関係事情調査の実施についてははかり、異議なく決定。派遣委員等については委員長に一任することとした。

建設委員会

○5月19日（火） 午後零時3分、第4委員会室において開議、午後10時40分散会

委員長 橋 浪蔵（自民）

正副委員長の互選

① 中川隆之臨時委員長（自民）から、委員長

互選の方法についてははかり、谷川英雅委員（社会）の動議により指名推選の方法をもって橋浪蔵委員（自民）を委員長に選出。

② 委員長から、副委員長互選の方法についてははかり、今津寛委員（自民）の動議により指名推選の方法をもって高橋庸委員（社会）を副委員長に選出。

③ 本委員会の今後の運営等について協議のため、午後零時12分休憩、午後零時14分再開。本委員会の運営については、自民、社会、公明及び民政各1名、計4名の理事を選び、その協議により行うことははかり、異議なく決定。理事には、今津寛委員（自民）、谷川英雅委員（社会）、伊藤武一委員（公明）及び葛健二委員（民政）をそれぞれ選出。

議事進行の都合により午後零時15分休憩、午後10時36分再開したにちに散会。

○5月20日（水） 午後10時24分、第4委員会室において開議、午後10時26分散会

委員長 橋 浪蔵（自民）

一般議事

① 議席についてははかり、異議なく現在着席のとおりとすることに決定。

② 委員長から、道路、河川、港湾その他土木事業に関する件、住宅対策に関する件及び都市施設の整備に関する件の3件について、所管事務調査及び閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○5月21日（木） 午前10時36分、第4委員会室において開議、午前10時55分散会

委員長 橋 浪蔵（自民）

一般議事

○ 土木部長及び住宅都市部長からそれぞれ所管事務の概要について説明。

○6月2日（火） 午後4時12分、第4委員会室において開議、午後4時15分散会

委員長 橋 浪蔵（自民）

一般議事

- ① 委員長から、道内における建設事情調査の実施については、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ② 土木部長から、高規格幹線道路網の諮問に関する件について説明。

○6月29日(月) 午前10時32分、第4委員会室
 において開議、午前10時52分
 散会
 委員長 橋 浪蔵(自民)

一 般 議 事

- ① 土木部長及び住宅都市部長から、第2回定例会提出予定案件について説明。
- ② 委員長から、附属機関の委員の推せんについて、北海道建築審査会及び北海道開発審査会委員に橋浪蔵委員長(自民)を、北海道住宅対策審議会委員に橋浪蔵委員長(自民)、今津寛委員(自民)、谷川英雅委員(社会)及び伊藤武一委員(公明)を、北海道住宅供給公社運営委員会委員に高橋庸副委員長(社会)及び平野明彦委員(自民)を、北海道土地開発公社土地開発推進委員会委員に橋浪蔵委員長(自民)及び谷川英雅委員(社会)を、北海道道路利用者会議委員に委員全員をそれぞれ推せんすることに決定。
- ③ 土木部長から、高規格幹線道路網の答申に関する件について報告。

○7月25日(土) 午前11時49分、第4委員会室
 において開議、午前11時56分
 散会
 委員長 橋 浪蔵(自民)

付託案件の審査

- ① 議案第17号(北海道道路占用料徴収条例の一部を改正する条例案)を議題とし、土木部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第34号(空港整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件)を議題とし、土木部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ③ 議案第36号(北海道道の路線の認定に関する件)を議題とし、土木部長から説明の後、

異議なく原案のとおり可決することに決定。

- ④ 議案第37号(工事請負契約の締結に関する件)を議題とし、住宅都市部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ⑤ 議案第39号(財産の取得に関する件)を議題とし、住宅都市部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。

一 般 議 事

委員長から、閉会中における所管事務継続調査の申し出については、異議なく決定。

○7月27日(月) 午前11時5分、第4委員会室
 において開議、午前11時32分
 散会
 委員長 橋 浪蔵(自民)

一 般 議 事

- ① 委員長から、昭和63年度北海道開発関係予算に関する中央折衝の実施については、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。
- ② 土木部長及び住宅都市部長から、昭和63年度北海道開発関係予算の概要について説明。
- ③ 土木部長から、国土開発幹線自動車道建設促進法の改正について説明の後、
 佐藤時雄委員(自民)から、高規格幹線道路に関し、意義及び基本的な考え方、道路を選定した要件、幹線道路網による1時間以内の到達範囲、国土開発幹線自動車道及び一般国道の専用道路としての整備区分の理由と構造上の相違点、一般国道の自動車専用道路として整備する路線の手続き方法、整備目標の国の考え方等について、
 質疑、意見及び要望があり、土木部長から答弁。

水 産 委 員 会

○5月19日(火) 午前11時58分、第6委員会室
 において開議、午後10時39分
 散会
 委員長 岩崎 守男(社会)

正副委員長の互選

- ① 川崎守臨時委員長（共産）から、委員長互選の方法についてはかり、綿貫健輔委員（自民）の動議により指名推選の方法をもって岩崎守男委員（社会）を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法についてはかり、遠藤常二委員（社会）の動議により指名推選の方法をもって川崎守委員（共産）を副委員長に選出。
- ③ 本委員会の今後の運営等について協議のため、午後零時4分休憩、午後零時7分再開。本委員会の運営については、自民及び社会各1名、計2名の理事を選び、その協議によることをはかり、異議なく決定。理事には、綿貫健輔委員（自民）、遠藤常二委員（社会）をそれぞれ選出。
- ④ 議事の都合により午後零時9分休憩、午後10時38分再開し、直ちに散会。

○5月20日（水） 午後10時21分、第6委員会室において開議、午後10時25分散会
委員長 岩崎 守男（社会）

一 般 議 事

- ① 議席についてはかり、異議なく現在着席のとおりとすることに決定。
- ② 委員長から、所管事務調査について水産業の振興に関する件とし、議長承認を求めるとはかり、異議なく決定。
- ③ 委員長から、所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○5月21日（木） 午前10時25分、第6委員会室において開議、午前10時33分散会
委員長 岩崎 守男（社会）

一 般 議 事

- 水産部長から、所管事務の概要について説明。

○6月2日（火） 午後1時35分、第6委員会室において開議、午後2時31分散会
委員長 岩崎 守男（社会）

一 般 議 事

- ① 委員長から、道内における水産事情調査の実施についてはかり、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ② 川崎守副委員長（共産）から、ベニズワイガニの試験操業問題に関し、昭和58年に許可された3隻のうち今年になって1隻だけが変わった理由と選考基準等について質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁。

本日聴取した陳情

第25回北海道漁業協同組合長会議決議に関する要請の件

北海道漁業協同組合長会議会長

○6月29日（月） 午前10時38分、第6委員会室において開議、午前10時50分散会
委員長 岩崎 守男（社会）

一 般 議 事

- ① 水産部長から、第2回定例会提出案件について説明。
- ② 水産部長から、水産試験場の体制整備について報告。

○7月25日（土） 午前11時48分、第6委員会室において開議、午前11時54分散会
委員長 岩崎 守男（社会）

一 般 議 事

- ① 委員長から、さきに実施した道内の水産事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 委員長から、所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○7月27日（月） 午前11時2分、第6委員会室において開議、午前11時17分散会
委員長 岩崎 守男（社会）

一 般 議 事

- ① 水産部長から、昭和63年度水産関係国費予

算要望事項の概要について説明の後、新沼浩委員（自民）から、公共事業費の伸び率が昨年度より下回る理由について質疑があり、水産部長から答弁。

- ② 委員長から、昭和63年度水産関係国費予算要望に関する中央折衝の実施については、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。

文 教 委 員 会

- 5月19日（火） 午後零時、第10委員会室において開議、午後10時39分散会
委員長 久田 恭弘（自民）

正副委員長の互選

- ① 笹浪幸男臨時委員長（自民）から、委員長互選の方法については、小田原要四蔵委員（社会）の動議により指名推選の方法をもって久田恭弘委員（自民）を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法については、畠山博委員（自民）の動議により指名推選の方法をもって大内良一委員（社会）を副委員長に選出。
- ③ 本委員会の今後の運営等について協議のため、午後零時5分休憩、午後零時7分再開。本委員会の運営については、自民、社会、公明、民政及び共産各1名、計5名の理事を選び、その協議により行うこととは、異議なく決定。理事には、畠山博委員（自民）、小田原要四蔵委員（社会）、吉田 恵 悦 委員（公明）、小野秀夫委員（民政）及び山根泰子委員（共産）をそれぞれ選出。

議事進行の都合により午後零時8分休憩、午後10時38分再開したちに散会。

- 5月20日（水） 午後10時22分、第10委員会室において開議、午後10時27分散会
委員長 久田 恭弘（自民）

付託案件の審査

- 議案第5号ないし第11号（いずれも工事請負契約の締結に関する件）を一括議題とし、

教育長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一 般 議 事

- ① 議席については、異議なく現在着席のとおりとすることに決定。
- ② 委員長から、学校教育並びに社会教育の充実促進に関する件について、所管事務調査及び閉会中継続調査の申し出をすることをは、異議なく決定。

- 5月21日（木） 午前10時25分、第10委員会室において開議、午前10時42分散会
委員長 久田 恭弘（自民）

一 般 議 事

- ① 委員長から、札幌市及び江別市の教育施設調査を実施することについては、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ② 教育長及び学事課長から、所管事務の概要について説明。

- 6月2日（火） 午後1時30分、第10委員会室において開議、午後2時18分散会
委員長 久田 恭弘（自民）

一 般 議 事

- ① 委員長から、道内における文教事情調査の実施については、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ② 山根泰子委員（共産）から、(1)中卒者の高校収容対策に関し、石狩地区における高校新設に対する見解、61年度の中卒者急増対策の具体的対処方法、学級定員増や特別教室等を転用しての学級増は教育条件の低下になると思うがこれに対する見解。(2)私学助成に関し、私立高校授業料に対する直接助成の考え方、奨学金制度の具体的内容、奨学金制度の枠拡大に対する考え方等について質疑、意見及び要望があり、教育長及び学事課長から答弁。

○6月29日（月） 午前10時30分、第10委員会室
において開議、午前11時散会
委員長 久田 恭弘（自民）

一般議事

- ① 教育長及び学事課長から、第2回定例会提出予定案件について説明。
- ② 委員長から、附属機関等の委員の推せんについて、北海道文化振興審議会委員に久田恭弘委員長（自民）及び大内良一副委員長（社会）を、北海道暴力追放運動推進委員に久田恭弘委員長（自民）をそれぞれ推せんすることをはかり、異議なく決定。
- ③ 山根泰子委員（共産）から、札幌のわかき幼稚園の不祥事に関し、教育現場における教育的配慮に対する考え方、再開園に当たっての道の対応、幼稚園に対する指導検査の状況等について
質疑、意見及び要望があり、学事課長から答弁。

○7月25日（土） 午前11時48分、第10委員会室
において開議、午前11時53分
散会
委員長 久田 恭弘（自民）

付託案件の審査

- ① 議案第9号（北海道立特殊教育センター条例案）を議題とし、教育長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第19号（北海道公立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例案）を議題とし、教育長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ③ 議案第35号（損害賠償請求事件における和解の件）を議題とし、教育長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。

一般議事

- 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすること、及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○7月27日（月） 午前11時21分、第10委員会室

において開議、午前11時28分
散会
委員長 久田 恭弘（自民）

一般議事

- ① 教育長、教育庁管理部長及び学事課長から、昭和63年度北海道開発関係予算について説明。
- ② 委員長から、昭和63年度北海道開発関係予算に関する中央折衝の実施についてははかり、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。

特別委員会

総合開発調査特別委員会

○5月20日(水) 午後9時25分、第1委員会室
において開議、午後9時39分
散会
委員長 中崎 昭一(自民)

正副委員長の互選

- ① 青山章臨時委員長(自民)から、委員長互選の方法についてはかり、神本三也委員(社会)の動議により指名推選の方法をもって、中崎昭一委員(自民)を委員長選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法についてはかり、岩本允委員(自民)の動議により指名推選の方法をもって、輪島幸雄委員(社会)を副委員長に選出。
- ③ 本委員会の今後の運営等について協議のため午後9時36分休憩、午後9時37分再開。本委員会の運営については、自民及び社会各2名、公明、民政及び共産各1名計7名の理事を選び、その協議によりこれを行うことをはかり、異議なく決定。理事には、岩本允委員(自民)、勝本省三委員(自民)、菊地芳郎委員(社会)、神本三也委員(社会)、伊藤武一委員(公明)、小野秀夫委員(民政)、本間喜代人委員(共産)をそれぞれ選出。

○5月21日(木) 午前11時18分、第1委員会室
において開議、午前11時23分
散会
委員長 中崎 昭一(自民)

- ① 委員長から、議席についてはかり、異議なく現在着席のとおりとすることに決定。
- ② 奈良崎開発調整部次長から、所管事務の概要について説明。

○6月2日(火) 午後3時21分、第1委員会室
において開議、午後4時散会
委員長 中崎 昭一(自民)

- ① 開発調整部長から、組織・機構改正に関し

説明。

- ② 開発調整部長から、北海道新長期計画の策定経過に関し、説明の後、

小野秀夫委員(民政)から、新計画に関し、北海道総合開発委員会からの答申の時期、道の計画案の策定の時期、道議会に提示する時期、道開発庁の策定作業の進捗状況、今後のスケジュール、道意見案を提出する時期

本間喜代人委員(共産)から、新計画に関し、道の計画素案の固まる時期、「第5期北海道総合開発計画に盛り込むべき事項(案)」の道との事前協議の有無、道として意見を述べる事の可能性、各プロジェクトに対する道開発庁独自調査の有無等について質疑及び意見があり開発調整部長から答弁。

○6月29日(月) 午後零時28分、第1委員会室
において開議、午後零時54分
散会
委員長 中崎 昭一(自民)

一般議事

- ① 開発調整部長から、昭和62年第2回定例会提出予定案件について説明。
- ② 開発調整部長から、北海道新長期計画素案について報告。
- ③ 開発調整部長から、国土利用北海道計画素案について報告。

○7月25日(土) 午後零時25分、第1委員会室
において開議、午後零時41分
散会
委員長 中崎 昭一(自民)

- ① 開発調整部長から、第2回定例会追加提案予定の国土利用北海道計画の変更について説明。
- ② 開発調整部長から、第2回定例会提示予定の北海道総合開発計画に関する道意見案について説明。
- ③ 開発調整部長から、昭和63年度北海道開発関係予算の重点要望概要について説明。
- ④ 委員長から、昭和63年度北海道開発関係予算に関し、中央折衝を実施したい旨をはかり、異議なく、実施することに決定。実施時

期等については、委員長に一任することとした。

注 7月27日の総合開発調査特別委員会は、次号に掲載。

石炭対策特別委員会

○5月20日(水) 午後9時45分、第11委員会室において開議、午後9時58分散会
委員長 松崎 義雄(自民)

正副委員長の互選

- ① 鈴木誠二臨時委員長(社会)から委員長互選の方法については、長沢徹委員(社会)の動議により指名推選の方法をもって、松崎義雄委員(自民)を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法については、綿貫健輔委員(自民)の動議により指名推選の方法をもって、谷川英雅委員(社会)を副委員長に選出。
- ③ 本委員会の今後の運営について協議のため、午後9時53分休憩、午後9時56分再開。本委員会の運営については、自民及び社会から各2名、公明及び民政から各1名、計6名の理事を選び、その協議によりこれを行うこととは、異議なく決定。理事には、綿貫健輔委員(自民)、平井進委員(自民)、一野坪勉委員(社会)、長沢徹委員(社会)、相沢武彦委員(公明)及び葛健二委員(民政)をそれぞれ選出。

○5月21日(木) 午前11時35分、第11委員会室において開議、午前11時54分散会
委員長 松崎 義雄(自民)

- ① 議席については、異議なく配付の議席表のとおりとすることに決定。
- ② 商工観光部長及び労働部長から、所管事務の概要について説明。
- ③ 商工観光部長から、道内の主要炭鉱の動向について説明。
- ④ 労働部長から、地域雇用開発等促進法の概

要について説明。

○6月2日(火) 午後3時1分、第11委員会室において開議、午後3時10分散会

委員長 松崎 義雄(自民)

- ① 労働部長から、雇用開発促進地域における地域雇用開発の促進に関する計画の概要について説明。
- ② 委員長から、「石炭鉱業安定及び産炭地域振興対策に関する要望案」について、配付の文案により提出することをはかり、異議なく決定。
- ③ 委員長から、石炭鉱業及び産炭地域振興対策に関する中央折衝の実施については、異議なく決定。実施時期等については委員長に一任することとした。

○6月29日(月) 午後零時44分、第5委員会室において開議、午後1時4分散会

委員長 松崎 義雄(自民)

- ① 委員長から、さきに実施した石炭鉱業安定及び産炭地域振興対策に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。
また、先般実施された衆議院石炭対策特別委員会の本道現地調査に際し、関係委員による産炭地域振興対策の緊急要請を行ったことを報告。
- ② 商工観光部長及び労働部長から、第2回定例会提出案件について説明。
- ③ 商工観光部長から、道内主要炭鉱の動向について報告。
- ④ 労働部長から、炭鉱離職者対策について報告。

○7月14日(火) 午後3時53分、第5委員会室において開議、午後4時25分散会

委員長 松崎 義雄(自民)

- ① 商工観光部長から、三井砂川炭鉱の閉山の概要について報告。
- ② 労働部長から、三井砂川炭鉱の閉山に伴う

離職者対策について報告。

- ③ 葛健二委員（民政）から、三井砂川炭鉱の閉山後における地域住民の民生用施設等生活条件確保の見通し、雇用の場の確保並びに地域振興対策などについて

一野坪勉委員（社会）から、道と議会間の連携強化、第八次石炭政策実施に伴う各炭鉱の動向と道の対応、一般炭需要確保への対応の適切化、三井砂川炭鉱閉山後の地域振興及び雇用対策などについて

宇川源吉委員（自民）から、三井砂川炭鉱の閉山対策推進に対する道の支援強化、なだれ閉山阻止対策の強化、原料炭の63年度における需要の見通し、道内の貯炭量と過剰炭買上げの状況、閉山跡地の利用対策などについて

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁。

- ④ 委員長から、三井砂川炭鉱の閉山に伴う現地事情調査の実施についてはかり、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。

○7月25日（土） 午後零時21分、第5委員会室において開議、午後零時29分散会

委員長 松崎 義雄（自民）

- ① 委員長から、さきに実施した三井砂川炭鉱の閉山に伴う現地事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 委員長から、(1)石炭鉱業の安定及び産炭地域の振興 (2)上砂川町振興対策 (3)夕張市、芦別市、赤平市振興対策、以上3件に関する要望意見案について、配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定。
- ③ 委員長から、上記要望意見案に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なく決定。実施時期は7月30日、派遣委員は正・副委員長並びに理事及び大規模な合理化が行われている炭鉱の地元委員とした。
- ④ 委員長から、7月29日北海道石炭対策連絡会議による中央折衝の実施並びに7月30日産炭地域六団体による代表者大会及び中央折衝の実施についてはかり、異議なく決定。

- ⑤ 宇川源吉委員（自民）から、前記要望意見案中の「空知産炭地域に情報処理関連技能者等養成施設を設置すること」に関する道の考え方などについて

質疑、意見及び要望があり、労働部長から答弁。

○7月27日（月） 午後1時8分、第5委員会室において開議、午後1時14分散会

委員長 松崎 義雄（自民）

- ① 商工観光部長及び労働部長から、昭和63年度北海道開発関係予算要望の概要について説明。

北方領土対策特別委員会

○5月20日（水） 午後9時27分、第3委員会室において開議、午後9時37分散会

委員長 佐々木行雄（自民）

正副委員長の互選

- ① 佐々木行雄臨時委員長（自民）から、委員長互選の方法についてはかり、長岡寅雄委員（社会）の動議により指名推選の方法をもって、佐々木行雄委員（自民）を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法についてはかり、村田雄平委員（自民）の動議により指名推選の方法をもって、遠藤常二委員（社会）を副委員長に選出。
- ③ 本委員会の今後の運営等について協議のため、午後9時35分休憩、午後9時36分再開。本委員会運営にあたっては、自民、社会、公明及び民政各1名、計4名の理事を選び、その協議によることをはかり、異議なく決定。理事には、村田雄平委員（自民）、長岡寅雄委員（社会）、浅野俊一委員（公明）及び風早俊男委員（民政）をそれぞれ選出。

○5月21日（木） 午前11時16分、第3委員会室において開議、午前11時30分散会

委員長 佐々木行雄（自民）

- ① 議席についてはかり、異議なく現在着席のとおりとすることに決定。
- ② 領対本部長及び水産部次長から、所管事務の概要についてそれぞれ説明。

○ 6月29日（月） 午後零時20分、第3委員会室において開議、午後零時27分散会

委員長 佐々木行雄（自民）

- 領対本部長から、第2回定例会提出予定案件について説明。

○ 7月25日（土） 午後零時30分、第3委員会室において開議、午後零時31分散会

委員長 佐々木行雄（自民）

- 委員長から、北方領土問題等の解決促進に関する要望意見案について、配付の文案により発議することをはかり、異議なく決定。

○ 7月27日（月） 午前11時16分、第3委員会室において開議、午前11時28分散会

委員長 佐々木行雄（自民）

- ① 領対本部長から、昭和63年度北海道開発関係予算の重点要望事項について説明。
- ② 委員長から、開発予算に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ③ 領対本部長から、北方領土返還要求強調月間の実施について説明。
- ④ 領対本部長から、北方地域募参に関し報告。
- ⑤ 委員長から、道内調査の実施についてはかり、異議なく決定、派遣委員等については、委員長に一任することとした。

エネルギー問題調査特別委員会

○ 5月20日（水） 午後10時2分、第11委員会室において開議、午後10時12分

散会

委員長 高木 繁光（自民）

正副委員長の互選

- ① 佐々木行雄臨時委員長（自民）から委員長互選の方法についてはかり、渋谷澄夫委員（社会）の動議により指名推選の方法をもって、高木繁光委員（自民）を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法についてはかり、佐々木行雄委員（自民）の動議により指名推選の方法をもって、柏倉勝雄委員（社会）を副委員長に選出。
- ③ 本委員会の今後の運営等について協議のため、午後10時8分休憩、午後10時10分再開。本委員会の運営については、自民及び社会から各2名、公明、民政及び共産から各1名、計7名の理事を選び、その協議によりこれを行うことをはかり、異議なく決定。理事には、佐々木行雄委員（自民）、今津寛委員（自民）、渋谷澄夫委員（社会）、大内良一委員（社会）、工藤啓二委員（公明）、藤沢一雄委員（民政）及び大橋晃委員（共産）をそれぞれ選出。

○ 5月21日（木） 午前11時13分、第11委員会室において開議、午前11時17分散会

委員長 高木 繁光（自民）

- ① 議席についてはかり、異議なく配付の議席表のとおりとすることに決定。
- ② 商工観光部長から、所管事務の概要について説明。

国民体育大会推進特別委員会

○ 5月20日（水） 午後9時32分、第2委員会室において開議、午後9時46分散会

委員長 岩田 徳弥（自民）

正副委員長の互選

- ① 大野新生臨時委員長（自民）から、委員長互選の方法についてはかり、大島一郎委員（社会）の動議により指名推選の方法をもって岩田徳弥委員（自民）を委員長に選出。

- ② 委員長から、副委員長互選の方法については、大野新生委員（自民）の動議により指名推選の方法をもって大平盛雄委員（社会）を副委員長に選出。
- ③ 本委員会の今後の運営等について協議のため午後9時42分休憩、午後9時44分再開。本委員会の運営にあたっては、自民、社会各2名、公明、民政及び共産各1名計7名の理事を選び、その協議によることをはかり、異議なく決定。理事には、中川隆之委員（自民）、大野新生委員（自民）、大島一郎委員（社会）、鈴木泰行委員（社会）、乙川節郎委員（公明）、平田市郎委員（民政）及び山根泰子委員（共産）をそれぞれ選出。

○5月21日（木） 午前11時14分、第2委員会室において開議、午前11時27分散会
委員長 岩田 徳弥（自民）

- ① 議席については、異議なく現在着席のおりとするに決定。
- ② 国体事務局長から、所管事務の概要について説明。
- ③ 教育庁社会教育部長から、国体関連所管事務の概要について説明。

○6月29日（月） 午後零時32分、第2委員会室において開議、午後零時58分散会
委員長 岩田 徳弥（自民）

- ① はまなす国体局長から、機構改正に関し報告。
- ② はまなす国体局長から、第2回定例会提出予定案件について説明。
- ③ はまなす国体局長及び社会教育部長から、第44回国民体育大会の概要について説明。

○7月27日（月） 午後1時6分、第2委員会室において開議、午後1時15分散会
委員長 岩田 徳弥（自民）

- ① 委員長から、道外調査の実施については、異議なく決定。
- ② 委員長から、道内調査の実施については、

り、異議なく決定。

- ③ はまなす国体局長から、第44回国民体育大会記念行事について説明。
- ④ 木本由孝委員（自民）から、野幌の施設の駐車場及び道路に関し、高校総体、身障者国体との関連等について質疑、意見及び要望があり、国体局長から答弁。

予算特別委員会

○7月21日(火) 午後1時44分、第1委員会室
において開議、午後1時59分
散会
委員長 長岡 寅雄(社会)

正副委員長の互選

- ① 遠藤常二臨時委員長(社会)から、委員長互選の方法についてはかり、村田雄平委員(自民)の動議により指名推選の方法をもって長岡寅雄委員(社会)を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法についてはかり、遠藤常二委員(社会)の動議により指名推選の方法をもって勝木省三委員(自民)を副委員長に選出。
- ③ 本委員会の今後の運営等について協議のため午後1時49分休憩、午後1時55分再開。休憩中協議の結果、付託案件に対する審査方法について、2分科会を設置し質疑を行うこととし、第1分科会は委員15人、所管は総務部、開発調整部、生活環境部、公安委員会、人事委員会、出納局、監査委員会、民生部、衛生部及び企業局、第2分科会は委員15人、所管は商工観光部、労働部、土木部、住宅都市部、農務部、農地開発部、水産部、林務部及び教育委員会とすること、各分科会に付託する案件は配付の付託議案一覧のとおりとすること、各分科会と追加補正予算案に対する一括質疑における質疑保留事項に対する総括質疑は、本委員会で行うことをはかり、異議なく決定。
- ④ 各分科会の委員の選出についてはかり、異議なく配付の委員名簿のとおり選任することに決定。

○第1分科会委員(15人)

井野 厚(社会)	桜田 正明(自民)
野呂 善市(自民)	土田 弘(社会)
山口 恵聖(社会)	遠藤 常二(社会)
大内 良一(社会)	相沢 武彦(公明)
酒井 芳秀(自民)	畠山 博(自民)
木本 山孝(自民)	橋 浪蔵(自民)
藤沢 一雄(民政)	一野坪 勉(社会)

平野 明彦(自民)

○第2分科会委員(15人)

乙川 節郎(公明)	永井 利幸(自民)
三木 勝夫(自民)	葛 健二(民政)
佐藤 寛一(社会)	大橋 晃(共産)
深田 義勝(社会)	森 敏捷(社会)
大島 一郎(社会)	勝木 省三(自民)
国本 康夫(自民)	村田 雄平(自民)
久田 恭弘(自民)	渋谷 澄夫(社会)
若狭 靖(自民)	

- ⑤ 各分科会に分科委員長のほか分科副委員長1名を置くこと、分科委員の辞任及び補充選任並びに所属変更については本委員長において行うことをはかり、異議なく決定。
- ⑥ 委員長から、付託案件の審査日程についてはかり、異議なく配付の日程表のとおりとすることに決定。
- ⑦ 質疑の方法等について、通告の形式により一括して行うこと、一問一答方式により行う場合は委員長に申し出ること、発言の順位は本会議における一般質問に準ずることをはかり、異議なく決定。
- ⑧ 委員外議員の発言の取り扱いについては、議員からの発言の申し出があった場合、その都度、委員会にはかり法定することとし、発言を許可した場合は、委員の通告質疑、質問終了後に発言を許可することをはかり、異議なく決定。
- ⑨ 議席につはかり、異議なく配付の議席表のとおりとすることに決定。
- ⑩ 本委員会の運営について、正副委員長及び分科正副委員長をもって構成する理事会を設置してその協議により運営すること、正副委員長の配分のない会派についても理事会に出席願うことについてはかり、異議なく決定。

第1分科会

○7月21日(火) 午後2時3分、第1委員会室
において開議、午後2時13分
散会
第1分科委員長
遠藤 常二(社会)

正副委員長の互選

- ① 指名推選の方法により、分科委員長に遠藤常二委員（社会）、分科副委員長に酒井芳秀委員（自民）をそれぞれ選出。
- ② 付託案件の審査日程、質疑の方法について協議決定した。
- ③ 本分科会の運営について、自民、社会、公明及び民政各1名計4名の理事を選び、その協議により行うことをはかり、異議なく決定。理事には、畠山博委員（自民）、大内良一委員（社会）、相沢武彦委員（公明）及び藤沢一雄委員（民政）をそれぞれ選出。
- ④ 委員外議員の発言の取り扱いについて、その都度分科会にはかり決定することとした。
- ⑤ 議席について、配付の議席表のとおりとすることに決定。

○7月22日（水） 午前10時27分、第1委員会室において開議、午後6時58分散会

第1分科委員長

遠藤 常二（社会）

① 衛生部所管に対する質疑に入り、

畠山 博委員（自民）から、

- (1) 北海道保健医療基本計画に関し、計画の目標水準の達成状況、保健医療圏ごとの目標水準の達成度、項目ごとの目標水準の達成度並びに目標水準未達成の理由、基本計画の遂行による本道の保健医療の向上
- (2) 新北海道保健医療基本計画に関し、基本的な考え方、達成困難な計画の取り組み
- (3) 病院給食の外部委託に関し、考え方、メリット・デメリット、受託業者に対する指導等について

吉田 恵悦委員（公明）から、

- (1) 救急医療情報システムに関し、運用開始までの取り組み概要、システムの内容、運用状況、実施成果、地元医療機関との連携、運営経費、費用負担の考え方、システム運用地域拡大に向けた取り組み、旭川救急情報システムとの連携、全道エリアのネットワークづくり
- (2) エイズ問題と対策に関し、問題の認識、取り組みの概要、本道におけるエイズの現

状、相談体制の現状、相談件数、検査体制、国の費用負担の現状と今後の見通し、予防知識の啓発普及

- (3) インフルエンザの問題に関し、集団接種に対する見解、インフルエンザ調査研究事業に対する調査結果の概要、今後の実施に当たっての見解

質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁があった。企業局及び衛生部所管に対する質疑を終結。

② 民生部所管に対する質疑に入り、

野呂 善市委員（自民）から、

- (1) 障害者の就労対策に関し、福祉部門における就労の場について、授産施設の整備状況、整備方針
- (2) 小規模通所授産施設に関し、設置数、通所している障害者の推移、それぞれの事業規模、道費助成の状況、限度額の引き上げと補助のあり方
- (3) 授産事業振興センターに関し、運営状況販売に対する取り組み、販売場所の拡大、展示即売、今後の育成等について

橋 浪蔵委員（自民）から、

- (1) 高齢化社会への問題に関し、老人福祉課当時と現在の高齢者対策室の業務の違い、取り組み実績、高齢者対策室の業務内容、職員の配置、室がボランティア事務を所掌した理由、高齢者対策のあり方、今後の取り組み、独居老婦人対策、委託実施したテーマ及び報告内容、これらを踏まえた取り組み及び対策、民生部が果たす役割、老人の健康対策、高齢期の健康な生活の施策、保健婦やホームヘルパーの設置状況、家庭奉仕員の国庫補助制度
- (2) 在宅福祉に関し、援助のためのサービスの種類、道内の市町村における在宅ケアサービスの取り組みと道の助成、市町村在宅福祉推進体制整備事業を単年度補助とした理由、サービスのあり方、市町村の状況に応じた道の助成、在宅福祉供給システムについて、痴呆性老人、寝たきり老人または障害者を抱える家族に生かされる施策
- (3) 生きがい対策に関し、取り組み内容、老人クラブ活動促進への取り組み、老人クラブへの助成、高齢者の就労対策、高齢者能力情

- 報センターや職業紹介などへの支援体制
- (4) 北海道老人大学に関し、各校の設置場所及び定員、運営の委託先、委託費、北海道高齢者生きがい振興協会の所在地、事業内容、協会所在地以外にある老人大学の運営方法、札幌校の運営委託費のひとり平均額、札幌校以外の学生ひとり当たりの委託費、今後の老人大学の運営及び設置
- (5) 老人福祉寮に関し、整備箇所、一カ所当たりの運営費と費用負担、運営費の補助、市町村に対するメニュー事業、補助基準額、平均建築面積、実際の建築費用、補助制度、中間施設や小規模授産施設等の拡大や運営の充実について、中間施設やシルバーハウジングの取り組み
- (6) 福祉施設の防火対策に関し、道の対応、スプリンクラー設置に対する国の補助金内容、要介護老人施設数とそのうちのスプリンクラー設置施設数、スプリンクラー整備費用、スプリンクラー整備に対する道の対応、自己資金の問題
- (7) 道立中央児童相談所の移転後の建物利用に関し、利用計画、建物管理費、解体費用
- (8) 福祉社会進展にむけた道の取り組み等について

藤沢 一雄委員（民生）から、

- (1) 国保問題に関し、老人保健法改正の施行遅延に伴う市町村国保財政への影響、影響額に対する国の補てん並びに道の対処
- (2) 退職者医療制度に関し、市町村国保財政への影響、加入者の見込み違いによる影響額並びに国の財政措置、制度の実施に伴う認識と今後の対処
- (3) 老人医療費の増高による国保財政への影響に関し、全国比較、高額の原因、具体的内容
- (4) 調整対象外医療費に関し、基準、創設に伴う影響額、基準の問題点と国に対する取り組み等について

川崎 守委員（共産）から、

浜益村におけるアイヌ系住民の土地の譲渡問題に関し、旧土人保護法第一条に基づく下付地の実態、譲渡許可に当たっての現地実態調査、農業委員会の不許可法定に対

する見解、道が実態調査をしない理由、知事責任、所有権移転の法的根拠、迷惑を受けた開墾者4名への遺憾の表明の意思、誓約書に対する見解、旧土人保護法の解釈、誓約書に基づく解決努力、道の仲介の必要性等について

質疑、意見及び要望があり、民生部長から答弁があって、民生部所管に対する質疑を終結。

○7月23日（木） 午前10時27分、第1委員会室において開議、午後5時7分散会
第1分科委員長
遠藤 常二（社会）

① 生活環境部所管に対する質疑に入り、

和田 敬友委員（自民）から、

交通安全対策に関し、今年の道内の交通事故の発生状況と傾向及び特徴、死者数の減少の傾向は定着したものかその背景を含めての考え、本道におけるヤングドライバーの交通事故全体の発生傾向、二輪車等による事故の実態、本道の高齢者の交通事故のここ数年の変化及び全国の発生傾向との相違、高齢者の人口の高い県と本道の高齢者の交通事故の発生態様の相違、第4次交通安全施設等整備事業5箇年計画の内容と整備事業の重点、教育啓発のための講じられている対策の所見、全道の夜光反射材つきウインドブレーカーの普及度合、高齢者ドライバー適性診断の概要、交通安全の生涯教育のあり方についての認識と現実の進展度、高齢者やヤングドライバーに対する交通安全思想の教育啓発の今後の強化策についての考え、道が実施している放送媒体による啓発PR内容、ゴールデンタイムにPRする考え、各市町村の交通安全推進体制の推移（担当職員、推進員、指導員の数及び予算の5年前との比較）、市町村の体制と予算の実態についての部長の所見、今後の道路交通環境の変化と交通事故の推移についての認識と見通し、交通安全対策の今後の取り組みに対する決意等について

藤沢 一雄委員（民政）から、

海鳥の状況に関し、オロロン鳥の保護対策と生息状況の関連についての考え、今日まで

実施した調査の内容、本年度の調査費の計上予算額、調査内容、オロロン鳥が減少している原因、漁網による被害の内容、オロロン鳥の人工増殖の可能性、総合的な保護対策についての予算を含めた取り組み方等について質疑、意見及び要望があり、生活環境部長から答弁があって、生活環境部所管に対する質疑を終結。

② 開発調整部所管に対する質疑に入り、

桜田 正明委員（自民）から、

地方交通線対策に関し、国鉄再建法の経過、国の考え方、道の対応、JRに引き継がれた段階での経過措置の内容、美幸線及び興浜南・北線の委託調査の目的、委託調査結果報告書に対する受けとめ方、道運輸交通審議会の構成及び12月答申の受けとめ方、知事の体験乗車発言に対する道の対応、道の国鉄への要望の成果、池北線への要望、知事の羽幌線に対する考え方、存続が困難だった理由、北海道だけが存続困難であったことに対する見解、特定地方交通線の転換後の経営状況、北海道が転換困難な理由と第1次線、第2次線転換困難な理由の整合性、地方鉄道設立する場合の道負担の考え方、北海道における地方鉄道設立の条件、道内のバス転換路線の運営状況、バスの便数、運賃、停留所の問題、経営収支、長大4線の存続の見通しと道の取組み、長大4線の赤字補てん、64年3月31日まで協議不成立の場合の見通し、4線の赤字幅、4線のイベントによる助成額とその効果、長大4線の存続の法律的障害、政治判断の見込み、基本計画における位置づけ及び表現、特定地方交通線対策協議会の開催見通しとその内容、転換を図る場合の適及期限、転換交付金の概算、青森県交通運輸労働組合協議会の陳情と道の対応、長大4線の陳情報道記事に対する受けとめ方、道に対する存続のための具体策、具体案のつくり方、長大4線についての調査委託等について

木本 由孝委員（自民）から、

- (1) リニアモーターカー及び新幹線の問題に関し、リニア高速鉄道推進協議会参加の状況、リニアモーターカーと新幹線との因果関係、リニアモーターカーの推進と新幹線誘致との関係、計画を両立させるうえでの

問題点、新幹線の回り方、新幹線問題について再考する必要性、リニアとJRの関係並びにリニアのJR在来線への影響、影響調査、リニアの着工と完成時期、64年着工予定として確認、エアカーゴ、新幹線、リニアの完成時期、リニアの新幹線と比較しての推進の可能性、新幹線とリニアの建設資金及び地元負担の問題、リニアの採算計画路線、道央偏在の交通体系

- (2) 千歳川放水路に関し、道の考え方、開発局との連携内容、協力体制等について

質疑、意見及び要望があり、開発調整部長から答弁があって、開発調整部及び公安委員会所管に対する質疑を終結。

○7月24日（金） 午前11時11分、第1委員会室において開議、午前11時37分閉会

第1分科委員長

遠藤 常二（社会）

① 総務部所管に対する質疑に入り、

桜田 正明委員（自民）から、

- (1) 知事等の特別職の職員に対する退職手当に関し、退職手当の性格と支給根拠、今回条例を改正しようとする理由、改正理由の中の社会経済情勢の内容、都府県の動向、支給割合を引下げなければならない必要性、退職手当の性格から都府県の支給動向等を理由にする矛盾に対する見解、支給割合を条例で明定する理由、他府県で支給割合を条例で決めている状況、条例の附則についての見解、今後の情勢の変化に対応しての改正の考え

- (2) 国立大学獣医学科の再編整備に関し、再編整備の動きが出てきた経過と全国的な動向の把握状況、北大と帯広畜産大学の協議の状況、統廃合についての文部省の対処方針、帯広畜産大学の獣医学科に対する認識、道としての存続運動の積極的展開についての見解等について

中川 義雄委員（自民）から、

- (1) 言葉の行革に関し、知事の執行方針の中で農業を比較優位産業として使った理由、比較優位の言葉を訂正する意志の有無等に

ついて

(2) 慰霊祭取扱いに係る民生部長通達に関し、通達は服務事項にかかわる事項から見解、職員の服務に関する所掌、総務部長の権限を侵していると考えが見解、戦没者以外の宗教行事を伴う慰霊祭は対象外か見解、通達と58年5月に出された大阪地裁判決との関連、箕面推霊祭判決の大阪高裁と地裁の判決結果、民生部長通達を撤回する意志の有無等について

質疑、意見及び要望があり、総務部長から答弁があって、各種委員会及び総務部所管に対する質疑を終結。

② 付託案件に対する分科委員長報告については、分科委員長に一任することとした。

第 2 分 科 会

○7月21日（火） 午後2時4分、第2委員会室
において開議、午後2時14分
散会
第2分科委員長

村田 雄平（自民）

正副委員長の互選

- ① 指名推選の方法により、分科委員長に村田雄平委員（自民）、分科副委員長に大島一郎委員（社会）をそれぞれ選出。
- ② 付託案件の審査日程、質疑の方法について協議決定した。
- ③ 本分科会の運営について、自民、社会、公明、民政及び共産各1名計5名の理事を選びその協議により行うことをはかり、異議なく決定。理事には、国本康夫委員（自民）、渋谷澄夫委員（社会）、乙川節郎委員（公明）、葛健二委員（民政）及び大橋晃委員（共産）をそれぞれ選出。
- ④ 委員外議員の発言の取り扱いについて、その都度分科会にはかり決定することとした。
- ⑤ 議席について、配付の議席表のとおりとすることに決定。

○7月22日（水） 午前10時24分、第2委員会室
において開議、午後5時34分
散会

第2分科委員長

村田 雄平（自民）

(1) 農務部所管に対する質疑に入り、

高橋 文明委員（自民）から、

(1) 農政執行に当たっての部長の決意

(2) 農業協同組合問題に関し、農協の運営強化活動促進に対する道の取り組み、地域農業再編協同活動事業の内容、農協役職員の指導に対する実態把握と負債農協の実態、農協の指導金融に関する信用事業と営農指導経済事業等の実態と問題点、資金管理に対する組勘取引の問題点と解決方法、農協の運営強化と活動促進に対する予算の推移、農協の総数、小規模農協と農協組織整備強化指標に達した農協数、役員1人当りの正組合員数等、営農指導職員の割合、営農を続けるほど負債がかさむ組合員を取り引き停止にしたという事件に対する道の受けとめ方と指導方法、経営不振農協の実態、農協プロパー資金の利息率及び利息率に対する考え方、都市農協の事業実態に対する考え方、農協が扱う農業用資材価格の実態把握等、農協検査の実施状況と指摘事項の特徴、西胆振管内の広域合併に対する行政指導の配意と合併後の運営状況、岩内町農協が分裂の危機的状態になった原因把握、農協合併促進に対する今後の取り組みについて

本間 喜代人委員（共産）から、

果樹振興に関し、振興に対する基本的な考え方、後志管内における果樹生産の現況認識と対策、道の試験研究機関の取り組み状況等生産現地に道立園芸試験場設置要請に対する道の考え、北後志園芸試験場での研究内容、道の果樹試験場と北後志園芸試験場との関わり、北後志園芸試験場の今後の運営と活用等について

質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁があって、農務部所管に対する質疑を終結。

② 土木部所管に対する質疑に入り、

久田 恭弘委員（自民）から、

- (1) 道路整備に関し、積雪寒冷地域の道路幅員と交通容量、幹線道路の除排雪の状況、ふゆトピア構想の対処方針、キャブシステムの内容と現状、道路駐車公園の整備状況と今後の取り組み、道々小樽環状線の進捗状況と今後の取り組み、小樽市道中央通り線の整備に対する考え方
- (2) 当別ダム問題に関し、地元の関係住民の協力が得られない問題点、道の現地での活動状況、今後の対応に対する考え方
- (3) 石狩湾新港に関し、荷役体制の現状、港湾運送事業の免許の状況、水先案内の状況等について

工藤 啓二委員（公明）から、

- (1) 層雲峡天域岩土石崩壊災害に関し、災害状況と発生原因、2次災害発生の可能性と今後の対策、応急対策に要した費用、費用負担区分の問題点、道内におけるこの種の危険箇所数と対策
- (2) 急傾斜地対策に関し、道内における危険区域数と規制状況、指定箇所の拡大に対する考え方、危険区域の区分と危険箇所に指定を受けた箇所の人家戸数、崩壊防止事業の59年度から62年度までの実施状況、崩壊防止事業5箇年計画と達成率、過去2～3箇年の国有地の災害未然防止の道の事業費、急傾斜地法第9条と第12条の解釈等について

質疑、意見及び要望があり、土木部長から答弁があって土木部所管に対する質疑を終結。

③ 住宅都市部所管に対する質疑に入り、

久田 恭弘委員（自民）から、

- (1) 住宅都市行政を進める基本的な考え方
- (2) 冬の都市対策に関し、冬に備えた都市整備についての見解、冬に適した街づくりの課題、北方型街区の具体的なイメージ、本年度の北方型街区の形成についての調査内容、冬の都市モビリティの調査内容、調査結果の活用と都市整備への反映についての考え方
- (3) 住宅対策に関し、北方型住宅の内容と寒地住宅との相違、高断熱高気密住宅の内容、結露及び不完全燃焼等のおきる原因と対応策

(4) 小樽市中心市街地活性化計画等について質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長から答弁があって住宅都市部所管に対する質疑を終結。

④ 農地開発部所管に対する質疑に入り、

勝木 省三委員（自民）から、

農地開発行政に関する今後の基本的な考え方、農地開発部所管の補正予算案に関し、農業空港構想の目的等と道単独の農道離着陸場活用調査費に対する事業の位置付けと調査の目的等、道立中央農試に農業土木研究の取り組み、農業基盤技術研究推進事業費の具体的内容、農業基盤整備事業の事業費単価に関し、最近の事業費単価の推移と積算の根拠である単価・歩掛の改訂仕組み、昭和61年度の単価改訂の内容、新技術等の開発動向と導入状況、農林水産省の方針である節約型土地改良事業に対する考え、国営事業に関し、事業の採択手続と道の係わり、事業実施途中における計画変更の手順と道との係わり及び国との連絡調整を行う必要性、農村の生活環境整備に関し、農村政策に対する道の取り組みと各事業の取り組み実績、農業集落排水事業の具体的内容と建設部所管事業との調整等、農業集落排水事業に対する今後の整備計画と要望に対する把握及び今後の取り組みの基本的な考え方、農村総合整備モデル事業に対する総事業費枠や補完整備の必要性と今後の取り組みの基本的な考え方等について

質疑、意見及び要望があり、農地開発部長から答弁があって、農地開発部所管に対する質疑を終結。

○7月23日（木） 午前10時25分、第2委員会室において開議、午後6時21分散会

第2分科委員長

村田 雄平（自民）

① 水産部所管に対する質疑に入り、

佐藤 時雄委員（自民）から、

水産物の消費流通問題に関し、消費動向の実態、消費の伸び悩みの原因と認識及び消費拡大に対する道の取り組み、新製品開発に対する消費者ニーズの認識、消費拡大対策の成果と認識、消費拡大に対する高次加工への取り組み、水産物高鮮度流通促進パイロット事

業の取り組みと具体的な内容及ぶ成果、低温輸送技術の特徴と流通体系の取り組み状況等、活魚流通の実態と将来展望、活魚の安定供給を図るうえでの今後の養殖施設整備の必要性、消費流通に対する抱負等について

吉田 恵悦委員（公明）から、

マリノベーション構想に関し、構想の目的と内容等、地域指定のメリット、津軽海峡地域の条件整備に対する検討方向と内容、「イカの都」構想の認識と評価及び盛り込む方法、構想策定の目途等について

風早 俊男委員（民政）から、

水産問題に関し、北海道水産業の現状認識、減船離職乗組員の現状と対策、委託調査船廃止の経緯等、乗組員の離職対策と試験船処理についての要望に対する道の対応、乗組員対策と船の処理に対する対処方、漁業無線局の経営に対する現状と道としての対応策、韓国漁船の200海里法適用に向けての現状と今後の取り組み等について

質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁があって、水産及び労働部所管に対する質疑を終結。

② 商工観光部所管に対する質疑に入り、

久田 恭弘委員（自民）から、

(1) 生鮮食料品小売店の振興に関し、生鮮食料品小売店の実態とこれまで施策及び成果、「野菜の日、魚の日及び肉の日」の普及促進事業を廃止する理由、生鮮食料品小売店に対する今後の振興方策、「魚・くだもの・やさい券」普及促進事業の概要とその効果、全国又は他都府県におけるギフト券の発行状況、事業対象を人口10万人以上の都市に限定する理由、消費者への宣伝方法、小売店への参加呼びかけ方法

(2) 都市型工業地域振興に関し、石狩湾新港地域における一貫輸送体系の整備及び同地域開発のための関係機関との連携に対する基本的な考え方等について

高木 繁光委員（自民）から、

観光産業振興に係る諸問題に関し、本道における観光産業の現状認識及び他産業との対比による位置付け、観光産業の具体的振興方策、観光振興基本計画の具体的構想、基本計画策定の手順及び期日、大規模リゾート基地

開発に伴う既存観光地の活性化対策、観光イベントの推進と地域ニーズの把握、国際化への取り組みと今後の対処方針、外国人観光客の受入れ態勢の整備に対する取り組み、観光通年化の推進と従業員の雇用安定策、航空運賃の格差是正に対する取り組み等について

葛 健二委員（民政）から、

(1) 産炭地域の振興対策に関し、石炭産業の今後の見通し、「石炭産業の存続を求め、生産・経営基盤の確保をはかる」ための国への要請内容、産炭地域振興方策、企業立地動向に対する評価、産炭地域への企業誘致推進方策、空知産炭地域活性化プロジェクトに対する支援内容、閉山報道された北炭真谷地炭鉱の現状に対する考え方、産炭地域商工業者への融資対策

(2) 道産資材の活用に関し、道産原材料使用の道産資材の活用をはかる関係部との協議促進状況、生コンクリート関連産業の安定についての請願（62.3.31採択、請願第90号）採択後の取り組みと今後の方向、輸入セメントの現況と本道セメント産業に及ぼす影響、生コン産業の実態と問題点、コンクリート劣化問題の対応策、生コン業界の第2次構造改善事業に対する認識と対処方針等について

大橋 晃委員（共産）から、

原子力発電と石炭対策に関し、国及び道のエネルギー需給の見通し、エネルギー及び電力需給の見直し変更の要因、全世界的原子力発電の見直し気運に対する評価、原子力開発利用長期計画に対する評価、道の新計画素案における原子力発電の想定需要、石炭火力発電の見通し、北電の内陸火発の廃止理由、原発と石炭火発の発電コスト、泊原発及び内陸火発の発電コスト、報道機関が経時的に行っている原発に関する世論調査結果対にする認識、今回の知事公約において原発建設の規制及び道内炭利用の石炭火発増設を取上げない理由等について

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁があって、商工観光部及び林務部所管に対する質疑を終結。

○7月24日（金） 午前10時6分、第2委員会室
において開議、午後11時46分
散会
第2分科委員長

村田 雄平（自民）

① 教育委員会所管に対する質疑に入り、

国本 康夫委員（自民）から、

- (1) 特殊教育に関し、養護学校の概況、養護学校中学部卒業者の進路状況、59年度から62年度までの公立高等部校の合格率と不合格者数、60年度以降合格率が低下し、不合格者数が増加しているが今後の見通し、一時的に合格率等の低下している原因、不合格者の障害の程度の年度別状況、精神発育のおくれの判断方法、中軽度の障害者の合格率を高めるための臨時措置に対する考え方、高等部の道央不足に対する見解、高等部校に重複障害学級をつくる考え方
- (2) 札幌養護学校の改築に関し、耐力度調査の結果、校地の基準面積、学校規模が大きすぎるので2つに分け、2分の1の規模の1校新設と現校舎の改築に対する考え方
- (3) 札幌聾学校の改築に関し、耐力度調査の結果、校地の基準面積、知事が視察した際の発言内容、移転改築に対する考え方
- (4) 札幌養護学校及び札幌聾学校の改築問題に対する教育長の今後の取り組み等について

木本 由孝委員（自民）から、

高校野球に関し、大会の運営内容、道教委の高野連に対する立場、道高野連の審判団の構成、審判員の養成訓練の把握状況、審判員のあるべき姿に対する見解について

大橋 晃委員（共産）から、

学校における心電図検診問題に関し、公立高等学校及び小中学校における実施状況、選別方式に対する公費負担のやり方の内容、61年度の心電図検査の実施状況及び62年度の内容、全員方式の実施についての検討内容、公費による全員方式導入の63年度の方針等について

質疑、意見及び要望があり、教育長、管理部長及び学校教育部長から答弁があって教育委員会所管に対する質疑を校結。

② 付託案件に対する分科委員長報告については、分科委員長に一任することとした。

○7月24日（金） 午後1時14分、第1委員会室
において開議、午後8時35分
散会

委員長 長岡 寅雄（社会）

① 追加付託案件（議案第40号）に対する質疑
に入り、

酒井 芳秀委員（自民）から、

今回補正予算に関し、補正額が適正か否かの判断、補正の特色、予算獲得に当たって道のとった行動、関係省庁に対する発注5部長の働きかけの内容、道路公団に対する道の要請活動及び本道への配分の見通し、NTT株の売却益を活用した事業として今回計上した事業、道における事業の地域配分の特定地域への配慮、中小企業に対する公共事業の受注機会の拡大に対する取り組み、公共事業の発注時期、事業量の完全消化の見通し、今回の追加公業事業に関する市町村の受け入れ態勢、市町村における事業の消化の見通し、市町村事業に対する財源措置の見通し、道の事業にかかる財源措置の見通し、国の直轄事業負担金の見込み及び財源見通し、道単独事業について今回計上しなかった理由、緊急経済対策の地方単独事業についての期待に対する見解、道単・特対事業の計上の時期、明年度開発予算要望の基本的考え方及び取り組み、明年度の公共事業に伴う地方財政に対する国の財源措置についての見解等について

平田 市郎委員（民政）から、

緊急経済対策に基づく公共事業に関し、事業の地域配分に当たっての考え方、漁港建設費の配分時期と発注時期及び設定の考え方、道営畑地帯総合土地改良事業と道営圃場整備事業の配分時期と発注時期及びこれの設定の考え方、農業基盤整備事業の農家負担の軽減配慮に対する見解、地域配分及び早期発注に対する開発調整部長の見解、今回追加提案の配分時期及び重点配分の見通し、追加公共事業の道負担分に対する国の財源措置についての見解、国の財源措置の内容及び道の翌年度以

降の財政負担の見込み、今回の景気対策の実施による経済効果等について

大橋 晃委員（共産）から、

緊急経済対策に対応した補正予算に関し、62年版労働白書についての感想、補正予算執行に当たっての雇用目標、知事公約の立場からの公共事業の執行状況、道外業者受注率に対する土木部長の認識、高校改築の繰り上げ施工による波及効果、補正予算に占める住宅関連予算が少ない理由等について

質疑、意見及び要望があり、総務部長、開発調整部長、終労働部長、土木部長、住宅都市部長、農地開発部長、水産部長及び林務部長からそれぞれ答弁があって、追加付託案件に対する質疑を終結。

② 各分科委員長から、それぞれ分科会における審査の経過について報告。

③ **知事に対する総括質疑**に入り、

桜田 正明委員（自民）から、

地方交通線の問題に関し、保留4線を除き全てバス転換されたことに対する受けとめ方、長大4線の存続を目指しての調査着手の意志、4線存続のため具体案を道が示す考え等について

中川 義雄委員（自民）から、

政教分離の問題に関し、58年5月に出された民生部長通知の撤回の意志、撤回しない理由、根拠、60年6月14日の総務部長通達との関連、箕面二審判決との関連、北霊碑慰霊祭について民生部長通知でふれた理由、民生部長通知の文書の瑕疵等について

大橋 晃委員（共産）から、

原子力発電と石炭火力発電についての知事公約に関し、泊原発原子炉容器が搬入されることに対する感想、公約で原子力発電に触れなかった理由、4年前の公約との関連、原子力発電に対する評価、国のエネルギー計画の修正に伴う道計画の再検討の必要性、道内炭を利用した石炭火力発電所増設を今回公約としなかった理由、産炭地立地を原則とした石炭火発の増設のため国等への要請の有無、八次政策決定までの具体的働きかけの内容、要請した文書の有無、泊原発原子炉容器搬入の新聞報道に対する受けとめ方等について
質疑、意見及び要望があり、知事から答弁があって、

知事に対する総括質疑を終結。

○7月25日（土） 午前11時22分、第1委員会室において開議、午11前時27分閉会

委員長 長岡 真雄（社会）

① 委員長から、各派代表者会議における意見調整の結果、議案第1号、第23号、第24号、第28号、第31号及び第32号について意見の一致を見るに至らなかった旨報告の後、議案第1号、第23号、第24号、第28号、第31号及び第32号を一括議題とし、直ちに採決に入り、起立採決の結果、起立多数（共産反対）をもって原案のとおり可決することに決定。

次に、議案第2号ないし第6号、第22号、第25号ないし第27号、第29号、第30号、第33号及び第40号を一括議題とし、異議なく原案のとおり可決することに決定。

次に、村田雄平委員（自民）から、本委員会の審議の経過にかんがみ、次の附帯意見を委員長報告に挿入されたい旨の動議を提出、賛成あって動議成立、直ちに議題とし、起立採決に入り、起立多数（共産反対）にて、本動議のとおり附帯意見を附することに決定。

（附帯意見）

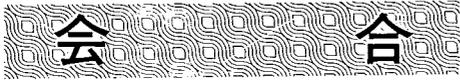
1. 道財政は、最近急激に硬直化が進み、財政の対応力を損なうことも懸念される。

道は、一層行財政の簡素合理化に努め、経費節減を徹底するとともに、財源確保に最善を尽くし、財政の健全化を図るべきである。

2. 今日の本道経済の動向にかんがみ、景気対策関係予算の執行に当たっては、その予算の性格から地元中小企業に十分配慮しつつ、早期発注、予算の完全消化に努めるべきである。

② 付託案件に対する委員長報告について、委員長に一任されたい旨をはかり、異議なく決定。

③ 委員長から、付託案件の審査終了にあたってあいさつがあった。



全国都道府県議会議長会

○6月16日(火) 都道府県会館において臨時総会を開催。下記の事項について協議、決定した。

1. 役員の選任について
2. 各委員会正副委員長の選任について
(会長に徳島県議長、副会長に北海道、福島県、新潟県、石川県、京都府、鳥取県、高知県、福岡県各議長、理事に宮城県、栃木県、静岡県、大阪府、鳥根県、愛媛県、大分県各議長、監事に青森県、福井県、鹿児島県各議長を選任)

○6月16日(火) 全議会議室において新役員初の役員会を開催し、下記の事項について協議決定した。

1. 昭和62年度本会行事計画について
2. 事務総長の人事について
(大嶋事務総長の辞任(6月30日)の申し出を認め、先例にしたがい関係方面と協議の結果、事務総長に、緒方喜祐君を選任することに同意した)

○7月23日(木) 全議会議室において役員会を開催し、下記の事項について協議、いずれも原案のとおり決定。

1. 第89回定例総会の提出議案について
(決議案1件、要望案38件)
2. 第89回定例総会の日程及び運営について
3. 議決事項の運動方法について
(正副会長及び各委員会の正副委員長が関係要望を行うこと)
4. その他
(「地方自治法制行40周年・自治制公布100年記念」の式典等諸行事についての報告)

○7月29日(水) 都道府県会館において第86回定例総会を開催し、下記の事項について審議、

いずれも原案のとおり決定。

(決議)

地方財政の健全化に関する決議

○地方制度委員会関係

1. 地方行財政の充実強化について
2. 青少年の健全育成対策について
3. 警察装備の充実強化について
4. 基地対策について
5. 北方領土の早期返還について

○社会文教委員会関係

1. 老人福祉対策の充実について
2. 国民健康保険制度の改善について
3. 自治体病院等の経営健全化対策について
4. エイズ(後天性免疫不全症候群)対策について
5. 中国残留日本人孤児問題の解決促進について
6. スパイクタイヤ対策について
7. 生活雑排水対策の推進について
8. 沿岸海域の環境浄化対策について
9. 私立学校に対する助成措置の充実について

○商工労働委員会関係

1. 円高不況対策について
2. 電源地域振興のための総合的施策の確立について
3. 水力発電施設周辺地域交付金の交付期間の延長等について
4. 非鉄金属鉱山の救済について
5. 石炭鉱業の安定及び産炭地域の振興対策について
6. 雇用安定対策について

○建設運輸委員会関係

1. 公共事業の推進について
2. 道路整備の促進について
3. 住宅対策の推進について
4. 下水道整備の促進について
5. 高齢化社会の対応した新しいまちづくりの推進について
6. 第四次全国総合開発計画の推進について
7. 地域振興対策の推進について
8. 水資源開発の促進について
9. 地盤液状化防止対策について
10. 新幹線鉄道の建設促進について
11. 空港等の整備促進について

12. 港湾整備事業の推進について

○農林水産委員会関係

1. 農業基本政策の強化について
2. 水田農業確立対策について
3. バイテク農業の開発促進について
4. 森林・林業の活性化について
5. 漁業振興対策について
6. 漁業外交の充実強化について

都道府県議会議員共済会

○6月16日(火) 都道府県会館において、代議員会並びに理事会を開催し、下記の事項について協議決定した。

代議員会 昭和61年度本会決算について
監査結果報告のとおり異議なく認定議決。

理事会 副会長の互選について
布施新潟県議会議長を副会長に選出した。

10都道府県議会議長会(146回)

○1月16日(金) 東京都において開催し、下記の事項について協議、決定した。

1. 前回議決事項の処理結果報告(静岡県)
2. 次回開催地を愛知県に決定
(議案)
 1. 石炭鉱業及び産炭地域振興対策について(北海道)
 2. 雇用対策強化について(神奈川県)
 3. 労働時間短縮と休日増加について(静岡県)
 4. 水資源の安定的確保について(愛知県)
 5. 警察体制の充実強化と警察装備の科学化、近代化の推進について(京都府)
 6. 中国残留日本人孤児の援護について(大阪府)
 7. 雇用の安定と地域経済の振興について(兵庫県)
 8. 雇用対策の抜本的強化措置について(福岡県)

9. 伊豆大島噴火に伴う救済及び火山活動監視体制の強化について(東京都)

10都道府県議会議長会(147回)

○4月16日(木) 愛知県において開催し、下記の事項について協議、決定又は了承した。

1. 前回議決事項の処理結果報告(東京都)
2. 昭和61年度本会経常会費決算報告
3. 次回開催地を京都に決定。
(議案)
 1. 「水力発電施設周辺地域交付金」の交付期間の延長について(北海道提出)
 2. 雇用・産業政策及び中小企業施策の拡充・強化について(神奈川県提出)
 3. 新総合経済対策の早期策定について(京都府提出)
 4. 不況克服と雇用の安定確保について(大阪府提出)
 5. 旧軍人軍属恩給受給資格欠格者の救済について(兵庫県提出)
 6. 円高・造船不況に伴う雇用対策と地域経済振興対策について(広島県提出)
 7. 雇用対策の推進について(愛知県提出)

北海道・東北6県議会議長会(第72回)

○6月8日(月) 山形県天童市において開催。下記の事項について協議、決定した。

1. 前回議決事項の処理結果報告(青森県)
2. 議決事項の処理方法について
3. 次回開催地を宮城県に決定
(議案)
(地方制度委員会)
 1. 地方財政対策の強化について
 2. 北方領土問題等の解決促進について(社会文教委員会)
 3. スパイクタイヤ対策について(商工労働委員会)
 4. 電源地域振興のための総合的施策の確立について(建設運輸委員会)

5. 新幹線鉄道の建設促進について
6. 高速自動車道等の建設促進について
7. 地方空港の整備と国際化について
8. 東北インテリジェント・コスモス構想の
推進について

(農林水産委員会)

9. 食糧管理制度の根幹堅持について
10. 農産物の市場開放問題について
11. 森林・林業の活性化について
12. 国際漁業関連対策の推進について

資 料

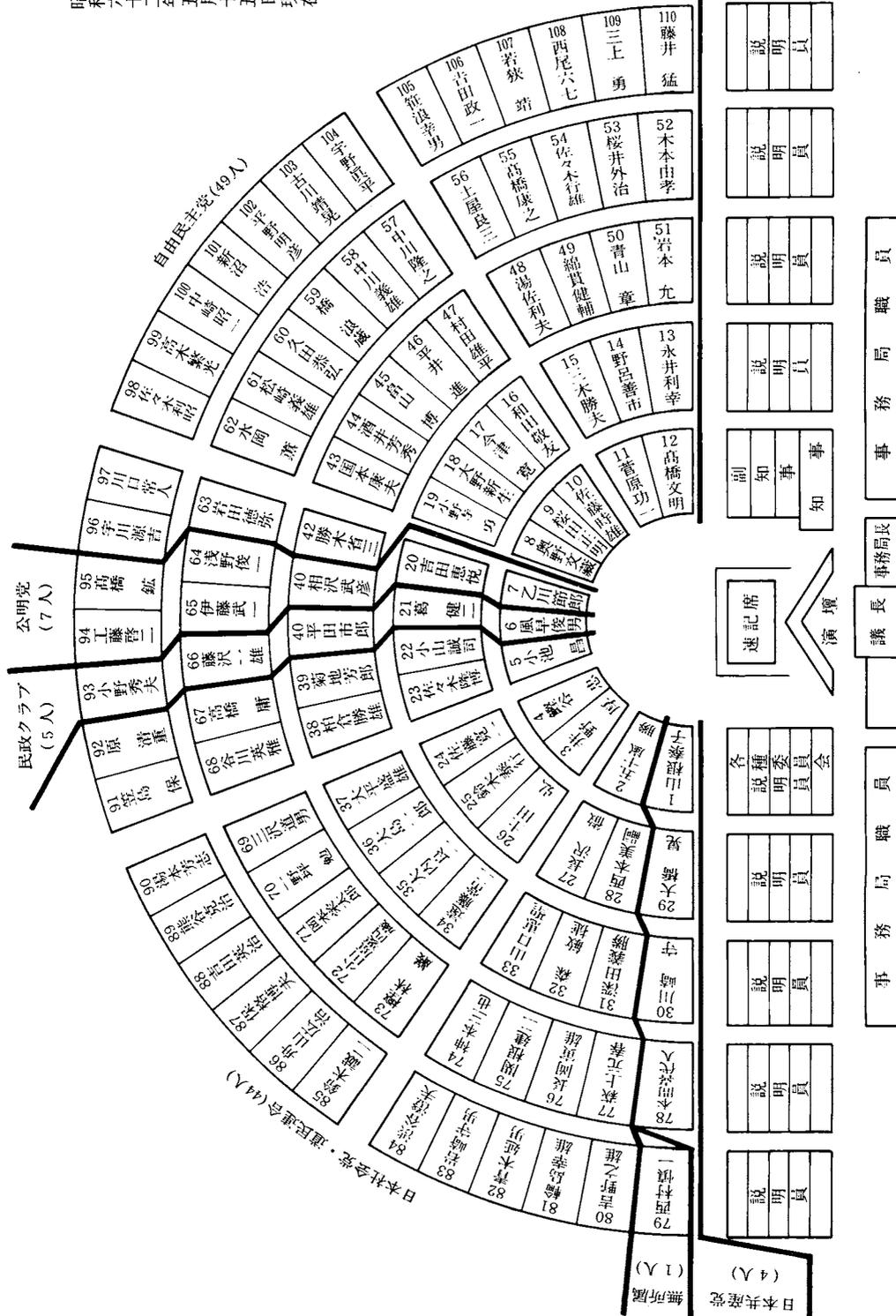
第1回臨時会及び第2回定例会において議決を経た条例の公布調

件 名	議決月日	公布月日	公 布 番 号
北海道税条例の一部を改正する条例	※ 3. 31 (専決処分)	3. 31	北海道条例第13号
北海道立心身障害者総合相談所条例	7. 25	7. 29	北海道条例第15号
北海道家畜商講習手数料条例	同	同	北海道条例第16号
北海道立特殊教育センター条例	同	同	北海道条例第17号
北海道市町村振興基金条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第18号
北海道職員等の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第19号
北海道知事等の退職手当に関する条例	同	同	北海道条例第20号
北海道議会議員その他非常勤職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第21号
北海道恩給条例等の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第22号
北海道税条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第23号
北海道企業立地促進条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第24号
北海道道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第25号
国営土地改良事業負担金等徴収条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第26号
北海道公立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例	同	同	北海道条例第27号
北海道警察組織条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第28号
警察官の職務に協力援助した者の災害給付に関する条例	同	同	北海道条例第29号

※ 条例第13号は3月31日専決処分、5月20日承認議決。

北海道議会議席表

昭和六十二年五月十五日現在



道知事・道議会議員選挙

第11回統一地方選挙は、中曽根政権下、売上税問題など今後の政局、国会運営のゆくえに大きな影響を及ぼすものと注目されるなか、昭和62年4月12日執行された。

まず、道知事選挙は、3月23日告示され、松浦昭氏（無所属新、自民推薦）、山辺富也氏（無所属新、共産推薦）、横路孝弘氏（無所属現、社会・社民連推薦）の3氏が立候補し、21日間の選挙戦がスタートした。

一方、道議会議員選挙は、選挙区等の改正（いわゆる1増1減）後、初の選挙を迎え、4月3日に告示され、札幌市の7区と29市、14支庁の50選挙区で定数110人に対し175人が立候補し、競争率は1.59倍（前回206人立候補、定数110人、競争率1.87倍）とこれまでにない少数激戦となった。

投票は、4月12日に行われ、投票率は知事選

挙78.33%（前回83.89%）、道議選挙78.22%（前回83.80%）となった。

知事選の即日開票は、札幌市、旭川市などの大栗田10市を除く全道202市町村で午後7時過ぎから始まった。

道議選の即日開票は、全道50選挙区の内34選挙区で行われた。

この結果、知事選挙では、横路孝弘氏が当選。道議選挙では、新人が30人（前回28人）、現職議員が76人（前回77人）、元議員4人の計110人が当選。改選前に比べ、自民党は16議席減、社会党は同議席、公明党は1議席増、民社党は議席1を確保、また、共産党は3人増の4議席となった。

なお、道議選では婦人議員（札幌市白石区、共産党）が46年（19期）の選挙以来10数年振りに当選した。

道議選・党派別立候補者数

区分 党派別	現	元	新	計	うち 婦人
自民党	55	0	14	69	0
社会党	27	0	4	31	0
公明党	5	0	2	7	0
民社党	0	0	1	1	0
共産党	1	2	26	29	8
諸派	0	0	1	1	0
無所属	7	2	28	37	1
合計	95	4	76	175	9

道議選・党派別当選者数

区分 党派別	現	元	新	計	うち 婦人	改選前 の勢力
自民党	39	0	6	45	0	61
社会党	27	0	4	31	0	31
公明党	5	0	2	7	0	6
民社党	0	0	1	1	0	0
共産党	1	2	1	4	1	1
諸派	0	0	0	0	0	0
無所属	4	2	16	22	0	8
合計	76	4	30	110	1	107 (欠員3)

北海道知事選挙投票結果調

(昭和62年4月12日執行)

1. 投票結果調

支庁 市別	区 分	選挙当日の有権者数			投票者数			棄権者数			投票率(%)			前回 投票率 (%)
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
石狩	狩	36,461	38,816	75,277	29,101	31,145	60,246	7,360	7,671	15,031	79.81	80.24	80.03	86.21
渡島	島	62,776	69,374	132,150	46,996	56,015	103,011	15,780	13,359	29,139	74.86	80.74	77.95	82.52
松山	山	23,090	25,507	48,597	18,057	21,006	39,063	5,033	4,501	9,534	78.20	82.35	80.38	88.58
後志	志	45,424	50,762	96,186	38,244	42,993	81,237	7,180	7,769	14,949	84.19	84.70	84.46	88.47
空知	知	41,944	46,399	88,343	36,588	40,074	76,662	5,356	6,325	11,681	87.23	86.37	86.78	91.62
上川	川	44,530	48,571	93,101	38,622	41,902	80,524	5,908	6,669	12,577	86.73	86.27	86.49	90.61
留萌	萌	16,621	18,693	35,314	15,339	17,544	32,883	1,282	1,149	2,431	92.29	93.85	93.12	91.59
宗谷	谷	15,458	16,637	32,095	13,481	14,637	28,118	1,977	2,000	3,977	87.21	87.98	87.61	93.06
網走	走	62,442	67,784	130,226	56,763	61,762	118,525	5,679	6,022	11,701	90.91	91.12	91.01	92.49
胆振	振	27,291	29,990	57,281	23,903	26,560	50,463	3,388	3,430	6,818	87.59	88.56	88.10	90.60
日高	高	32,917	35,318	68,235	28,040	30,622	58,662	4,877	4,696	9,573	85.18	86.70	85.97	92.21
十勝	勝	67,920	73,180	141,100	59,663	64,351	124,014	8,257	8,829	17,086	87.84	87.94	87.89	90.90
十勝	路	31,095	32,751	63,846	26,391	28,563	54,954	4,704	4,188	8,892	84.87	87.21	86.07	89.24
根室	室	18,540	18,954	37,494	14,870	15,194	30,064	3,670	3,760	7,430	80.20	80.16	80.18	85.39
支庁計	計	526,509	572,736	1,099,245	446,058	492,368	938,426	80,451	80,368	160,819	84.72	85.97	85.37	89.38
札幌	市	526,939	575,132	1,102,071	370,576	416,744	787,320	156,363	158,388	314,751	70.33	72.46	71.44	78.21
函館	市	101,097	122,887	223,984	69,412	85,090	154,502	31,685	37,797	69,482	68.66	69.24	68.98	79.08
小樽	市	56,803	69,044	125,847	42,999	51,836	94,835	13,804	17,208	31,012	75.70	75.08	75.36	82.71
旭川	市	120,313	135,259	255,572	91,933	104,650	196,583	28,380	30,609	58,989	76.41	77.37	76.92	83.84
室蘭	市	45,455	49,521	94,976	34,637	39,004	73,641	10,818	10,517	21,335	76.20	78.76	77.54	84.53
釧路	市	71,141	77,504	148,645	54,475	62,143	116,618	16,666	15,361	32,027	76.57	80.18	78.45	81.87
帯広	市	54,978	58,965	113,943	41,330	44,998	86,328	13,648	13,967	27,615	75.18	76.31	75.76	82.49
北見	市	35,269	39,062	74,331	28,097	31,868	59,965	7,172	7,194	14,366	79.66	81.58	80.67	84.18
夕張	市	11,221	11,892	23,113	9,576	10,279	19,855	1,645	1,613	3,258	85.34	86.44	85.90	87.64
岩見沢	市	27,208	30,457	57,665	21,060	23,721	44,781	6,148	6,736	12,884	77.40	77.88	77.66	84.39
網走	市	14,388	15,736	30,124	12,043	13,292	25,335	2,345	2,444	4,789	83.70	84.47	84.10	84.95
留萌	市	11,652	12,674	24,326	9,924	10,966	20,890	1,728	1,708	3,436	85.17	86.52	85.88	87.33
苫小牧	市	53,080	56,650	109,730	40,237	44,646	84,883	12,843	12,004	24,847	75.80	78.81	77.36	81.47
稚内	市	17,580	18,721	36,301	13,374	14,511	27,885	4,206	4,210	8,416	76.08	77.51	76.82	85.45
美唄	市	12,715	14,238	26,953	10,151	11,321	21,472	2,564	2,917	5,481	79.83	79.51	79.66	87.87
芦別	市	10,629	11,662	22,291	9,598	10,758	20,356	1,031	904	1,935	90.30	92.25	91.32	92.24
江別	市	30,330	32,253	62,583	23,744	26,223	49,967	6,586	6,030	12,616	78.29	81.30	79.84	84.73
赤平	市	8,092	8,864	16,956	6,768	7,732	14,500	1,324	1,132	2,456	83.64	87.23	85.52	90.25
紋別	市	10,926	11,954	22,880	9,032	10,140	19,172	1,894	1,814	3,708	82.67	84.83	83.79	84.02
士別	市	9,449	10,608	20,057	8,173	9,360	17,533	1,276	1,248	2,524	86.50	88.24	87.42	89.78
名寄	市	11,445	11,779	23,224	10,037	10,387	20,424	1,408	1,392	2,800	87.70	88.18	87.94	87.02
三笠	市	7,615	8,636	16,251	6,546	7,611	14,157	1,069	1,025	2,094	85.96	88.13	87.11	91.12
根室	市	13,240	14,565	27,805	10,427	11,819	22,246	2,813	2,746	5,559	78.75	81.15	80.01	75.59
千歳	市	27,094	24,096	51,190	21,433	18,640	40,073	5,661	5,456	11,117	79.11	77.36	78.28	81.64
滝川	市	17,078	18,942	36,020	14,397	16,003	30,400	2,681	2,939	5,620	84.30	84.48	84.40	87.02

区 分 支 庁 市 別	選挙当日の有権者数			投票者数			棄権者数			投票率(%)			前 回 投票率 (%)
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
砂川市	8,073	9,069	17,142	7,062	8,156	15,218	1,011	913	1,924	87.48	89.93	88.78	93.54
歌志内市	3,492	3,859	7,351	2,929	3,323	6,252	563	536	1,099	83.88	86.11	85.05	88.11
深川市	11,212	12,809	24,021	9,788	11,273	21,061	1,424	1,536	2,960	87.30	88.01	87.68	87.47
富良野市	9,506	10,635	20,141	8,398	9,523	17,921	1,108	1,112	2,220	88.34	89.54	88.98	91.91
登別市	19,424	21,229	40,653	15,749	17,575	33,324	3,675	3,654	7,329	81.08	82.79	81.97	86.21
恵庭市	17,197	16,770	33,967	13,739	13,146	26,885	3,458	3,624	7,082	79.89	78.39	79.15	85.55
伊達市	11,892	13,688	25,580	10,238	11,860	22,098	1,654	1,828	3,482	86.09	86.65	86.39	86.10
市計	1,386,533	1,529,160	2,915,693	1,037,882	1,168,598	2,206,480	348,651	360,562	709,213	74.85	76.42	75.68	81.72
合計	1,913,042	2,101,896	4,014,938	1,483,940	1,660,966	3,144,906	429,102	440,930	870,032	77.57	79.02	78.33	83.89

2. 候補者別得票数調

(1) 支庁・市区別

支 庁 市 別	区 分	松浦 昭	やまべ富也	よこみち孝弘	有効投票	無効投票	投票総数	投票者数
石 渡 検 後 室 上 留 宗 網 胆 日 十 釧 根 支 庁 計	狩 島 山 志 知 川 萌 谷 走 振 高 勝 路 室	17,210 27,808 11,499 26,408 22,966 25,238 10,737 9,742 40,706 15,535 17,612 38,873 20,254 9,599 294,187	2,608 2,531 1,550 3,342 2,189 1,727 437 750 2,169 1,618 2,131 3,672 1,732 796 27,252	40,138 71,718 25,597 50,691 50,866 53,046 21,360 17,397 74,820 32,967 38,510 80,610 32,530 19,498 609,748	59,956 102,057 38,646 80,441 76,021 80,011 32,534 27,889 117,695 50,120 58,253 123,155 54,516 29,893 931,187	283 934 416 794 640 494 347 227 822 341 407 850 433 171 7,159	60,239 102,991 39,062 81,235 76,661 80,505 32,881 28,116 118,517 50,461 58,660 124,005 54,949 30,064 938,346	60,246 103,011 39,063 81,237 76,662 80,524 32,883 28,118 118,525 50,463 58,662 124,014 54,954 30,064 938,426
札 中 北 東 白 豊 南 西 函 小 旭 室	幌 央 区 区 区 石 平 区 区 区 館 樽 市 市 市 蘭 市	206,343 27,631 26,860 29,544 30,993 34,706 23,528 33,081 30,245 23,661 60,771 17,735	42,531 3,589 5,881 8,072 9,348 5,954 2,579 7,108 7,013 7,133 7,452 3,053	533,651 55,458 74,170 77,727 93,750 84,638 47,873 100,035 116,186 63,555 127,166 52,486	782,525 86,678 106,911 115,343 134,091 125,298 73,980 140,224 153,444 94,349 195,389 73,274	4,713 539 632 691 800 805 535 711 1,050 483 1,188 367	787,238 87,217 107,543 116,034 134,891 126,103 74,515 140,935 154,494 94,832 196,577 73,641	787,320 87,217 107,549 116,044 134,901 126,121 74,531 140,957 154,502 94,835 196,583 73,641

支庁市別	区 分	松浦 昭	やまべ富也	よこみち孝弘	有効投票	無効投票	投票総数	投票者数
釧路市		31,407	4,871	79,550	115,828	786	116,614	116,618
帯広市		26,742	3,209	55,895	85,846	478	86,324	86,328
北見市		18,200	1,904	39,608	59,712	247	59,959	59,965
夕張市		2,261	1,011	16,408	19,680	175	19,855	19,855
岩見沢市		11,189	1,884	31,476	44,549	229	44,778	44,781
網走市		6,993	655	17,524	25,172	163	25,335	25,335
留萌市		6,841	374	13,575	20,790	100	20,890	20,890
苫小牧市		21,260	3,512	59,683	84,455	422	84,877	84,883
稚内市		7,977	974	18,726	27,677	202	27,879	27,885
美唄市		5,814	969	14,491	21,274	190	21,464	21,472
芦別市		5,882	487	13,836	20,205	147	20,352	20,356
江別市		12,685	1,905	35,167	49,757	209	49,966	49,967
赤平市		4,177	442	9,796	14,415	84	14,499	14,500
紋別市		6,485	385	11,963	18,833	339	19,172	19,172
士別市		5,180	317	11,914	17,411	122	17,533	17,533
名寄市		7,656	404	12,203	20,263	160	20,423	20,424
三笠市		3,030	421	10,631	14,082	75	14,157	14,157
根室市		6,427	606	14,954	21,987	258	22,245	22,246
千歳市		14,417	952	24,223	39,592	479	40,071	40,073
滝川市		9,536	1,003	19,706	30,245	153	30,398	30,400
砂川市		4,752	411	9,951	15,114	97	15,211	15,218
歌志内市		960	387	4,875	6,222	29	6,251	6,252
深川市		5,685	674	14,564	20,923	138	21,061	21,061
富良野市		6,036	415	11,282	17,733	188	17,921	17,921
登別市		6,508	1,107	25,525	33,140	183	33,323	33,324
恵庭市		10,939	997	14,732	26,668	217	26,885	26,885
伊達市		5,325	894	15,680	21,899	198	22,097	22,098
市 計		593,119	98,352	1,500,982	2,192,453	13,869	2,206,322	2,206,480
合 計		887,306	125,604	2,110,730	3,123,640	21,028	3,144,668	3,144,906

(2) 支庁別町村別

町村名	区 分	松浦 昭	やまべ富也	よこみち孝弘	有効投票	無効投票	投票総数	投票者数
広島町		4,942	914	15,461	21,317	95	21,412	21,416
石狩町		6,409	956	14,968	22,333	66	22,399	22,401
当別町		3,382	551	5,707	9,640	71	9,711	9,712
新篠津村		1,200	59	1,402	2,661	12	2,673	2,673
厚田村		562	39	1,293	1,894	10	1,904	1,904
浜益村		715	89	1,307	2,111	29	2,140	2,140
石狩支庁計		17,210	2,608	40,138	59,956	283	60,239	60,246
松前町		2,596	176	5,656	8,428	97	8,525	8,527
福島町		1,527	120	3,249	4,896	53	4,949	4,949

町 村 名	区 分	松浦 昭	やまべ富也	よこみち孝弘	有効投票	無効投票	投票総数	投票者数
知 内 町		1,412	54	2,266	3,732	41	3,773	3,775
木 古 内 町		1,420	87	3,575	5,082	35	5,117	5,119
上 磯 町		3,445	522	11,919	15,886	233	16,119	16,119
大 野 町		1,220	164	4,002	5,386	30	5,416	5,416
七 飯 町		2,405	309	9,928	12,642	39	12,681	12,681
戸 井 町		1,190	53	1,793	3,036	34	3,070	3,070
恵 山 町		1,056	68	2,492	3,616	60	3,676	3,683
機 法 華 町		417	26	738	1,181	8	1,189	1,189
南 茅 部 町		2,050	90	3,409	5,549	50	5,599	5,599
鹿 部 町		918	34	1,595	2,547	29	2,576	2,576
砂 原 町		1,005	49	1,911	2,965	23	2,988	2,991
森 町		2,935	196	6,715	9,846	89	9,935	9,936
八 雲 町		2,668	337	8,287	11,292	69	11,361	11,363
長 万 部 町		1,544	246	4,183	5,973	44	6,017	6,018
渡 島 支 庁 計		27,808	2,531	71,718	102,057	934	102,991	103,011
江 差 町		1,760	359	4,999	7,118	100	7,218	7,218
上 ノ 国 町		1,462	176	3,143	4,781	59	4,840	4,840
厚 沢 部 町		1,184	142	2,672	3,998	32	4,030	4,031
乙 部 町		1,083	210	2,217	3,510	38	3,548	3,548
熊 石 町		651	78	2,219	2,948	36	2,984	2,984
大 成 町		709	86	1,480	2,275	38	2,313	2,313
奥 尻 町		1,083	75	1,550	2,708	36	2,744	2,744
瀬 棚 町		848	62	1,106	2,016	20	2,036	2,036
北 檜 山 町		1,195	208	3,008	4,411	21	4,432	4,432
今 金 町		1,524	154	3,203	4,881	36	4,917	4,917
桧 山 支 庁 計		11,499	1,550	25,597	38,646	416	39,062	39,063
島 牧 村		772	67	1,071	1,910	19	1,929	1,929
寿 都 町		962	223	2,098	3,283	33	3,316	3,316
黒 松 内 町		769	311	1,699	2,779	29	2,808	2,808
蘭 越 町		1,570	101	3,250	4,921	81	5,002	5,002
ニ セ コ 町		1,154	105	1,727	2,986	16	3,002	3,002
真 狩 村		819	27	1,124	1,970	19	1,989	1,989
留 寿 都 村		533	39	854	1,426	19	1,445	1,445
喜 茂 別 町		767	36	1,673	2,476	28	2,504	2,504
京 極 町		1,037	23	1,519	2,579	19	2,598	2,599
俱 知 安 町		3,417	290	6,987	10,694	91	10,785	10,786
共 和 町		1,777	65	3,114	4,956	41	4,997	4,997
岩 内 町		3,462	417	7,778	11,657	83	11,740	11,740
泊 村		539	91	1,117	1,747	64	1,811	1,811
神 恵 内 村		339	49	767	1,155	15	1,170	1,170
積 丹 町		944	59	1,730	2,733	52	2,785	2,785
古 平 町		1,243	119	1,896	3,258	38	3,296	3,296
仁 木 町		1,089	203	1,863	3,155	46	3,201	3,201
余 市 町		4,887	1,057	9,868	15,812	93	15,905	15,905

区 分 町 村 名	松浦	昭	やまべ富也	よこみち孝弘	有効投票	無効投票	投票総数	投票者数
赤井川村	328		60	556	944	8	952	952
後志支庁計	26,408		3,342	50,691	80,441	794	81,235	81,237
北村	1,113		64	1,916	3,093	28	3,121	3,121
栗沢町	1,627		149	4,718	6,494	26	6,520	6,520
南幌町	1,348		94	2,256	3,698	28	3,726	3,726
奈井江町	1,578		259	3,546	5,383	26	5,409	5,409
上砂川町	769		351	4,445	5,565	47	5,612	5,612
由仁町	1,612		90	3,558	5,260	26	5,286	5,286
長沼町	2,342		265	5,218	7,825	89	7,914	7,914
栗山町	2,874		257	7,264	10,395	68	10,463	10,463
月形町	1,078		70	2,251	3,399	60	3,459	3,460
浦臼町	962		42	1,322	2,326	13	2,339	2,339
新十津川町	1,915		159	3,887	5,961	43	6,004	6,004
妹背牛町	1,336		71	2,073	3,480	67	3,547	3,547
秩父別町	1,061		61	1,434	2,556	22	2,578	2,578
雨竜町	774		64	1,796	2,634	17	2,651	2,651
北竜町	666		33	1,486	2,185	15	2,200	2,200
沼田町	1,209		98	2,400	3,707	52	3,759	3,759
幌加内町	702		62	1,296	2,060	13	2,073	2,073
空知支庁計	22,966		2,189	50,866	76,021	640	76,661	76,662
鷹栖町	1,454		125	3,066	4,645	23	4,668	4,668
東神楽町	540		66	2,865	3,471	17	3,488	3,488
当麻町	1,775		99	3,860	5,734	37	5,771	5,772
比布町	1,227		169	1,976	3,372	11	3,383	3,383
愛別町	1,350		78	1,916	3,344	10	3,354	3,354
上川町	963		121	3,261	4,345	25	4,370	4,370
東川町	1,401		124	2,943	4,468	25	4,493	4,493
美瑛町	2,098		240	6,622	8,960	44	9,004	9,004
上富良野町	3,449		129	4,645	8,223	57	8,280	8,290
中富良野町	1,585		54	2,676	4,315	15	4,330	4,330
南富良野町	528		38	1,902	2,468	24	2,492	2,493
占冠村	341		15	614	970	2	972	972
和寒町	1,361		83	2,664	4,108	55	4,163	4,168
剣淵町	835		101	2,212	3,148	20	3,168	3,168
朝日町	785		39	1,058	1,882	8	1,890	1,890
風連町	1,540		42	2,779	4,361	22	4,383	4,383
下川町	1,216		50	2,524	3,790	28	3,818	3,820
美深町	1,786		104	3,323	5,213	51	5,264	5,264
音威子府村	312		23	771	1,106	6	1,112	1,112
中川町	692		27	1,369	2,088	14	2,102	2,102
上川支庁計	25,238		1,727	53,046	80,011	494	80,505	80,524
増毛町	1,801		100	3,514	5,415	50	5,465	5,465
小平町	1,246		31	2,720	3,997	48	4,045	4,045

町 村 名	区 分	松浦	昭	やまべ富也	よこみち孝弘	有効投票	無効投票	投票総数	投票者数
苫 前 町		1,296		37	2,546	3,879	22	3,901	3,901
羽 幌 町		2,082		102	6,151	8,335	64	8,399	8,400
初 山 別 村		567		25	1,030	1,622	13	1,635	1,636
遠 別 町		1,242		47	1,932	3,221	34	3,255	3,255
天 塩 町		1,352		40	2,341	3,733	45	3,778	3,778
幌 延 町		1,151		55	1,126	2,332	71	2,403	2,403
留 萌 支 庁 計		10,737		437	21,360	32,534	347	32,881	32,883
猿 払 村		801		57	1,300	2,158	7	2,165	2,166
浜 頓 別 町		1,224		103	2,399	3,726	22	3,748	3,749
中 頓 別 町		663		114	1,541	2,318	22	2,340	2,340
枝 幸 町		2,019		122	3,251	5,392	41	5,433	5,433
歌 登 町		834		45	1,259	2,138	18	2,156	2,156
豊 富 町		1,018		115	2,766	3,899	40	3,939	3,939
礼 文 町		976		56	1,835	2,867	27	2,894	2,894
利 尻 町		1,033		60	1,401	2,494	26	2,520	2,520
東 利 尻 町		1,174		78	1,645	2,897	24	2,921	2,921
宗 谷 支 庁 計		9,742		750	17,397	27,889	227	28,116	28,118
東 藻 琴 村		826		43	1,240	2,109	6	2,115	2,115
女 満 別 町		1,605		41	2,634	4,280	15	4,295	4,295
美 幌 町		6,200		269	10,164	16,633	90	16,723	16,723
津 別 町		1,602		149	3,984	5,735	66	5,801	5,801
斜 里 町		2,934		224	6,727	9,885	65	9,950	9,950
清 里 町		1,374		38	2,896	4,308	29	4,337	4,338
小 清 水 町		1,425		155	3,184	4,764	22	4,786	4,786
端 野 町		1,294		63	2,107	3,464	12	3,476	3,476
訓 子 府 町		1,680		111	3,001	4,792	24	4,816	4,816
置 戸 町		1,170		50	2,552	3,772	21	3,793	3,793
留 辺 薬 町		2,384		172	5,686	8,242	47	8,289	8,289
佐 呂 間 町		1,997		98	3,352	5,447	48	5,495	5,495
常 呂 町		1,538		57	2,242	3,837	25	3,862	3,862
生 田 原 町		774		43	1,601	2,418	37	2,455	2,455
遠 軽 町		4,772		287	7,902	12,961	83	13,044	13,048
丸 瀬 布 町		815		36	1,213	2,064	29	2,093	2,093
白 滝 村		494		10	667	1,171	14	1,185	1,185
上 湧 別 町		1,790		64	3,166	5,020	42	5,062	5,062
湧 別 町		1,661		33	2,310	4,004	80	4,084	4,084
滝 上 町		1,225		46	2,283	3,554	16	3,570	3,572
興 部 町		1,217		66	2,748	4,031	17	4,048	4,048
西 興 部 村		289		30	682	1,001	8	1,009	1,009
雄 武 町		1,640		84	2,479	4,203	26	4,229	4,230
網 走 支 庁 計		40,706		2,169	74,820	117,695	822	118,517	118,525
豊 浦 町		1,380		148	2,347	3,875	40	3,915	3,915
虻 田 町		1,511		182	5,166	6,859	38	6,897	6,897

町 村 名	区 分		やまべ富也	よこみち孝弘	有効投票	無効投票	投票総数	投票者数
	松浦	昭						
洞 爺 村	564	36	36	859	1,459	10	1,469	1,469
大 滝 村	347	49	49	655	1,051	17	1,068	1,068
壮 警 町	727	53	53	1,787	2,567	17	2,584	2,584
白 老 町	4,296	440	440	10,099	14,835	99	14,934	14,934
早 来 町	1,395	85	85	2,196	3,676	12	3,688	3,688
追 分 町	1,006	203	203	1,714	2,923	7	2,930	2,930
厚 真 町	1,496	94	94	2,724	4,314	27	4,341	4,341
鵜 川 町	1,779	232	232	3,356	5,367	37	5,404	5,404
穂 別 町	1,034	96	96	2,064	3,194	37	3,231	3,233
胆 振 支 庁 計	15,535	1,618	1,618	32,967	50,120	341	50,461	50,463
日 高 町	578	77	77	1,281	1,936	9	1,945	1,946
平 取 町	1,448	144	144	3,236	4,828	42	4,870	4,870
門 別 町	2,472	287	287	5,515	8,274	43	8,317	8,317
新 冠 町	1,239	136	136	2,732	4,107	17	4,124	4,124
静 内 町	4,439	519	519	9,504	14,462	106	14,568	14,569
三 石 町	1,387	110	110	2,736	4,233	36	4,269	4,269
浦 河 町	2,644	657	657	7,764	11,065	96	11,161	11,161
様 似 町	1,702	85	85	2,993	4,780	34	4,814	4,814
え り も 町	1,703	116	116	2,749	4,568	24	4,592	4,592
日 高 支 庁 計	17,612	2,131	2,131	38,510	58,253	407	58,660	58,662
音 更 町	6,420	712	712	13,055	20,187	121	20,308	20,309
上 幌 町	1,415	250	250	2,903	4,568	28	4,596	4,596
上 士 幌 町	1,445	90	90	2,991	4,526	33	4,559	4,559
鹿 追 町	1,647	80	80	2,537	4,264	42	4,306	4,306
新 得 町	1,720	109	109	3,837	5,666	30	5,696	5,696
清 水 町	2,489	209	209	5,012	7,710	47	7,757	7,757
芽 室 町	3,275	388	388	6,800	10,463	77	10,540	10,540
中 札 内 村	726	87	87	1,787	2,600	12	2,612	2,612
更 別 町	878	48	48	1,408	2,334	16	2,350	2,352
忠 類 村	414	26	26	958	1,398	14	1,412	1,412
大 樹 町	1,698	99	99	3,321	5,118	34	5,152	5,152
広 尾 町	2,400	194	194	3,972	6,566	64	6,630	6,630
幕 別 町	3,354	598	598	8,998	12,950	114	13,064	13,064
池 田 町	2,094	142	142	4,755	6,991	36	7,027	7,029
豊 頃 町	1,128	74	74	2,429	3,631	15	3,646	3,646
本 別 町	2,398	110	110	5,207	7,715	63	7,778	7,779
足 寄 町	2,395	267	267	4,769	7,431	58	7,489	7,489
陸 別 町	971	77	77	1,997	3,045	23	3,068	3,069
浦 幌 町	2,006	112	112	3,874	5,992	23	6,015	6,017
十 勝 支 庁 計	38,873	3,672	3,672	80,610	123,155	850	124,005	124,014
釧 路 町	3,272	333	333	4,793	8,398	62	8,460	8,460
厚 岸 町	3,487	394	394	5,353	9,234	80	9,314	9,314
浜 中 町	2,216	129	129	3,125	5,470	32	5,502	5,503

町 村 名	区 分	松浦 昭	やまべ富也	よこみち孝弘	有効投票	無効投票	投票総数	投票者数
標 茶 町		2,855	284	3,976	7,115	75	7,190	7,190
弟 子 屈 町		2,295	127	4,635	7,057	39	7,096	7,097
阿 寒 町		1,786	92	2,730	4,608	52	4,660	4,660
鶴 居 村		896	92	745	1,733	14	1,747	1,747
白 糠 町		2,509	237	5,902	8,648	61	8,709	8,712
音 別 町		938	44	1,271	2,253	18	2,271	2,271
釧 路 支 庁 計		20,254	1,732	32,530	54,516	433	54,949	54,954
別 海 町		3,954	402	6,060	10,416	72	10,488	10,488
中 標 津 町		3,051	247	7,724	11,022	66	11,088	11,088
標 津 町		1,257	85	2,934	4,276	17	4,293	4,293
羅 臼 町		1,337	62	2,780	4,179	16	4,195	4,195
根 室 支 庁 計		9,599	796	19,498	29,893	171	30,064	30,064

北海道議会議員選挙投票結果調

(昭和62年4月12日執行)

1. 投票結果調

支庁 市別	選挙当日の有権者数			投票者数			棄権者数			投票率(%)			前回 投票率 (%)
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
石狩	36,461	38,816	75,277	29,042	31,097	60,139	7,419	7,719	15,138	79.65	80.11	79.89	86.07
渡島	62,776	69,374	132,150	46,902	55,946	102,848	15,874	13,428	29,302	74.71	80.64	77.83	82.45
松山	23,090	25,507	48,597	18,005	20,977	38,982	5,085	4,530	9,615	77.98	82.24	80.21	88.48
後志	45,424	50,762	96,186	38,159	42,939	81,098	7,265	7,823	15,088	84.01	84.59	84.31	88.41
空知	53,051	58,894	111,945	46,019	50,953	96,972	7,032	7,941	14,973	86.74	86.52	86.62	91.27
上川	44,530	48,571	93,101	38,497	41,794	80,291	6,033	6,777	12,810	86.45	86.05	86.24	90.49
留萌	16,621	18,693	35,314	15,310	17,516	32,826	1,311	1,177	2,488	92.11	93.70	92.95	91.47
宗谷	15,458	16,637	32,095	13,367	14,550	27,917	2,091	2,087	4,178	86.47	87.46	86.98	92.72
網走	62,442	67,784	130,226	56,640	61,655	118,295	5,802	6,129	11,931	90.71	90.96	90.84	92.43
胆振	27,291	29,990	57,281	23,862	26,522	50,384	3,429	3,468	6,897	87.44	88.44	87.96	90.54
日高	32,917	35,318	68,235	28,004	30,582	58,586	4,913	4,736	9,649	85.07	86.59	85.86	92.15
十勝	67,920	73,180	141,100	59,524	64,238	123,762	8,396	8,942	17,338	87.64	87.78	87.71	90.83
釧路	31,095	32,751	63,846	26,341	28,529	54,870	4,754	4,222	8,976	84.71	87.11	85.94	89.19
根室	18,540	18,954	37,494	14,799	15,141	29,940	3,741	3,813	7,554	79.82	79.88	79.85	85.21
支庁計	537,616	585,231	1,122,847	454,471	502,439	956,910	83,145	82,792	165,937	84.53	85.85	85.22	89.31
札幌	526,939	575,132	1,102,071	370,194	416,437	786,631	156,745	158,695	315,440	70.25	72.41	71.38	78.13
函館	101,097	122,887	223,984	69,276	84,999	154,275	31,821	37,888	69,709	68.52	69.17	68.88	79.01
小樽	56,803	69,044	125,847	42,957	51,794	94,751	13,846	17,250	31,096	75.62	75.02	75.29	82.64
旭川	120,313	135,259	255,572	91,832	104,513	196,345	28,481	30,746	59,227	76.33	77.27	76.83	83.69
室蘭	45,455	49,521	94,976	34,608	38,977	73,585	10,847	10,544	21,391	76.14	78.71	77.48	84.50
釧路	71,141	77,504	148,645	54,448	62,085	116,533	16,693	15,419	32,112	76.54	80.11	78.40	81.81
帯広	54,978	58,965	113,943	41,272	44,949	86,221	13,706	14,016	27,722	75.07	76.23	75.67	82.40
北見	35,269	39,062	74,331	28,042	31,809	59,851	7,227	7,253	14,480	79.51	81.43	80.52	84.03
夕張	11,221	11,892	23,113	9,553	10,263	19,816	1,668	1,629	3,297	85.14	86.30	85.74	87.49
岩見沢	27,208	30,457	57,665	21,150	23,789	44,939	6,058	6,668	12,726	77.73	78.11	77.93	84.67
網走	14,388	15,736	30,124	12,016	13,287	25,303	2,372	2,449	4,821	83.51	84.44	84.00	84.74
留萌	11,652	12,674	24,326	9,880	10,940	20,820	1,772	1,734	3,506	84.79	86.32	85.59	87.21
苫小牧	53,080	56,650	109,730	40,234	44,621	84,855	12,846	12,029	24,875	75.80	78.77	77.33	81.45
稚内	17,580	18,721	36,301	13,414	14,337	27,751	4,166	4,384	8,550	76.30	76.58	76.45	85.29
美唄	12,715	14,238	26,953	10,122	11,303	21,425	2,593	2,935	5,528	79.61	79.39	79.49	87.75
芦別	10,629	11,662	22,291	9,597	10,758	20,355	1,032	904	1,936	90.29	92.25	91.31	92.18
江別	30,330	32,253	62,583	23,702	26,194	49,896	6,628	6,059	12,687	78.15	81.21	79.73	84.61
赤平	8,092	8,864	16,956	6,762	7,726	14,488	1,330	1,138	2,468	83.56	87.16	85.44	90.21
紋別	10,926	11,954	22,880	8,991	10,113	19,104	1,935	1,841	3,776	82.29	84.60	83.50	83.93
土別	9,449	10,608	20,057	8,144	9,328	17,472	1,305	1,280	2,585	86.19	87.93	87.11	89.68
名寄	11,445	11,779	23,224	10,003	10,361	20,364	1,442	1,418	2,860	87.40	87.96	87.69	86.74
根室	13,240	14,565	27,805	10,423	11,814	22,237	2,817	2,751	5,568	78.72	81.11	79.97	75.51
千歳	27,094	24,096	51,190	21,363	18,608	39,971	5,731	5,488	11,219	78.85	77.22	78.08	81.54
滝川	17,078	18,942	36,020	14,382	15,992	30,374	2,696	2,950	5,646	84.21	84.43	84.33	86.97
砂川	8,073	9,069	17,142	7,059	8,152	15,211	1,014	917	1,931	87.44	89.89	88.74	93.49

支庁 市別	選挙当日の有権者数			投票者数			棄権者数			投票率(%)			前回 投票率 (%)
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
深川市	11,212	12,809	24,021	9,775	11,259	21,034	1,437	1,550	2,987	87.18	87.90	87.57	87.38
富良野市	9,506	10,635	20,141	8,387	9,511	17,898	1,119	1,124	2,243	88.23	89.43	88.86	91.86
登別市	19,424	21,229	40,653	15,737	17,555	33,292	3,687	3,674	7,361	81.02	82.69	81.89	86.12
恵庭市	17,197	16,770	33,967	13,717	13,130	26,847	3,480	3,640	7,120	79.76	78.29	79.04	85.47
伊達市	11,892	13,688	25,580	10,227	11,849	22,076	1,665	1,839	3,504	86.00	86.56	86.30	85.95
市計	1,375,426	1,516,665	2,892,091	1,027,267	1,156,453	2,183,720	348,159	360,212	708,371	74.69	76.25	75.51	81.56
合計	1,913,042	2,101,896	4,014,938	1,481,738	1,658,892	3,140,630	431,304	443,004	874,308	77.45	78.92	78.22	83.80

2. 候補者別得票数調

石狩支庁 (定数 2人)

区分 町村名	高橋 よう (社・現)	永井 利幸 (自・新)	大井 和憲 (無・新)							有効投票	無効投票	投票総数	投票者数
広島町	11,418	3,699	5,739							20,856	522	21,378	21,378
石狩町	9,418	9,861	2,665							21,944	425	22,369	22,370
当別町	3,937	3,687	1,806							9,430	268	9,698	9,699
新篠津村	839	1,295	490							2,624	42	2,666	2,666
厚田村	944	643	277							1,864	31	1,895	1,895
浜益村	1,183	700	173							2,056	75	2,131	2,131
合 計	27,739	19,885	11,150							58,774	1,363	60,137	60,139

渡島支庁 (定数 4人)

区分 町村名	長岡とらお (社・現)	のろ 香市 (自・新)	はせ 保和 (自・新)	中崎 昭一 (自・現)	川村 正 (自・新)	三沢 道男 (無・現)				有効投票	無効投票	投票総数	投票者数
松前町	1,265	127	1,576	676	4,681	67				8,392	112	8,504	8,504
福島町	789	315	577	958	2,159	62				4,860	81	4,941	4,941
知内町	1,029	189	615	1,040	619	201				3,693	74	3,767	3,769
木古内町	1,666	1,005	268	954	935	207				5,035	74	5,109	5,109
上磯町	8,739	1,143	1,961	2,437	1,047	451				15,778	327	16,105	16,105
大野町	2,663	251	372	1,040	679	329				5,334	79	5,413	5,414
七飯町	1,976	715	574	4,464	619	4,072				12,420	233	12,653	12,653
戸井町	111	377	1,088	751	400	291				3,018	46	3,064	3,064
恵山町	96	1,749	249	657	386	449				3,586	83	3,669	3,676
般法華村	44	231	264	262	67	289				1,157	33	1,190	1,190
南茅部町	247	403	3,106	884	336	539				5,515	75	5,590	5,590
鹿部町	178	535	662	579	136	433				2,523	50	2,573	2,573
砂原町	263	845	450	575	284	531				2,948	43	2,991	2,991
森町	1,569	5,012	411	821	330	1,647				9,790	127	9,917	9,921
八雲町	285	884	338	1,491	437	7,757				11,192	139	11,331	11,333

長万部町	295	279	765	942	624	2,962	5,867	147	6,014	6,015
合 計	21,215	14,060	13,276	18,531	13,739	20,287	101,108	1,723	102,831	102,848

檜山支庁 (定数 2人)

区 町村名	水上 康男 (共・新)	小田原 ぼしろう (社・現)	松崎 義雄 (白・現)				有効投票 無効投票	投票総数	投票者数
江差町	459	3,875	2,744				7,078	7,208	7,208
上ノ国町	193	2,376	2,187				4,756	4,838	4,838
厚沢部町	172	1,908	1,895				3,975	4,031	4,031
乙部町	310	1,553	1,601				3,464	3,535	3,535
熊石町	135	1,696	1,060				2,891	2,972	2,972
大成町	180	1,068	985				2,233	2,301	2,301
奥尻町	79	1,110	1,476				2,665	2,738	2,738
瀬棚町	161	825	954				1,940	2,029	2,030
北檜山町	1,097	1,955	1,277				4,329	4,419	4,419
今金町	367	2,548	1,855				4,770	4,908	4,910
合 計	3,153	18,914	16,034				38,101	38,979	38,982

後志支庁 (定数 3人)

区 町村名	吉野ゆきお (社・現)	中川たかゆき (白・現)	さとうときお (無・新)	かじ 政泰 (白・新)	渡辺まごじ (共・新)		有効投票 無効投票	投票総数	投票者数
島牧村	486	545	494	302	72		1,899	1,922	1,923
寿都町	1,186	807	837	167	247		3,244	3,294	3,294
黒松内町	1,114	530	791	101	221		2,757	2,804	2,804
蘭越町	1,879	1,148	1,437	328	98		4,890	4,994	4,994
ニセコ町	740	383	1,634	71	130		2,958	2,997	2,997
真狩村	616	279	818	192	49		1,954	1,987	1,987
留寿都村	450	285	553	87	48		1,423	1,443	1,443
喜茂別町	1,054	489	795	80	25		2,443	2,494	2,494
京極町	861	334	1,219	131	21		2,566	2,597	2,597

区 町村名	吉野ゆきお (社・現)	中川たかゆき (白・現)	さとうときお (無・新)	かじ 政泰 (白・新)	渡辺まさじ (共・新)	有効投票	無効投票	投票総数	投票者数
供知安町	3,885	801	5,159	381	363	10,589	172	10,761	10,762
共和町	2,572	1,559	631	123	60	4,945	47	4,992	4,993
岩内町	3,222	6,613	982	306	505	11,628	104	11,732	11,732
泊村	654	655	230	41	130	1,710	92	1,802	1,802
神慈内村	387	410	228	65	50	1,140	29	1,169	1,169
釧丹町	636	760	289	911	113	2,709	68	2,777	2,777
古平町	605	551	694	1,161	239	3,250	45	3,295	3,295
仁木町	785	402	367	1,302	278	3,134	60	3,194	3,194
余市町	2,754	967	1,130	9,064	1,830	15,745	145	15,890	15,891
赤井川村	235	272	191	163	79	940	10	950	950
合 計	24,121	17,790	18,479	14,976	4,558	79,924	1,170	81,094	81,098

空 知 支 庁 (定数 3人)

区 町村名	一の坪 勉 (社・現)	大野 新生 (白・現)	川口 常人 (白・現)	林 貞晴 (共・新)	有効投票	無効投票	投票総数	投票者数
北 村	490	1,893	598	80	3,061	58	3,119	3,119
栗 沢 町	1,901	1,534	2,744	263	6,442	70	6,512	6,512
南 幌 町	627	734	2,194	116	3,671	57	3,728	3,728
奈井江町	1,593	1,796	1,343	572	5,304	101	5,405	5,405
上砂川町	3,413	498	879	639	5,429	179	5,608	5,608
由 仁 町	1,319	715	3,031	139	5,204	79	5,283	5,283
長 沼 町	1,477	1,352	4,459	445	7,733	175	7,908	7,908
栗 山 町	2,120	256	7,577	368	10,321	123	10,444	10,448
月 形 町	699	1,884	670	102	3,355	95	3,450	3,450
浦 白 町	180	1,984	87	67	2,318	19	2,337	2,337
新十津川町	1,189	3,193	1,257	272	5,911	93	6,004	6,004
妹背牛町	618	1,745	931	138	3,432	112	3,544	3,544
秩父別町	434	1,243	774	82	2,533	45	2,578	2,578

兩 竜 町	695	1,117	678	117	2,607	42	2,649	2,649
北 竜 町	379	1,099	641	60	2,179	19	2,198	2,198
沼 田 町	694	1,898	897	183	3,672	84	3,756	3,756
幌 加 内 町	529	841	560	99	2,029	40	2,069	2,069
町 村 計	18,357	23,782	29,320	3,742	75,201	1,391	76,592	76,592
三 笠 市	10,003	1,404	1,768	710	13,885	249	14,134	14,135
歌 志 内 市	3,581	469	1,168	817	6,035	206	6,241	6,241
市 計	13,584	1,873	2,936	1,527	19,920	455	20,375	20,376
合 計	31,941	25,655	32,256	5,269	95,121	1,846	96,967	96,972

上 川 支 庁 (定数 3人)

区 分 町村名	しばやま昌春 (共・新)	しぶや澄夫 (社・現)	平井 進 (自・現)	西尾 六七 (自・現)	有効投票	無効投票	投票総数	投票者数
聽 檜 町	217	2,271	660	1,436	4,584	77	4,661	4,661
東 神 楽 町	127	2,089	420	771	3,407	67	3,474	3,474
当 麻 町	180	2,033	825	2,617	5,655	106	5,761	5,761
比 布 町	234	1,430	521	1,137	3,322	58	3,380	3,380
愛 別 町	95	962	606	1,652	3,315	37	3,352	3,352
上 川 町	659	1,977	452	1,220	4,308	56	4,364	4,364
東 川 町	212	1,814	717	1,655	4,398	83	4,481	4,481
美 英 町	396	3,457	3,705	1,273	8,831	140	8,971	8,971
上 富 良 野 町	171	1,269	6,025	681	8,146	116	8,262	8,269
中 富 良 野 町	101	1,228	2,462	474	4,265	53	4,318	4,318
南 富 良 野 町	73	1,452	437	460	2,422	60	2,482	2,483
占 冠 村	18	500	271	161	950	19	969	969
和 寒 町	106	2,602	62	1,309	4,079	81	4,160	4,165
剣 淵 町	149	1,475	79	1,393	3,096	56	3,152	3,152
朝 日 町	39	800	24	1,006	1,869	20	1,889	1,889
風 連 町	73	1,584	87	2,557	4,301	69	4,370	4,370
下 川 町	65	1,627	60	1,974	3,726	73	3,799	3,801

区分 町村名	しばやま春 (共・新)	しばやま春 (社・現)	平井 進 (自・現)	西尾 六七 (自・現)					有効投票	無効投票	投票総数	投票者数
美 深 町	97	960	44	4,074					5,175	67	5,242	5,242
音 威 子 府 村	36	551	62	438					1,087	11	1,098	1,098
中 川 町	37	881	31	1,105					2,054	37	2,091	2,091
合 計	3,085	30,962	17,550	27,393					78,990	1,286	80,276	80,291

留 萌 支 庁 (定数 1人)

区分 町村名	石山 直行 (自・現)	ふじさわ一雄 (無・新)							有効投票	無効投票	投票総数	投票者数
増 毛 町	2,502	2,894							5,396	58	5,454	5,455
小 平 町	1,847	2,150							3,997	43	4,040	4,040
苫 前 町	1,888	1,972							3,860	31	3,891	3,891
羽 幌 町	1,720	6,609							8,329	65	8,394	8,394
初 山 別 村	721	895							1,616	15	1,631	1,632
速 別 町	1,925	1,300							3,225	23	3,248	3,248
天 塩 町	2,499	1,229							3,728	42	3,770	3,770
幌 延 町	1,389	907							2,296	100	2,396	2,396
合 計	14,491	17,956							32,447	377	32,824	32,826

宗 谷 支 庁 (定数 1人)

区分 町村名	ゆさ 利夫 (自・現)	長谷川晋市 (無・新)	谷 弘子 (共・新)						有効投票	無効投票	投票総数	投票者数
猿 払 村	1,141	820	161						2,122	31	2,153	2,153
浜 頓 別 町	1,663	1,747	234						3,644	86	3,730	3,731
中 頓 別 町	1,007	1,011	249						2,267	55	2,322	2,322
枝 幸 町	3,221	1,605	474						5,300	130	5,430	5,430
歌 登 町	1,101	910	101						2,112	24	2,136	2,136
豊 富 町	1,550	1,640	626						3,816	100	3,916	3,916

礼文町	1,880	721	162									2,763	72	2,835	2,835
利尻町	1,669	583	156									2,408	89	2,497	2,497
東利尻町	2,185	567	93									2,845	52	2,897	2,897
合 計	15,417	9,604	2,256									27,277	639	27,916	27,917

網走支庁 (定数 4人)

区 分 町村名	青山 正男 (自・現)	土田 弘 (無・新)	三上 勇 (自・現)	たかはし文明 (自・新)	大島 一郎 (社・現)	有効投票 数	無効投票 数	投票総数	投票者数
東藻琴村	63	640	668	526	202	2,099	15	2,114	2,114
女満別町	361	383	1,333	1,280	901	4,258	35	4,293	4,293
美幌町	191	4,979	8,611	2,159	629	16,569	134	16,703	16,705
津別町	115	2,359	1,771	905	555	5,705	84	5,789	5,789
斜里町	304	3,651	292	4,740	817	9,804	142	9,946	9,946
清里町	153	1,813	423	1,603	299	4,291	31	4,322	4,323
小水清町	64	1,478	180	2,857	142	4,721	53	4,774	4,774
端野町	346	532	673	1,001	889	3,441	29	3,470	3,470
訓子府町	932	1,570	657	1,219	370	4,748	59	4,807	4,807
置戸町	208	1,878	619	745	301	3,751	27	3,778	3,778
留辺蘆町	1,121	3,355	1,801	1,146	767	8,190	93	8,283	8,283
佐呂間町	1,270	678	762	1,171	1,510	5,391	79	5,470	5,470
常呂町	328	212	1,063	1,264	951	3,818	39	3,857	3,857
生田原町	739	49	293	312	1,012	2,405	42	2,447	2,447
遠軽町	5,863	211	157	719	5,942	12,892	126	13,018	13,021
九瀬布町	677	26	260	171	921	2,055	35	2,090	2,090
白滝村	338	12	37	244	540	1,171	14	1,185	1,185
上湧別町	1,994	402	125	386	2,075	4,982	70	5,052	5,052
湧別町	1,436	232	54	1,016	1,266	4,004	80	4,084	4,084
滝上町	787	175	431	669	1,449	3,511	39	3,550	3,550
興部町	794	163	529	650	1,852	3,988	38	4,026	4,026
西興部村	174	35	73	284	430	996	13	1,009	1,009
雄武町	1,120	79	561	967	1,449	4,176	46	4,222	4,222
合 計	19,378	24,912	21,373	26,034	25,269	116,966	1,323	118,289	118,295

胆振支庁 (定数 2人)

区分 町村名	かんべ川庄 (自・現)	山口 惠聖 (社・新)	高橋 康之 (白・現)	有効投票	無効投票	投票総数	投票者数
豊浦町	1,208	1,195	1,435	3,838	65	3,903	3,903
虻田町	1,549	2,633	2,608	6,790	90	6,880	6,882
洞爺村	278	424	745	1,447	18	1,465	1,465
大滝村	299	331	407	1,037	31	1,068	1,068
壮瞥町	679	939	934	2,552	32	2,584	2,584
白老町	5,022	4,410	5,255	14,687	242	14,929	14,929
早来町	1,183	1,242	1,214	3,639	47	3,686	3,686
追分町	571	1,637	577	2,785	127	2,912	2,912
厚真町	1,145	1,909	1,215	4,269	61	4,330	4,331
鶴川町	1,609	2,272	1,419	5,300	96	5,396	5,396
穂別町	659	2,127	395	3,181	45	3,226	3,228
合 計	14,202	19,119	16,204	49,525	854	50,379	50,384

日高支庁 (定数 2人)

区分 町村名	原 清重 (社・現)	すずき 英 (共・新)	酒井 芳秀 (白・現)	有効投票	無効投票	投票総数	投票者数
日高町	1,050	116	735	1,901	33	1,934	1,935
平取町	2,278	226	2,292	4,796	69	4,865	4,865
門別町	4,161	382	3,655	8,198	112	8,310	8,310
新冠町	1,962	242	1,865	4,069	54	4,123	4,124
静内町	6,011	871	7,454	14,336	214	14,550	14,551
石町	1,191	163	2,873	4,227	37	4,264	4,264
河町	7,389	1,160	2,452	11,001	143	11,144	11,146
様似町	2,228	137	2,389	4,754	58	4,812	4,812
えりも町	1,702	211	2,620	4,533	46	4,579	4,579
合 計	27,972	3,508	26,335	57,815	766	58,581	58,586

十勝支庁 (定数 4人)

区分 町村名	とびおか久 (共・新)	古川 晴晃 (自・現)	神本 三也 (社・現)	ほかく博夫 (社・現)	中川 義雄 (自・現)					有効投票	無効投票	投票総数	投票者数
音更町	1,369	2,555	2,238	5,458	8,398					20,018	271	20,289	20,289
士幌町	301	1,047	723	989	1,462					4,522	61	4,583	4,583
上士幌町	111	1,048	1,340	876	1,122					4,497	49	4,546	4,546
鹿追町	82	1,248	1,001	866	1,034					4,231	72	4,303	4,303
新得町	153	1,376	907	1,917	1,239					5,592	87	5,679	5,679
清水町	306	2,451	1,232	1,998	1,660					7,647	106	7,753	7,753
芽室町	534	5,498	913	2,356	1,102					10,403	104	10,507	10,507
中札内村	126	529	714	594	617					2,580	20	2,600	2,600
更別村	42	561	503	422	780					2,308	39	2,347	2,349
忠類村	47	439	410	284	210					1,390	19	1,409	1,409
大湖町	157	1,260	1,020	1,122	1,506					5,065	73	5,138	5,138
広尾町	243	1,643	643	1,384	2,623					6,536	84	6,620	6,620
幕別町	696	2,039	701	6,401	3,024					12,861	188	13,049	13,049
池田町	190	1,453	1,089	2,512	1,656					6,900	96	6,996	6,997
豊頃町	77	957	596	985	997					3,612	32	3,644	3,644
本別町	155	1,669	3,228	804	1,816					7,672	91	7,763	7,764
足寄町	170	617	4,819	153	1,631					7,390	74	7,464	7,464
陸別町	93	547	1,516	190	679					3,025	39	3,064	3,064
浦幌町	142	1,796	1,050	1,684	1,275					5,947	57	6,004	6,004
合 計	4,994	28,733	24,643	30,995	32,831					122,196	1,562	123,758	123,762

釧路支庁 (定数 2人)

区分 町村名	ますい貞一郎 (自・現)	わかさ 靖 (自・現)	さとう寛一 (無・新)							有効投票	無効投票	投票総数	投票者数
釧路町	2,054	3,440	2,759							8,253	204	8,457	8,457
厚岸町	475	6,108	2,567							9,150	156	9,306	9,306
浜中町	899	2,370	2,144							5,413	72	5,485	5,486

区 町村名	ますい、貞一郎 (自・現)	わかさ 靖 (自・現)	さとう 寛一 (無・新)								有効投票	無効投票	投票総数	投票者数
標茶町	2,130	2,013	2,814								6,957	210	7,167	7,167
弟子屈町	1,944	2,191	2,844								6,979	116	7,095	7,095
阿寒町	1,605	1,440	1,471								4,516	135	4,651	4,651
鶴居村	1,008	257	403								1,668	71	1,739	1,739
白糠町	5,186	872	2,477								8,535	163	8,698	8,701
音別町	1,014	643	569								2,226	42	2,268	2,268
合 計	16,315	19,334	18,048								53,697	1,169	54,866	54,870

根室支庁(定数 1人)

区 町村名	岩崎 和雄 (共・新)	村田 雄平 (自・現)									有効投票	無効投票	投票総数	投票者数
別海町	2,256	7,802									10,058	397	10,455	10,455
中標津町	1,689	8,832									10,521	520	11,041	11,042
標津町	800	3,226									4,026	234	4,260	4,260
羅臼町	656	3,362									4,018	165	4,183	4,183
合 計	5,401	23,222									28,623	1,316	29,939	29,940

札幌市 中央区 (定数 4人)

宇野 眞平 (白・現)	高橋 鈺 (公・現)	湯本よしゆき (社・現)	平野 明彦 (白・現)	たちとサエ (共・新)	上藤 福士良 (諸・新)	有効投票	無効投票	投票総数	投票者数
15,976	14,760	27,047	17,833	9,114	163	84,893	2,213	87,106	87,119

札幌市 北区 (定数 3人)

佐々木利昭 (白・現)	佐藤せつ子 (共・新)	小山 誠司 (社・新)	木本 由孝 (白・現)	有効投票	無効投票	投票総数	投票者数
22,794	14,874	43,359	23,140	104,167	3,267	107,434	107,438

札幌市 東区 (定数 4人)

岩田とくや (白・現)	風早としお (民・新)	大橋 晃 (共・現)	吉川たかもり (白・現)	笠島 保 (社・現)	有効投票	無効投票	投票総数	投票者数
18,109	30,437	22,217	17,604	25,936	114,303	1,613	115,916	115,933

札幌市 白石区 (定数 4人)

伊藤 栄一 (白・新)	鈴木 泰行 (社・新)	山根たい子 (共・新)	浅野 俊一 (公・現)	国本 康夫 (白・現)	有効投票	無効投票	投票総数	投票者数
19,526	43,486	23,753	24,161	21,751	132,677	2,134	134,811	134,826

札幌市 豊平区 (定数 4人)

高木 繁光 (白・現)	大内 良一 (社・現)	乙川せつろう (公・新)	津島のり子 (共・新)	岩本まこと (白・現)	木下 一見 (無・現)	有効投票	無効投票	投票総数	投票者数
20,917	34,923	19,529	11,023	23,762	14,161	124,315	1,671	125,986	126,002

札幌市南区 (定数 2人)

水岡 薫 (白・現)	みかお隆男 (共・新)	関根 建二 (社・現)	有効投票	無効投票	投票総数	投票者数
30,732	5,194	35,805	71,731	2,687	74,418	74,446

札幌市西区 (定数 4人)

高橋ひとし (白・現)	勝木 しょうぞう (無・元)	井上さき子 (共・新)	和田のりとも (白・新)	西本よしつぐ (社・新)	相沢 武彦 (公・現)	有効投票	無効投票	投票総数	投票者数
15,773	23,502	13,980	19,085	41,232	25,264	138,836	2,012	140,848	140,867

函館市 (定数 6人)

川崎 守 (共・元)	よしだ恵悦 (公・新)	森上 元春 (社・現)	さくらい外治 (白・現)	14,619	川尻 秀之 (無・新)	輪島 幸雄 (社・現)	出村 勝彦 (白・現)	田中ゆう子 (無・新)	島山 博 (白・現)	有効投票	無効投票	投票総数	投票者数
14,797	20,959	22,136	14,480	35,453	10,855	4,686	14,688	152,673	1,597	154,270	154,275		

小樽市 (定数 4人)

西村 慎一 (無・現)	本間きよと (共・元)	山口まさと (自・現)	久田やすひろ (白・現)	きくち秀郎 (社・現)	有効投票	無効投票	投票総数	投票者数
16,417	18,647	14,846	17,887	25,820	93,617	1,124	94,741	94,751

旭川市 (定数 6人)

工藤 啓二 (公・現)	野村けんさく (白・現)	今津ひろし (自・現)	藤井たけし (白・現)	青木のぶお (社・現)	舟山 広治 (社・現)	佐々木卓也 (共・新)	菅原 功一 (白・新)	有効投票	無効投票	投票総数	投票者数
24,956	18,057	21,698	26,048	32,716	31,096	10,584	29,609	194,764	1,550	196,314	196,345

室蘭市 (定数 3人)

小野 秀夫 (無・現)	25,439	笹浪 幸男 (白・現)	16,827	かし林(いわお) (社・現)	23,870	野原 輝一 (共・新)	6,539				有効投票	72,675	無効投票	905	投票総数	73,580	投票者数	73,585
----------------	--------	----------------	--------	-------------------	--------	----------------	-------	--	--	--	------	--------	------	-----	------	--------	------	--------

釧路市 (定数 4人)

谷川 英雅 (社・現)	20,196	伊藤 武一 (公・現)	19,824	岩崎 守男 (社・現)	24,250	畑佐 美好 (共・新)	8,257	わたぬき健輔 (白・現)	23,631	ほんま秀一 (自・新)	19,494				有効投票	115,652	無効投票	868	投票総数	116,520	投票者数	116,533
----------------	--------	----------------	--------	----------------	--------	----------------	-------	-----------------	--------	----------------	--------	--	--	--	------	---------	------	-----	------	---------	------	---------

帯広市 (定数 3人)

佐々木行雄 (白・現)	20,359	熊谷 克治 (社・現)	36,751	おのでら勇 (白・現)	20,825	梅津 伸子 (共・新)	7,330								有効投票	85,265	無効投票	955	投票総数	86,220	投票者数	86,221
----------------	--------	----------------	--------	----------------	--------	----------------	-------	--	--	--	--	--	--	--	------	--------	------	-----	------	--------	------	--------

北見市 (定数 2人)

柏倉 勝雄 (社・現)	23,559	みやざわ 裕一郎 (自・新)	14,906	桜田 正明 (自・新)	20,501										有効投票	58,966	無効投票	879	投票総数	59,845	投票者数	59,851
----------------	--------	-------------------	--------	----------------	--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	------	--------	------	-----	------	--------	------	--------

夕張市 (定数 1人)

石川十四夫 (無・現)	8,843	かつら健二 (無・新)	9,454	とだ 重雄 (共・新)	1,154										有効投票	19,451	無効投票	363	投票総数	19,814	投票者数	19,816
----------------	-------	----------------	-------	----------------	-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	------	--------	------	-----	------	--------	------	--------

岩見沢市 (定数 1人)

候補者名	有効投票	無効投票	投票総数	投票者数
倉前 昭一 (無・新)				
吉田 英治 (社・現)				
27,851	43,956	979	44,935	44,939
16,105				

網走市 (定数 1人)

候補者名	有効投票	無効投票	投票総数	投票者数
おたべ 善治 (自・現)				
かつや 忠 (無・新)				
13,627	24,785	517	25,302	25,303
11,158				

留萌市 (定数 1人)

候補者名	有効投票	無効投票	投票総数	投票者数
えんどう 常二 (無・現)				
高橋さだとし (自・新)				
10,063	20,623	195	20,818	20,820
10,560				

苫小牧市 (定数 2人)

候補者名	有効投票	無効投票	投票総数	投票者数
橋 浪蔵 (白・現)				
大平 盛雄 (社・現)				
秋保ライ子 (共・新)				
のつて 幸 (無・新)				
5,899	84,061	792	84,853	84,855
32,557				
22,922				
22,683				

稚内市 (定数 1人)

候補者名	有効投票	無効投票	投票総数	投票者数
よした 政一 (自・現)				
さとう 広武 (共・新)				
7,269	25,871	1,870	27,741	27,751
18,602				

美 唄 市 (定数 1人)

土屋 良三 (白・現)	長谷川吉春 (共・新)									有効投票	無効投票	投票総数	投票者数
13,239	5,849									19,088	2,295	21,383	21,425

芦 別 市 (定数 1人)

長沢とおる (無・新)	だて 忠一 (無・現)									有効投票	無効投票	投票総数	投票者数
11,319	8,871									20,190	163	20,353	20,355

江 別 市 (定数 1人)

森としかつ (無・新)	伊藤つよし (白・現)									有効投票	無効投票	投票総数	投票者数
30,850	18,298									49,148	746	49,894	49,896

赤 平 市 (定数 1人)

古田 昭三 (共・新)	宇川 源吉 (白・現)									有効投票	無効投票	投票総数	投票者数
3,517	10,202									13,719	766	14,485	14,488

紋 別 市 (定数 1人)

佐野 法充 (無・新)	新沼 浩 (白・現)									有効投票	無効投票	投票総数	投票者数
9,053	9,653									18,706	398	19,104	19,104

士 別 市 (定数 1人)

もりざね丘 (無・新)	ささき陸博 (無・新)									有効投票	無効投票	投票総数	投票者数
6,855	10,454									17,309	163	17,472	17,472

名 寄 市 (定数 1人)

いとう 弘 (白・現)	いがらし勝 (無・新)									有効投票	無効投票	投票総数	投票者数
9,950	10,084									20,034	329	20,363	20,364

根 室 市 (定数 1人)

小池あきら (無・新)	寺嶋いざお (無・新)	松浦 義信 (白・現)								有効投票	無効投票	投票総数	投票者数
9,735	5,718	6,421								21,874	361	22,235	22,237

千 歳 市 (定数 1人)

小路さだよし (共・新)	おくの文蔵 (無・新)	いわせ正人 (白・現)								有効投票	無効投票	投票総数	投票者数
2,724	19,847	15,910								38,481	1,487	39,968	39,971

滝 川 市 (定数 1人)

ささき和幸 (無・新)	深田 義勝 (無・新)									有効投票	無効投票	投票総数	投票者数
12,403	17,589									29,992	380	30,372	30,374

伊 達 市 (定数 1人)

菅原 英雄 (共・新)	三木 勝夫 (無・新)	きむら澄男 (無・新)							有効投票	無効投票	投票総数	投票者数
1,789	10,046	9,841							21,676	399	22,075	22,076

北海道議会議員選挙区別・党派別得票数

(昭和62年4月12日執行)

支庁市別	区分	自 民 主 党	由 社 会 党	日 本 共 産 党	公 明 党	日 共 産 党	民 社 党	諸 派	無 所 属	計
石	狩	19,885	27,739						11,150	58,774
渡	島	59,606	21,215						20,287	101,108
桧	山	16,034	18,914			3,153				38,101
後	志	32,766	24,121			4,558			18,479	79,924
空	知	57,911	31,941			5,269				95,121
上	川	44,943	30,962			3,085				78,990
留	萌	14,491							17,956	32,447
宗	谷	15,417				2,256			9,604	27,277
綯	走	66,785	25,269						24,912	116,966
胆	振	30,406	19,119							49,525
日	高	26,335	27,972			3,508				57,815
十	勝	61,564	55,638			4,994				122,196
釧	路	35,649							18,048	53,697
根	室	23,222				5,401				28,623
支	庁	計	505,014	282,890		32,224			120,436	940,564
札	幌	267,002	251,788	83,714	100,155	30,437	163	37,663		770,922
中	央	33,809	27,047	14,760	9,114		163			84,893
北	区	45,934	43,359		14,874					104,167
東	区	35,713	25,936		22,217	30,437				114,303
白	石	41,277	43,486	24,161	23,753					132,677
豊	平	44,679	34,923	19,529	11,023			14,161		124,315
南	区	30,732	35,805		5,194					71,731
西	区	34,858	41,232	25,264	13,980			23,502		138,836
函	館	40,162	57,589	20,959	14,797			19,166		152,673
小	樽	32,733	25,820		18,647			16,417		93,617
旭	川	95,412	63,812	24,956	10,584					194,764
室	蘭	16,827	23,870		6,539			25,439		72,675
釧	路	43,125	44,446	19,824	8,257					115,652
帯	広	41,184	36,751		7,330					85,265
北	見	35,407	23,559							58,966
夕	張					1,154		18,297		19,451
岩	見		27,851					16,105		43,956
網	走	11,158						13,627		24,785
留	萌	1,0063						10,560		20,623
苫	小	22,922	32,557		5,899			22,683		84,061
稚	内	18,602			7,269					25,871
美	唄	13,239			5,849					19,088
芦	別							20,190		20,190
江	別	18,298						30,850		49,148
赤	平	10,202				3,517				13,719
紋	別	9,653						9,053		18,706

支庁市別	区 分	自 民 党	日 本 社 会 党	公 明 党	日 共 産 党	民 社 党	諸 派	無 所 属	計
十 別 市								17,309	17,309
名 空 市		9,950						10,084	20,034
根 室 市		6,421						15,453	21,874
千 歳 市		15,910			2,724			19,847	38,481
滝 川 市								29,992	29,992
砂 川 市		5,625	9,354						14,979
深 川 市		7,953						12,770	20,723
富 良 野 市		8,323						9,260	17,583
登 別 市								32,673	32,673
恵 庭 市		19,219			6,037				25,256
伊 達 市					1,789			19,887	21,676
市 計		759,390	597,397	149,453	200,547	30,437	163	407,325	2,144,712
合 計		1,264,404	880,287	149,453	232,771	30,437	163	527,761	3,085,276

(町村別内訳)

町 村 名	区 分	自 民 党	日 本 社 会 党	公 明 党	日 共 産 党	民 社 党	諸 派	無 所 属	計
広 島 町		3,699	11,418					5,739	20,856
石 狩 町		9,861	9,418					2,665	21,944
当 別 町		3,687	3,937					1,806	9,430
新 篠 津 村		1,295	839					490	2,624
厚 田 村		643	944					277	1,864
浜 益 村		700	1,183					173	2,056
石 狩 支 庁 計		19,885	27,739					11,150	58,774
松 前 町		7,060	1,265					67	8,392
福 島 町		4,009	789					62	4,860
知 内 町		2,463	1,029					201	3,693
木 古 内 町		3,162	1,666					207	5,035
上 磯 町		6,588	8,739					451	15,778
大 野 町		2,342	2,663					329	5,334
七 飯 町		6,372	1,976					4,072	12,420
戸 井 町		2,616	111					291	3,018
恵 山 町		3,041	96					449	3,586
樞 法 華 村		824	44					289	1,157
南 茅 部 町		4,729	247					539	5,515
鹿 部 町		1,912	178					433	2,523
砂 原 町		2,154	263					531	2,948
森 町		6,574	1,569					1,647	9,790
八 雲 町		3,150	285					7,757	11,192
長 万 部 町		2,610	295					2,962	5,867
渡 島 支 庁 計		59,606	21,215					20,287	101,108

町 村 名	区 分	自 民 党	日 本 社 会 党	公 明 党	日 共 産 党	民 社 党	諸 派	無 所 属	計
江 差 町		2,744	3,875		459				7,078
上ノ国町		2,187	2,376		193				4,756
厚 沢 部 町		1,895	1,908		172				3,975
乙 部 町		1,601	1,553		310				3,464
熊 石 町		1,060	1,696		135				2,891
大 成 町		985	1,068		180				2,233
奥 尻 町		1,476	1,110		79				2,665
瀬 棚 町		954	825		161				1,940
北 檜 山 町		1,277	1,955		1,097				4,329
今 金 町		1,855	2,548		367				4,770
檜 山 支 庁 計		16,034	18,914		3,153				38,101
島 牧 村		847	486		72		494		1,899
寿 都 町		974	1,186		247		837		3,244
黒 松 内 町		631	1,114		221		791		2,757
蘭 越 町		1,476	1,879		98		1,437		4,890
ニ 七 コ 町		454	740		130		1,634		2,958
真 狩 村		471	616		49		818		1,954
留 寿 都 村		372	450		48		553		1,423
喜 茂 別 町		569	1,054		25		795		2,443
京 極 町		465	861		21		1,219		2,566
俱 知 安 町		1,182	3,885		363		5,159		10,589
共 和 町		1,682	2,572		60		631		4,945
岩 内 町		6,919	3,222		505		982		11,628
泊 村		696	654		130		230		1,710
神 恵 内 村		475	387		50		228		1,140
積 丹 町		1,671	636		113		289		2,709
古 平 町		1,712	605		239		694		3,250
仁 木 町		1,704	785		278		367		3,134
余 市 町		10,031	2,754		1,830		1,130		15,745
赤 井 川 村		435	235		79		191		940
後 志 支 庁 計		32,766	24,121		4,558		18,479		79,924
北 村		2,491	490		80				3,061
栗 沢 町		4,278	1,901		263				6,442
南 幌 町		2,928	627		116				3,671
奈 井 江 町		3,139	1,593		572				5,304
上 砂 川 町		1,377	3,413		639				5,429
由 仁 町		3,746	1,319		139				5,204
長 沼 町		5,811	1,477		445				7,733
栗 山 町		7,833	2,120		368				10,321
月 形 町		2,554	699		102				3,355
浦 臼 町		2,071	180		67				2,318
新 十 津 川 町		4,450	1,189		272				5,911
妹 背 牛 町		2,676	618		138				3,432

町 村 名	区 分	自 由 主 党	日 本 社 会 党	公 明 党	日 共 産 党	民 社 党	諸 派	無 所 属	計
秩父別町		2,017	434		82				2,533
雨竜町		1,795	695		117				2,607
北竜町		1,740	379		60				2,179
沼田町		2,795	694		183				3,672
幌加内町		1,401	529		99				2,029
三笠市		3,172	10,003		710				13,885
歌志内市		1,637	3,581		817				6,035
空知支庁計		57,911	31,941		5,269				95,121
鷹栖町		2,096	2,271		217				4,584
神楽町		1,191	2,089		127				3,407
当麻町		3,442	2,033		180				5,655
比布町		1,658	1,430		234				3,322
愛別町		2,258	962		95				3,315
上川町		1,672	1,977		659				4,308
東川町		2,372	1,814		212				4,398
美瑛町		4,978	3,457		396				8,831
上富良野町		6,706	1,269		171				8,146
中富良野町		2,936	1,228		101				4,265
南富良野町		897	1,452		73				2,422
占冠村		432	500		18				950
和寒町		1,371	2,602		106				4,079
剣淵町		1,472	1,475		149				3,096
朝日町		1,030	800		39				1,869
風連町		2,644	1,584		73				4,301
下川町		2,034	1,627		65				3,726
美深町		4,118	960		97				5,175
音威子府村		500	551		36				1,087
中川町		1,136	881		37				2,054
上川支庁計		44,943	30,962		3,085				78,990
増毛町		2,502						2,894	5,396
小平町		1,847						2,150	3,997
苫前町		1,888						1,972	3,860
羽幌町		1,720						6,609	8,329
初山別村		721						895	1,616
遠別町		1,925						1,300	3,225
天塩町		2,499						1,229	3,728
幌延町		1,389						907	2,296
留萌支庁計		14,491						17,956	32,447
猿払村		1,141			161			820	2,122
浜頓別町		1,663			234			1,747	3,644
中頓別町		1,007			249			1,011	2,267
枝幸町		3,221			474			1,605	5,300

区 分 町 村 名	自 由 主 党	日 本 社 会 党	公 明 党	日 共 産 本 党	民 社 党	諸 派	無 所 属	計
歌 登 町	1,101			101			910	2,112
豊 富 町	1,550			626			1,640	3,816
礼 文 町	1,880			162			721	2,763
利 尻 町	1,669			156			583	2,408
東 利 尻 町	2,185			93			567	2,845
宗 谷 支 庁 計	15,417			2,256			9,604	27,277
東 藻 琴 村	1,257	202					640	2,099
女 満 別 町	2,974	901					383	4,258
美 幌 町	10,961	629					4,979	16,569
津 別 町	2,791	555					2,359	5,705
斜 里 町	5,336	817					3,651	9,804
清 里 町	2,179	299					1,813	4,291
小 清 水 町	3,101	142					1,478	4,721
端 野 町	2,020	889					532	3,441
訓 子 府 町	2,808	370					1,570	4,748
置 戸 町	1,572	301					1,878	3,751
留 辺 藁 町	4,068	767					3,355	8,190
佐 呂 間 町	3,203	1,510					678	5,391
常 呂 町	2,655	951					212	3,818
生 田 原 町	1,344	1,012					49	2,405
遠 軽 町	6,739	5,942					211	12,892
丸 瀬 布 町	1,108	921					26	2,055
白 滝 村	619	540					12	1,171
上 湧 別 町	2,505	2,075					402	4,982
湧 別 町	2,506	1,266					232	4,004
滝 上 町	1,887	1,449					175	3,511
興 部 町	1,973	1,852					163	3,988
西 興 部 村	531	430					35	996
雄 武 町	2,648	1,449					79	4,176
網 走 支 庁 計	66,785	25,269					24,912	116,966
豊 浦 町	2,643	1,195						3,838
虻 田 町	4,157	2,633						6,790
洞 爺 村	1,023	424						1,447
大 滝 村	706	331						1,037
壮 瞥 町	1,613	939						2,552
白 老 町	10,277	4,410						14,687
早 来 町	2,397	1,242						3,639
追 分 町	1,148	1,637						2,785
厚 真 町	2,360	1,909						4,269
鵠 川 町	3,028	2,272						5,300
穂 別 町	1,054	2,127						3,181
胆 振 支 庁 計	30,406	19,119						49,525

区分 町村名	自由 民主党	日本 社会党	公明党	日本 共产党	民社党	諸派	無所属	計
日高町	735	1,050		116				1,901
平取町	2,292	2,278		226				4,796
門別町	3,655	4,161		382				8,198
新冠町	1,865	1,962		242				4,069
静内町	7,454	6,011		871				14,336
三石町	2,873	1,191		163				4,227
浦河町	2,452	7,389		1,160				11,001
様似町	2,389	2,228		137				4,754
えりも町	2,620	1,702		211				4,533
日高支庁計	26,335	27,972		3,508				57,815
音更町	10,953	7,696		1,369				20,018
士幌町	2,509	1,712		301				4,522
上士幌町	2,170	2,216		111				4,497
鹿追町	2,282	1,867		82				4,231
新得町	2,615	2,824		153				5,592
清水町	4,111	3,230		306				7,647
芽室町	6,600	3,269		534				10,403
中札内村	1,146	1,308		126				2,580
更別村	1,341	925		42				2,308
忠類村	649	694		47				1,390
大樹町	2,766	2,142		157				5,065
広尾町	4,266	2,027		243				6,536
幕別町	5,063	7,102		696				12,861
池田町	3,109	3,601		190				6,900
豊頃町	1,954	1,581		77				3,612
本別町	3,485	4,032		155				7,672
足寄町	2,248	4,972		170				7,390
陸別町	1,226	1,706		93				3,025
浦幌町	3,071	2,734		142				5,947
十勝支庁計	61,564	55,638		4,994				122,196
釧路町	5,494						2,759	8,253
厚岸町	6,583						2,567	9,150
浜中町	3,269						2,144	5,413
標茶町	4,143						2,814	6,957
弟子屈町	4,135						2,844	6,979
阿寒町	3,045						1,471	4,516
鶴居村	1,265						403	1,668
白糠町	6,058						2,477	8,535
音別町	1,657						569	2,226
釧路支庁計	35,649						18,048	53,697
別海町	7,802			2,256				10,058
中標津町	8,832			1,689				10,521

町村名	区分	自 由 党	日 本 党	公 明 党	日 本 党	民 社 党	諸 派	無 所 属	計
標 津 町		3,226			800				4,026
羅 臼 町		3,362			656				4,018
根 室 支 庁 計		23,222			5,401				28,623

4月のメモ

1日 ○国鉄が分割・民営化、「JR」スタート
明治5年10月に「官設鉄道」として登場して以来、114年と5ヵ月の歴史を誇ってきた国鉄が、分割・民営化され、北海道、東日本、東海、西日本、四国、九州の旅客6社、貨物鉄道1社をはじめ計11の新法人と国鉄清算事業団に分かれ、再生を目指して走り出した。

○地価、東京で54%の暴騰 国土庁が発表した「62年地価公示」によると、東京都の地価の平均上昇率は53.9%で昭和40年代末の「狂乱地価」を上回る過去最高の水準だった。全国の平均上昇率は7.7%で昨年約3倍。

3日 ○道府県議選など告示 統一地方選第二弾の札幌、川崎両政令指定市長選が告示(28日)。続いて、東京、茨城、沖縄を除く44道府県議選、9政令指定市議選も告示された。

4日 ○インドネシア旅客機が墜落 インドネシア・北スマトラのメダン空港で、ガルーダ航空DC9機(乗客、乗員45人)が着陸寸前に炎上、民家に墜落して大破、メダン日本総領事館の大西正治副領事ら日本人3人を含む29人が死亡。

5日 ○社・公両党委員長が売上税撤回の方針
土井・社会、矢野・公明両党委員長は遊説先の記者会見で、政府・自民党内に出ている売上税の実施時期の先送りなどの修正論議に関し、「修正には応じず、あくまで撤回をめざす」との方針を表明した。

○1万円札大量偽造事件で印刷業者ら逮捕
東京・南青山のゴミ箱や北区内の荒川河川敷きで、ニセ1万円札4億円分が発見され、警視庁捜査三課と赤坂署は通貨偽造の疑いで捜査(5日)。偽造グループの1人、練馬区練馬の印刷業者、児玉慶治(53)が同署に出頭したため逮捕(8日)し、自供から山川治(54)ら5人が逮捕さ

れ(9日)、黒幕とみられる童話作家、武井遼(49)が指名手配された(10日)。

7日 ○国公立大定員3,000人超過 「複数受験制」を導入した今春の国公立大入試で、総定員約104,000人に対し107,000人が入学手続きを終えたことが、文部省の集計でわかった。当初8,000人の欠員が生じ、各大学が主に追加合格者発表を続けた結果、定員超過となった。

8日 ○イタリア内閣が崩壊 クラクシ首相(社会党)と対立する連立内閣最大勢力のキリスト教民主党的16閣僚が辞表を提出、クラクシ政権が崩壊(8日)。スカルファロ内相が新首相に。

10日 ○半導体協議物別れ 米国側は、対日制裁の大統領決定をくつがえす根拠は出なかったとして、日米協議終結の声明を発表した。

○ソ連書記長が短射程中距離核切り離し提案
ゴルバチョフ・ソ連共産党書記長はブラハで演説、米ソINF交渉について短射程INFを切り離して話し合うことを提案した。

12日 ○統一地方選前半戦は自民敗北 第10回統一地方選挙のうち、前半分の13都道府県知事、44道府県議、2政令指定市長、9政令指定市議の各選挙の投票が行われ(12日)、福岡県知事選で今回唯一の社共共闘(社民連推薦)の奥田八二氏、北海道知事選で社会、社民連推薦の横路孝弘氏がいずれも再選された。道府県議選で自民党は前回58年の獲得議席を105も下回り、結党以来最低に。社会、共産はともに前回は大きく上回った。

13日 ○1万円札大量偽造事件で主犯の武井逮捕
警視庁捜査三課と赤坂署の捜査本部から通貨偽造の疑いで指名手配されていた童話作家武井遼(49)と、その愛人でニセ札を捨てる手伝いなどをした梅沢春子(25)が、東京都内で逮捕された。

○私鉄ベア4.62% 私鉄大手の賃上げ交渉が、賃上げ額10,800円と年間臨時給は昨年同月数という経営側の回答で妥結した。大手13社の組合員平均でベア4.62%。

- 14日 ○知床の国有林伐採を開始 林野庁が斜里町の国有林で、ミズナラ、イチイなどの巨木80本を切り倒した。道自然保護連合などの約15人が伐採予定の幹に抱きついて反対を叫び、6本の伐採は見送られた。同庁は約1週間で計530本を切る。
- 卸売物価の下げ幅最大 日本銀行の発表によると、61年度の卸売物価の総合指数は88.1で、前年度比の下げ幅は10.0%と戦後最大。
- 15日 ○衆院委で予算案を強行採決 自民党は衆院予算委員会で62年度予算案の審議を打ち切り、採決を強行。野党側は「採決の無効」を主張して強い反発を示した。
- 17日 ○自民党が緊急経済対策要綱を決定 自民党は大型補正予算の編成や減税の上乗せ実施を模索するなど、内需拡大策と対外経済対策を盛った緊急経済対策要綱を決定。
- 18日 ○新日鉄社長に斉藤裕氏 新日本製鉄は武田豊社長が会長に退き、斉藤裕副社長が昇格する人事を固めた。
- 19日 ○ロック公演で29人死傷 東京・日比谷の野外大音楽堂で開かれたロックバンド「ラフィン・ノーズ」の公演中、聴衆がステージに駆け寄り、将棋倒しになった。都内の11の病院に収容されたが、女子高校生や社員ら3人が死亡し、26人が重軽傷を負った。
- 20日 ○瀬古、ボストン・マラソンで優勝 第91回ボストン・マラソンで、日本の瀬古利彦（エスビー食品）が2時間11分50秒で優勝した。
- 21日 ○衆院本会議を強行、徹夜で審議 62年度予算案の衆院通過をめぐる野党の対立が激化し、売上税の扱いについての原衆院議長の調停工作が実らず、自民党の要求で衆院本会議の開会が強行された。野党は反発して、砂田衆院予算委員長長の解任決議案などを提出、審議をめぐる牛歩戦術をとったため議場が混乱し、10年ぶりの徹夜審議となった(21、22日)。
- 24日 ○円、1ドル140円台突破 東京外国為替市場の円相場は一時、1ドル＝139円5
- 銭を付け、未だの130円圏に突入した。終値も1ドル＝139円50銭と最高値を更新した。
- インドネシア総選挙 第5回インドネシア総選挙は、与党「ゴルカル」が70%以上の得票率で圧勝した。
- 26日 ○統一地方選終わる 第11回統一地方選挙は後半の市町村、東京特別区の首長、議員選挙が投票され、即日開票分で67市町が決まった。このうち18市で現職が落選、有権者の多選批判が目立った。翌日開票分の30市では大都市圏を中心に現職が強さを見せた(27日)。県議選に続き、市議選、区議選でも自民党は退潮。
- 27日 ○米ソINF交渉本格化 ジュネーブの米ソ包括軍縮交渉の中距離核戦力(INF)交渉で、ソ連がINF条約草案を提出、すでに発表されている米草案との突き合わせが始まった。ソ連草案では、①欧州部のINF(米国のいう長射程INF)を全廃②短射程INFについては欧州、アジアを切り離すなどとしている。
- 28日 ○伊、繰り上げ総選挙へ イタリア国会は、ファンファーニ・キリスト教民主党内閣の信任案を否決。ファンファーニ首相の辞表を受け、コシガ大統領が国会を解散した。このため、上下両院議員の任期を一年残し、6月14日に総選挙が行われることになった。
- 30日 ○金丸副総理、竹下派結成を進言 金丸副総理は竹下自民党幹事長と会談し、田中元首相や二階堂前副総裁から党総裁候補として認知されない以上、田中派を割っても「竹下派」結成に動くよう強く進言した。
- 私鉄6社の運賃値上げ答申 運輸審議会は、京成、近鉄、南海、京阪、阪急、阪神の大手私鉄6社から出ていた運賃値上げ申請について、6社平均で9.7%の値上げを認める答申を出した。
- 包括貿易法案を可決 米議会下院は、包括貿易法案を、%を超える賛成で可決。日本の対米黒字削減を狙ったゲツパート修正案を含む保護主義色の濃い内容。

5月のメモ

- 1日 ○**長者番付上位の7割が土地売却** 国税庁が61年分高額納税者を公示。上位100人の長者番付のうち、土地などの不動産売却による人が72人と7割を占めた。
- 日米首脳がドル安防止で協力確認** 日米首脳会談は2回にわたる会談の成果を盛りこんだ共同発表を行うとともに、両首相が新聞発表を読み上げて終了。共同発表は、「為替レートの安定促進に協力することや「半導体回復再の検討」などで合意。
- 2日 ○**首相、会期大幅延長の意向** 中曽根首相がハワイで記者団と懇談、大型補正予算について「8月ぐらいにはメドをつけたい」と述べ、3ヵ月以上の国会の大幅延長が必要だとの判断を示し、野党は一斉に反発。
- 新長期計画の原案固まる** 新長期計画(63~72年度)の見直し作業を進めていた道が、見直し原案の大筋を固めた。戦略プロジェクトに加えて、炭鉱閉山や鉄鋼不況など当面する課題への積極的対応策を盛り込んだのが特徴。
- 3日 ○**朝日新聞阪神支局が襲撃され記者2人死傷** 兵庫県西宮市の朝日新聞社阪神支局に銃銃を持った男が押し入り、編集室にいた記者に散弾2発を発射、記者1人が死亡、1人が重傷を負い、男はそのまま逃亡した。
- 4日 ○**朝鮮半島安定に三原則** 倉成外相と崔統洙韓国外相による日韓外相定期協議は、流動化する朝鮮半島情勢に関し、①緊張緩和のための南北対話の促進②ソウル・オリンピックの成功③周辺重要諸国(日米中ソ)と韓国、北朝鮮との関係をバランスを取りつつ進展させるの「三原則」で臨むことで一致。
- 6日 ○**日本軍国主義復活を批判** 中国の鄧小平党中央顧問主任は、光華寮問題で日本政府が引き続き判決を黙認するなら、中国

は日本に対し、「強烈な対応」をすると発言。「軍国主義の復活傾向が関連している」と述べた。

- 7日 ○**盗聴事件で現職警官取り調べ** 日本共産党の緒方靖夫国際部長宅の「電話盗聴事件」で東京地検特捜部は、神奈川県警察公安一課の警察官(22)一人に任意出頭を求め、電気通信法違反などの容疑で取り調べを始めた。
- 8日 ○**ハート氏スキャンダル** 次期米大統領の民主党最有力の候補と見られていたゲーリー・ハート前上院議員は、女性とのスキャンダル報道で出馬断念を正式表明。
- 10日 ○**帝銀事件の平沢死亡** 昭和23年1月に起きた「帝銀事件」の死刑囚、平沢貞通(95)が、肺炎で収監先の八王子医療刑務所で死亡。逮捕から約39年間という獄中生活は、わが国の死刑囚としては最長。
- 11日 ○**比で上下両院議員選挙** フィリピンで上下両院議員選挙の投票が行われ、アキノ派が非公式集計をもとに勝利宣言(12日)
- 12日 ○**売上税の廃案確認** 与野党国会対策委員長会談は、今国会は27日閉幕とし、売上税関連法案は廃案として臨時国会にも再提出しないことで合意。
- 13日 ●**第1回臨時道議会開会**
- 14日 ○**二階堂氏、総裁選出馬を表明** 自民党田中派の二階堂進会長は、同派総会で総裁選挙に立候補する意向を表明。竹下幹事長を総裁候補に擁立する同派グループは強く反発、田中派は事実上分裂状態に。
- 国立大入試で手直し案** 来春の国立大入試について国大協は、出願を共通一次試験後の2月1日から10日までとする、2次試験の日程をAグループ2月28日~3月1日、Bグループ3月5、6日実施に変える、との案をまとめた。
- 全中、米麦価下げ容認** 全国農協中央会(全中)は、62年度米、麦価(政府買入れ価格)決定について、要求価格を盛り込まず、引き下げを容認した要求原案を決めた。
- フィジーでクーデター** 南太平洋のフィジーでランプカ中佐主導のクーデターが

起き、1カ月前に成立したばかりのパパ
ンドラ首相ら閣僚は身柄を拘束された
が、オーストラリアやニュージーランド
は不承認の意向を表明。

15日 ○東芝機械に輸出禁止処分 通産省が、コ
コム規制品目をソ連などに不正輸出して
いた東芝機械に対し、1年間、共産圏向
けの輸出業務全面禁止の処分。

○新駐道大使に太田正利大使 倉成外相
は、新しい駐道大使(特命全権大使北海
道担当)に太田正利駐在ザンビア大使を
起用することを内定、横路知事の下承を
得た。

16日 ○ソ連が大型宇宙ロケット打ち上げ ソ連
国営タス通信が、ソ連は15日夜、スペー
スシャトル打ち上げ用の強力な新世代ロ
ケット「エネルギー」の発射実験に成功
した、と報道。

17日 ○ペルシャ湾で米艦被弾 ペルシャ湾で、
米海軍のミサイル・フリゲート艦がイラ
ク空軍戦闘機の誤認によるミサイル攻撃
を受けて炎上、乗組員37人が死亡、多数
が負傷。

18日 ○三井砂川鉱、閉山 第8次石炭政策のも
とで生産縮小をせまられている三井石炭
鉱業は、砂川鉱業所を6月18日に閉山す
ることを同鉱労組などに通告した。

19日 ○政府専用機を購入 自民党は大型補正予
算案を審議するための臨時国会を7月上
旬に召集するほか、貿易摩擦解消のため
政府専用航空機2機を米国から緊急輸入
することを決定。

20日 ●第1回臨時道議会閉会

○62年度予算が成立 62年度予算が参院本
会議で自民党の賛成多数で原案どおり可
決成立。

○米軍秘密資料を中ソに売る 米軍横田基
地の軍事情報がソ連情報機関に漏えいし
ていたスパイ事件が発覚、警視庁は「中
国技術センター」顧問伊達弘視(62)ら4
人を盗品故買の疑いで逮捕。

○横井に禁固3年の実刑 57年2月、33人
の死者を出した東京・永田町のホテルニ
ュージャパン火災で東京地裁は「安全よ

り営利を優先した」として社長横井英樹
被告(73)に禁固3年、元支配人幡野政男
被告(52)に禁固1年6月、執行猶予5年
の判決を言い渡した。

21日 ○税制協議機関の発足で与野党が合意 衆
院議長あっせんに基づく税制改革与野党
協議機関のメンバーは、自民党7人、野
党は各党2人の6人、計13人で構成する
ことで合意(21日)、発足した(25日)。

23日 ○JR松前線、廃止転換 JR松前線の沿
線自治体で組織する国鉄松前線存続期成
会が、総会で松前線の廃止転換を認める
とともに、同期成会の解散を決めた。

24日 ○北勝海が横綱に 大相撲夏場所は十勝管
内広尾町出身の大関・北勝海(23)が13勝
2敗で準優勝、場所後の横綱審議委員会
で第61代横綱に推された(25日)。

25日 ○ソ連書記長、ルーマニア訪問 ゴルバチ
ョフ・ソ連共産党書記長が就任後初めて
ルーマニア訪問(25日)、ベレストロイ
カや情報公開の必要性を強調、訪問を終
えた(27日)。

26日 ○東電大井発電所で死傷事故 東京都品川
区の東京電力大井火力発電所構内で、工
事中の燃料タンクが爆発炎上、隣接の事
務所30平方メートルを焼いた。この火災
で作業中の4人が死亡。

○韓国首相に李漢基氏 韓国内閣が総辞職
し、李漢基・元監査院長が新首相に任命
されるなど大幅な改造となった。

27日 ○通常国会が閉幕 第108通常国会が150
日間の会期を終えて閉幕、売上税関連6
法案は廃案となった。

28日 ○国土庁が四全総最終試案 国土庁は「多
極分散型国土を形成する」ため、東京圏
への一極集中を是正し、地方圏での重点
整備を強調、基本に高速交通体系構想を
盛り込んだ第4次全国総合開発計画の最
終試案を国土審議会に提示。

29日 ○緊急経済対策は6兆円以上 政府は経済
対策閣僚会議で、内需拡大と輸入増加を
目指した緊急経済対策を決めた。公共事
業5兆円、減税1兆円以上の計6兆円以
上という内容。

6月のメモ

- 1日 ○レバノン首相暗殺 レバノンのランド・カラミ首相は政府軍ヘリコプターでベイルートへ向かう途中、座席の下に仕掛けられていた爆発物が爆発して死亡。
- 2日 ○課税遺産総額が6兆円余 62年分の「相続税白書」によると、遺産総額は約6兆2,122億円と初めて6兆円を突破。
- FRB議長、退任へ レーガン米大統領は、8月で任期の切れるボルカー連邦準備制度理事会（FRB）議長の代わりにグリーンズパン元大統領経済諮問委員長を起用すると発表。
- 3日 ○竹下幹事長が事実上の出馬表明 自民党田中派の竹下幹事長支持グループは東京都内のホテルで竹下擁立集会を開催し、総裁選候補に竹下氏を推すことを決議。
- 5日 ○'87札幌国際見本市開幕 北海道経済の活性化と、海外との技術交流を促進する'87札幌国際見本市が、札幌市白石区のアクセスサツボロで開幕。
- 6日 ○老人ホームで17人焼死 東京都東村山市の特別養護老人ホーム「松寿園」で火事があり、寝たきりなどのお年寄り17人が焼死した。
- 8日 ○サミットでドル安定へ政策協調 第13回主要先進国首脳会議（サミット）がベネチアで開幕（8日）。米ソのINF削減交渉を促す声明、ベルツヤ湾の航行の自由に関する声明、テロリズムに関する声明の政治三文書を発表（9日）。米国の財政赤字の削減と日本、西独両国の内需拡大によって不均衡是正をめざす「ベネチア経済宣言」を発表して閉幕（10日）。
- 自民党道連会長に北修二参院議員 統一地方選での大敗からの再建を目指す自民党が道連定期大会で北修二・参院議員を会長とする新しい執行部を選出。
- 9日 ○「株先50」始まる 日本初の株式先物取引である「株先50」が大阪証券取引所で始まった。
- がけ崩れで8人死傷 上川管内層雲峡の小函トンネル付近で大規模ながけ崩れが発生、国道に押し出し、通行中のトラック運転者ら3人が岩石に埋まり死亡、サイクリング中の修学旅行の女子高校生ら5人が重軽傷。
- 10日 ○ピートたけしに有罪判決 フライデー乱入事件の判決公判で東京地裁は、ピートたけし被告に懲役6月、執行猶予2年を言い渡すとともに、写真週刊誌の取材行き過ぎも厳しく指摘。
- トヨタ、VWと提携 トヨタ自動車とドイツの大手自動車メーカー、フォルクスワーゲン社と提携し欧州市場でも商用車の現地生産を開始する方針を明らかにした。
- 千歳川放水路計画は東ルートに 土佐林安道開発局長が千歳川放水路計画について「東ルートが最も優位なので、同ルートで63年度の事業予算を要求したい」と東ルートによる着工を正式に発表。
- 11日 ○衣笠選手、連続出場世界タイ プロ野球広島衣笠祥雄選手（40）は、広島球場で行われた大洋九回戦に先発出場し、ルーゲリックの持つ2,130試合連続出場の米大リーグ記録に並んだ。45年10月19日の巨人戦出場以来、足かけ18年での偉業。
- 聖徳太子の宮殿跡らしい遺構発掘 聖徳太子が32歳まで住んだ「上宮」（かみつみや）の一部とみられる遺構が、奈良県桜井市上之宮の水田から発掘されたと同市教委が発表。
- 12日 ○英保守党大勝、サッチャー3選 英総選挙は開票の結果、保守党が376議席を獲得して圧勝、サッチャー首相の英議会史上初の連続3選が確定。
- 15日 ○外務次官が遺憾表明 外務省の柳谷事務次官は、鄧小平中国共産党中央顧問李主任を名指して「雲の上の人」とした外務省首脳発言について「鄧主任に関する部分において礼を失する表現であり、中国側に不快感を与えたことは遺憾であった」と述べ外務省として初めて正式に遺

憾の意を表明。

- 半導体報復を一部解除** 米政府は官報で、対日半導体報復措置の部分解除を16日午前零時1分から実施する、と正式に告示。
- 16日 ○**GNP、年率4.9%成長** 経済企画庁は、1～3月の国民総支出（国民総生産）が年換算で4.9%になり、昨年10～12月期に比べて成長の速度が増していると発表した。
- 17日 ○**半導体レーザーを共同開発** 松下電子工業が、米航空宇宙局（NASA）の宇宙通信用半導体レーザーを米大手宇宙機器メーカーTRW社を共同開発することで合意。
- 来春の国立大入試日程など確定** 国立大学協会が63年度国立大学入試の二次試験グループ分けなど入試要領を正式に決定。法学系のBグループ偏重は是正できずAB比は1対3余り。
- 石油業の規制緩和で報告書** 石油審議会の石油産業基本問題検討委員会は、ガソリンの生産指導廃止など業界に対する規制緩和を盛り込んだ報告書をまとめた。
- 18日 ○**ベトナム新体制が発足** ベトナム国会はファン・フン副首相を新首相に、ポー・チ・コン副首相を新国家評議会議長（国家元首）に選出した。
- 19日 ○**運輸省調査委が最終報告書** 日航ジャンボ機墜落事故の事故原因調査を進めてきた運輸省航空事故調査委員会が最終事故調査報告書を提出。事故機が大阪空港で起こした「しりもち事故」で、ボーイング社が実施した圧力隔壁の修理ミスが原因と断定。
- 21日 ○**60年度の医療費16兆円** 厚生省が発表した国民医療費の概況によると、60年度の国民医療費は16兆159億円（前年度比6.1%増）に上り、70歳以上の老人の一般診療費が全体のほぼ3割に拡大。
- 23日 ○**米国、世界一の債務国に** 米商務省が発表した昨年末現在の米の対外債務残高は2,636億ドルとなり、ブラジル、メキシコを上回る世界一の債務国に。
- 24日 ○**釧路湿原が国立公園に** 自然環境保全審議会が、釧路湿原を28番目の国立公園として指定するよう稲村環境庁長官に答申。
- 25日 ○**カネミ訴訟取り下げに国が同意** カネミ油症事件の上告審で、被告の国が原告団から出されていた訴訟取り下げに同意、18年にわたった長期裁判は事実上終結。
- 26日 ○**日中定期間僚会議開幕** 北京で日中閣僚会議が開幕。趙紫陽首相が倉成外相らとの会談で、政治原則重視の姿勢を強調、光華問題を看過できないとの立場を表明（27日）。
- フィリピン航空機墜落** フィリピン・ルソン島で、日本人観光客2人を含む乗組員・乗客50人を乗せたフィリピン航空のマニラ発バギオ行きの旅客機が墜落、全員が死亡。
- 27日 ○**安倍氏が総裁選に決意表明** 自民党の安倍総務会長は遊説先の仙台市で「志ある国家」を建設するため命がけてがんばりたいと事実上の総裁選出馬表明を行い、「新日本創造論」と銘打つ政権構想の骨子を発表。
- 三井砂川鉱閉山、条件闘争へ転換** 三井砂川鉱の砂川炭鉱労組が閉山提案の白紙撤回から条件闘争への転換を正式決定。
- 29日 ○**岡田・元三越社長に実刑判決** 三越事件で特別背任罪に問われた元三越社長岡田茂被告(72)と共犯の竹久みち被告(57)の判決公判で、東京地裁は岡田被告に懲役3年6月、竹久被告に同3年、罰金7千万円を言い渡した。
- 韓国、大統領直接選挙制へ** 韓国の与党民主正党の盧泰愚代表委員は政治危機解決のため①大統領直選制への改憲、新憲法で来年2月の政権交代②金大中氏の赦免・復権③政治犯の釈放など8項目から成る大幅譲歩の取捨案を発表。
- 30日 ●**第2回定例道議会開会**

7月のメモ

- 1日 ○自衛隊千歳基地内燃料タンクに落雷 千歳市の航空自衛隊基地内のジェット燃料タンクに落雷があり爆発、炎上、他のタンクへの誘爆は免れた。
- 豊田商事事件、債権額の8%を還付と発表 豊田商事事件で破産管財人が101億8,800万円の資産回収ができたとし、債権額の8%を還付すると発表。
- 田中派が解体 自民党田中派（木曜クラブ）は常任幹事会で竹下幹事長と二階堂前副総裁の両陳党が「円満にたもとを分かち」ことを正式に確認。最大派閥として大きな影響力を持ってきた田中派は、47年の発足以来15年で解体した。
- 2日 ○生産米価、引き下げ答申 政府は62年度米政府買入れ価格の5.95%引き下げを米価審議会に諮問（2日）、同審議会が諮問通り答申し（3日）、閣議で31年ぶりの引き下げが決定（4日）。
- 「東京・灯油訴訟」の上告審、棄却 最高裁は「石油ヤミカルテル事件」をめぐる、消費者が「不当に高い石油を買わされた」として石油元売り会社6社に損害賠償を求めた「東京・灯油訴訟」の上告審で「立証責任は消費者にある」と訴えを棄却した（2日）。
- 4日 ○竹下派が発足 自民党の竹下幹事長率いる竹下派が衆参両院計113人を結集して旗揚げ、「経世会」と命名。田中派は竹下派、田中派二階堂系（15人）、同中立系（13人）に分裂。
- 6日 ○首相、「10月末退陣」の意向表明 中曽根首相は自民党の両院議員総会で「メリハリの効いた臨時国会にして、締めくくりをやらせていただくことになる」と述べ、「10月末退陣」を前提に臨時国会に臨む考えを表明した。
- 第109臨時国会開幕 内需拡大のための補正予算案と、マル優をめぐる与野党攻防が最大の集点となる臨時国会が開幕した。
- 7日 ○'91年ユニバーシアード冬季大会札幌開催事実上内定 1991年ユニバーシアード冬季大会の開催地は、ケベックが立候補を断念したため、札幌開催が事実上内定した。
- 7日 ○動労、解散大会を開催 国鉄動力車労働組合が、鉄道労連移行に伴う解散大会を2日間の日程で開催。9月末までに手続きを済ませ、36年間の歴史を閉じることになった。
- 大関若島津引退 西張出大関若島津六夫（30）が、名古屋場所3日目に引退。
- 8日 ○ココム違反事件で行政措置 米商務省が東芝に与えていたアメリカ製品の一括輸入ライセンスを一時停止したことが明らかになった。
- 9日 ○日本人の平均寿命発表 厚生省の「61年簡易生命表」によると男性75.23歳、女性80.93歳と男女とも世界でもトップクラスの長寿国になった。
- 金大中氏に赦免、復権 韓国政府は光州事件など政治・公安事件に関係した金大中氏（61）ら2,335人の赦免、復権措置を発表した。
- 11日 ○世界の人口、50億人を突破 国連はユーゴスラビアで生れた赤ちゃんを50億人目の人類と認定。
- 12日 ○JR幌内線廃止 本道の石炭産業の盛衰を見つめながら走り続けてきた道内最古の鉄道JR幌内線が、105年の歴史に幕。
- 13日 ○現金輸送車から1億6千万円余強奪 大阪市北区で、1億6,200万円の現金の入ったケース2個がハンマーを持った男に襲撃され現金輸送車ごと奪われた。
- 14日 ○三井石炭鉱業砂川鉱業所が閉山 第8次石炭政策下の閉山第1号として閉山。同鉱は73年の歴史に幕。
- 台湾、戒厳令を38年振りに解除 台湾の蔣経国総統は、38年余に及んだ戒厳令を15日で解除することを宣言。国防部は、政治犯計237人に対する減刑、復権を発表。

- 中央信託銀行が土地転がしに関与 東京都の一等地を舞台にした土地転がしに同銀行が計3回に渡って融資。同銀行幹部と関連会社が東京国税局に査察調査された。
- 15日 ○三宅島が気象観測施設工事開始 防衛施設庁は、米空母艦載機の夜間発着訓練用飛行場建設予定地で適地調査のための気象観測用施設の建設に着手。建設現場には反対派数百人が詰めかけ抗議した。
- 横田基地訴訟で賠償1億円 米軍横田基地集団の住民が国に対して米軍機の夜間離着陸差し止めなどを求めた訴訟の控訴審で、東京高裁は差し止め請求を却下したものの「軍事基地の高度の公共性」を否定し、一審判決の約4倍に当たる総額1億1千万円余の賠償額を認容した。
- 16日 ○箕面忠魂碑訴訟で判決 大阪府箕面市の「箕面忠魂碑訴訟」で大阪高裁は、忠魂碑は宗教施設ではなく、市費による移転は「違憲違法ではない」として一審判決を取り消し、原告全面逆転敗訴の判決。
- 17日 ○石原裕次郎さん死去 「太陽族」の名で戦後新世代のヒーローとなった俳優、石原プロ社長の石原裕次郎さん(52歳)が肝がんのため死去。
- ココム違反事件、米政府に再発防止策示す 東芝機械の同問題で訪米中の田村通産相は、ワインバーガー国防長官らに外為法の改正やココム審査員の増強、対ソ潜水艦追跡能力向上のため東芝に対米協力の要請など再発防止策を示した。
- 最高裁、暴力団組長側の上告を棄却 横浜市のマンション住民が同居する暴力団組長の退去を求めた訴訟で、最高裁は新マンション法を適用して組長側の上告を棄却。
- 19日 ○大相撲名古屋場所、千代の富士優勝 横綱千代の富士が14勝1敗で21度目の優勝を飾った。
- 20日 ○「三池COマンモス訴訟」和解成立 38年戦後最大の死者458人を出した三井・三池鉱の炭じん爆発事故で、双方が福岡地裁の職権和解案を受け入れ、正式に決着。
- 21日 ○日米両政府、SDI協定に調印 米国の戦略防衛構想(SDI)研究に日本企業などが参加する場合の日米政府協定は、ワシントンで松永駐米大使とワインバーガー米國務長官が署名し、発効した。
- 米上院、包括貿易法案を可決 米上院は、日本など主要貿易相手国に不公正な貿易障害を今後3年間で撤廃するよう求める法案を圧倒的多数で可決。
- 22日 ○広島大学部長殺される 広島大学総合科学部の岡本哲彦部長(61)が学部長室で背中を刺され殺されているのが見つかった。
- ソ連書記長がINF全廃で新提案 ゴルバチョフ・ソ連書記長が、インドネシア紙との会見で、米ソINF交渉の障害の一つとなっていたアジア地域の中距離核戦力(INF)について、前提条件をつけず「全廃の用意がある」と述べた。
- 「北海道を考える懇談会」が意見報告を提出 道開発庁長官の私的諮問機関「北海道を考える懇談会」が「北海道活性化のために」と題した意見報告を綿貫長官に提出。
- 23日 ○猛暑で広域停電 関東・甲信地方で、記録的猛暑に伴う冷房用電力の急増から、東京電力の送電機能が広範囲にわたって停止、約280万戸が最高3時間停電した。
- 25日 ●第2回定例道議会閉会
- 米商務長官、落馬し死亡 米のマルコム・ボルドリッジ商務長官(64)がロデオの練習中に落馬、出血多量で死亡。
- 不動産業者水死事件、容疑者を逮捕 昨年渡島管内上磯町沖で起きた埼玉県所沢市の不動産業者の水死事故は、保険金目あての殺人事件と断定、東京の不動産業者ら3人が逮捕された。
- 27日 ○青函トンネルのJR素案明らかに 来年3月開通の青函トンネルを通過する列車本数や運行形態をまとめた素案が明らかに。1日当たりの通過列車は旅客が15往復、貨物18往復の計33往復。

- 29日 ○**田中元首相、二審も実刑** ロッキード裁判丸紅ルート控訴審判公判で、東京高裁が田中角栄被告の懲役4年、追徴金5億円の一審判決を支持、同被告を含む4被告の控訴を棄却。元丸紅専務・伊藤被告には執行猶予4年を言い渡した。
- 30日 ○**旧平和相銀不正融資事件、社長らに有罪判決** 旧平和相銀の乱脈不正融資事件で、東京地裁は元社長稲井田隆被告と不動産業者に懲役3年の実刑判決を、他の3被告にも執行猶予付きの有罪判決を言い渡した。
- 31日 ○**税制改革関連4法案閣議決定** 政府はマル優の原則廃止と所得税法減税を抱き合わせにした税制改革関連法案を閣議決定、国会に提出。野党は一斉に反発して審議を拒否。



64年 はまなす国体
君よ今、北の大地の風となれ

北海道議会時報昭和62年第2号
昭和62年10月22日発行（通巻第39巻第2号）

編集 北海道議会議務局調査課
発行 北海道議会議務局